

## 11 社会参加について

### (1) 知的能動性

#### ① 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

表 知的能動性に関する設問（老研指標）

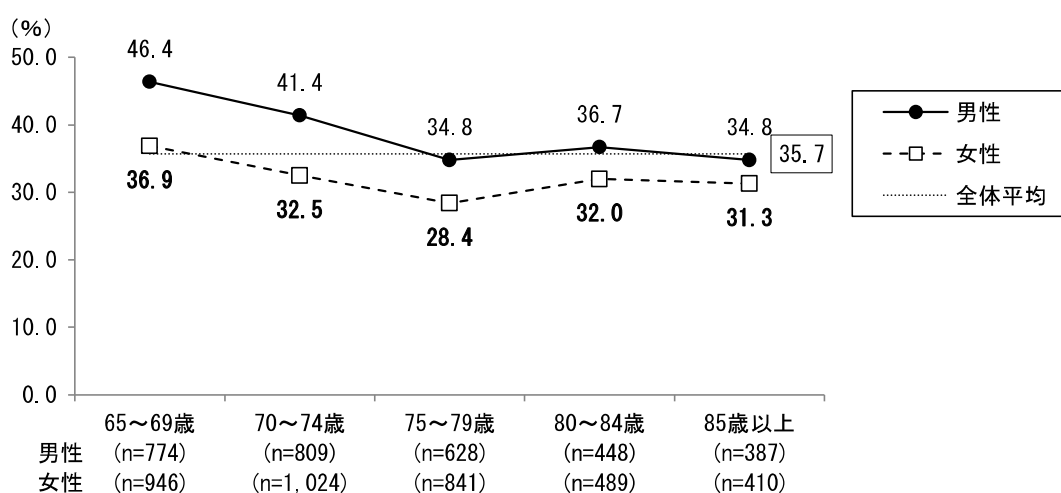
問番号	設問	該当する選択肢
問8Q1	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」を1点とした各問の合計
問8Q2	新聞を読んでいますか	
問8Q3	本や雑誌を読んでいますか	
問8Q7	健康についての記事や番組に関心がありますか	

#### ② 評価結果

3点以下を「低下者」とした評価結果をみると、要介護認定を受けていない回答者6,767人のうち、「低下者」に該当する人の割合は全体平均で35.7%となっています。

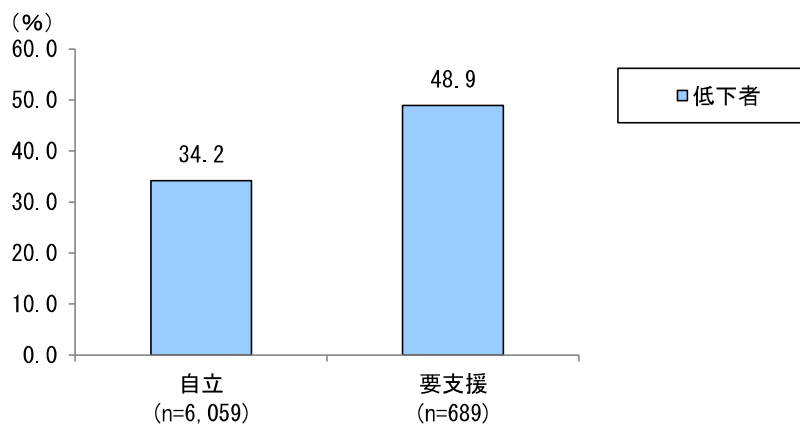
性・年齢別でみると、「低下者」に該当する割合はいずれの年代も女性より男性のほうが高く、男女とも65～69歳で最も高くなっています。（図11-1-1）

【図11-1-1 性・年齢別 知的能動性】



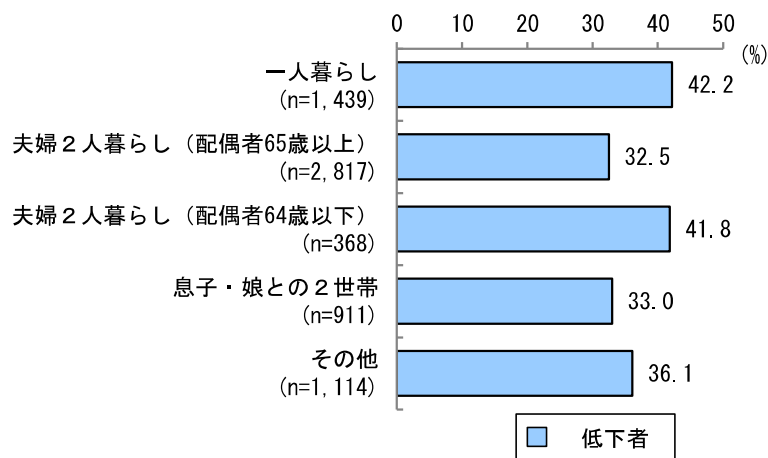
自立・要支援別でみると、「低下者」は自立が34.2%に対し、要支援者が48.9%と高くなっています。(図11-1-2)

【図11-1-2 自立・要支援別 知的能動性】



家族構成別でみると、「低下者」は“一人暮らし”が42.2%で最も高く、次いで“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”が41.8%となっています。(図11-1-3)

【図11-1-3 家族構成別 知的能動性】

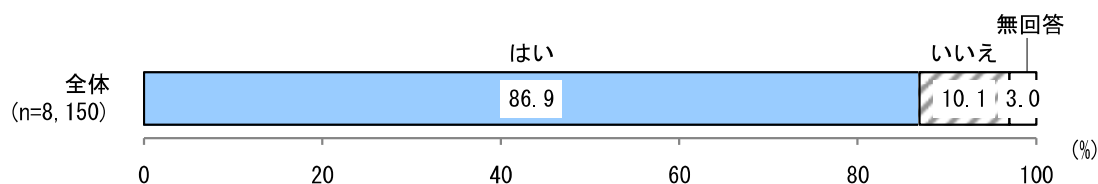


③ 知的能動性評価に関する項目の回答状況

(ア) 年金等書類の作成

問8 Q1 あなたは年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。〈○は1つ〉

【図11-2 年金等書類の作成】

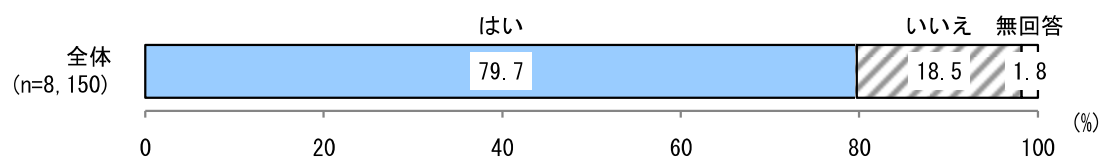


年金などの書類が書けるかについては、「はい」が86.9%、「いいえ」が10.1%となっています。(図11-2)

(イ) 新聞を読む

問8 Q2 あなたは新聞を読んでいますか。〈○は1つ〉

【図11-3 新聞を読む】

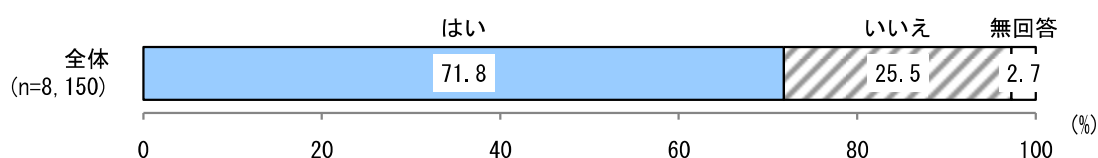


新聞を読んでいるかについては、「はい」が79.7%、「いいえ」が18.5%となっています。(図11-3)

(ウ) 本や雑誌を読む

問8 Q3 あなたは本や雑誌を読んでいますか。〈○は1つ〉

【図11-4 本や雑誌を読む】

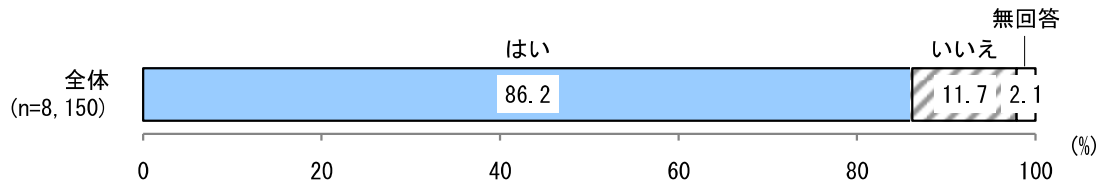


本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が71.8%、「いいえ」が25.5%となっています。(図11-4)

(エ) 健康の記事・番組への関心

問 8 Q 7 あなたは健康についての記事や番組に関心がありますか。〈○は1つ〉

【図11-5 健康の記事・番組への関心】

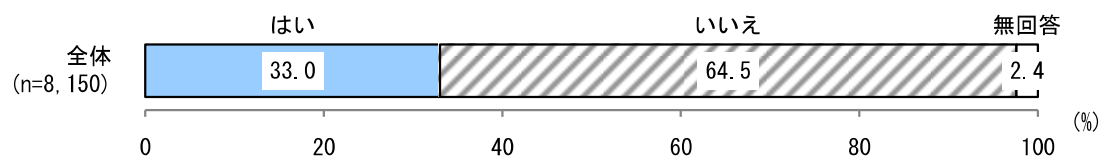


健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が86.2%、「いいえ」が11.7%となっています。(図11-5)

## (2) パソコンの使用状況

問8 Q4 あなたはパソコンを使用されていますか。〈〇は1つ〉

【図11-6 パソコンの使用状況】

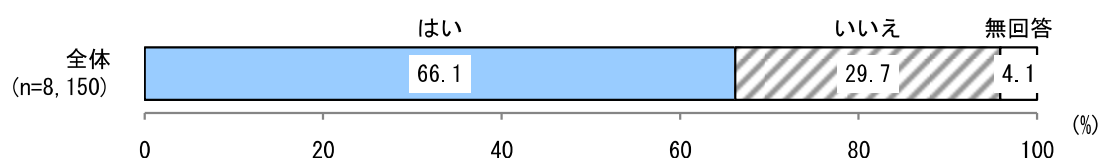


パソコンを使用しているかについては、「はい」が33.0%、「いいえ」が64.5%となっています。(図11-6)

## (3) 携帯電話・PHSの使用状況

問8 Q5 あなたは携帯電話・PHSを使用されていますか。〈〇は1つ〉

【図11-7 携帯電話・PHSの使用状況】

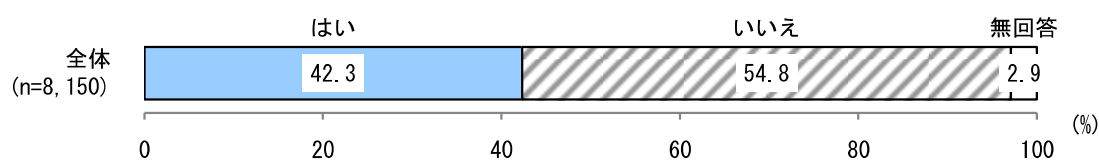


携帯電話・PHSを使用しているかについては、「はい」が66.1%、「いいえ」が29.7%となっています。(図11-7)

## (4) スマートフォンの使用状況

問8 Q6 あなたはスマートフォンを使用されていますか。〈〇は1つ〉

【図11-8 スマートフォンの使用状況】



スマートフォンを使用しているかについては、「はい」が42.3%、「いいえ」が54.8%となっています。(図11-8)

## (5) 社会的役割

### ① 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

表 社会的役割に関する設問（老研指標）

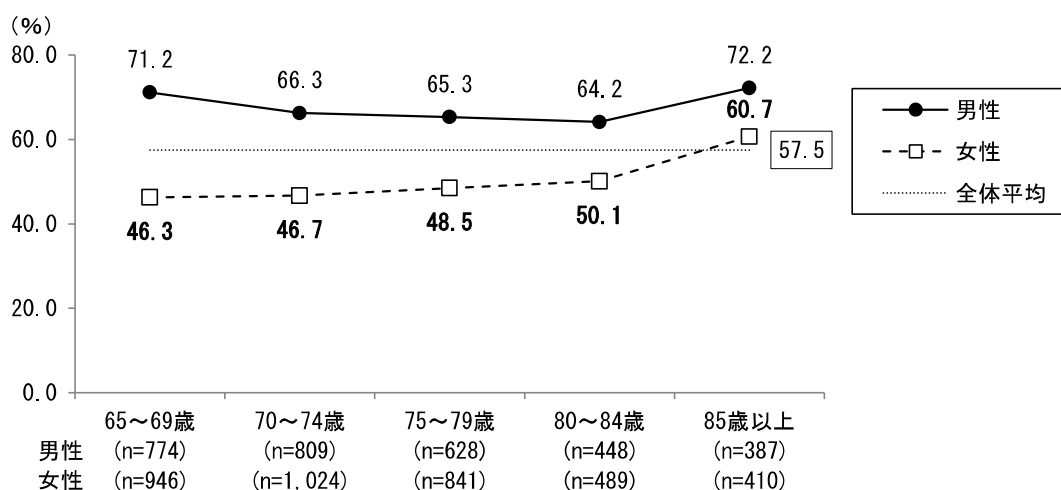
問番号	設問	該当する選択肢
問8Q8	友人の家を訪ねていますか	「はい」を1点とした各問の合計
問8Q9	家族や友人の相談にのっていますか	
問8Q10	病人を見舞うことができますか	
問8Q11	若い人に自分から話しかけることがありますか	

### ② 評価結果

3点以下を「低下者」とした評価結果をみると、要介護認定を受けていない回答者6,767人のうち、「低下者」に該当する人の割合は全体平均で57.5%となっています。

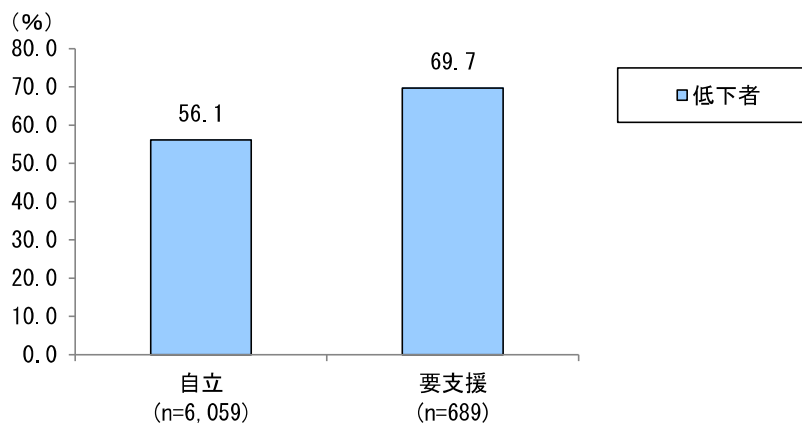
性・年齢別でみると、「低下者」に該当する割合はいずれの年代も女性より男性のほうが高く、男女とも85歳以上で最も高くなっています。(図11-9-1)

【図11-9-1 性・年齢別 社会的役割】



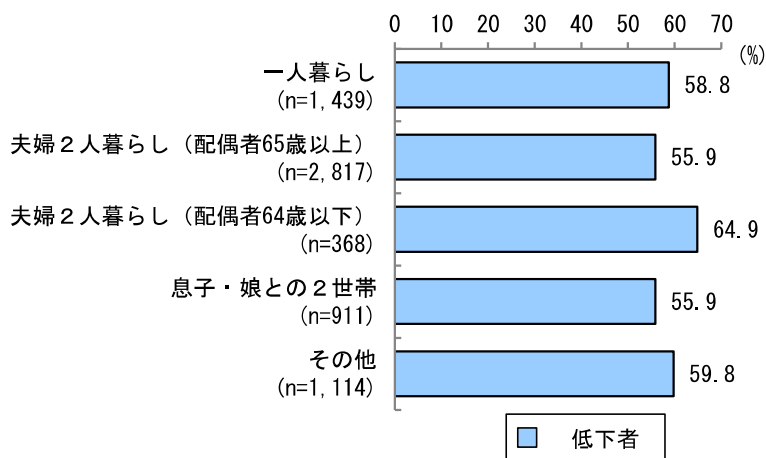
自立・要支援別でみると、「低下者」は自立が56.1%に対し、要支援者が69.7%と高くなっています。(図11-9-2)

【図11-9-2 自立・要支援別 社会的役割】



家族構成別でみると、「低下者」は“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”が64.9%で最も高く、次いで“その他”の世帯が59.8%，“一人暮らし”が58.8%となっています。(図11-9-3)

【図11-9-3 家族構成別 社会的役割】

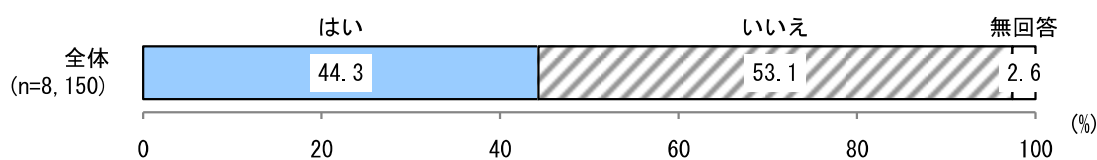


### ③ 社会的役割評価に関する項目の回答状況

#### (ア) 友人の家への訪問

問8Q8 あなたは友人の家を訪ねていますか。〈○は1つ〉

【図11-10 友人の家への訪問】

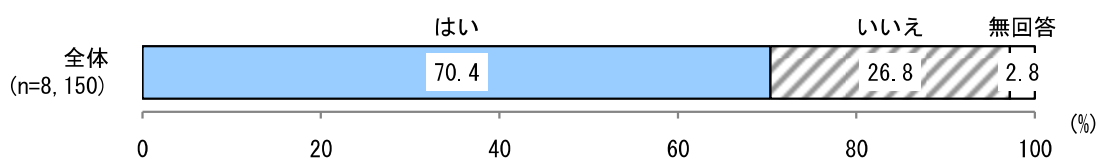


友人の家を訪ねているかについては、「はい」が44.3%、「いいえ」が53.1%となっています。(図11-10)

#### (イ) 家族や友人の相談

問8Q9 あなたは家族や友人の相談にのっていますか。〈○は1つ〉

【図11-11 家族や友人の相談】

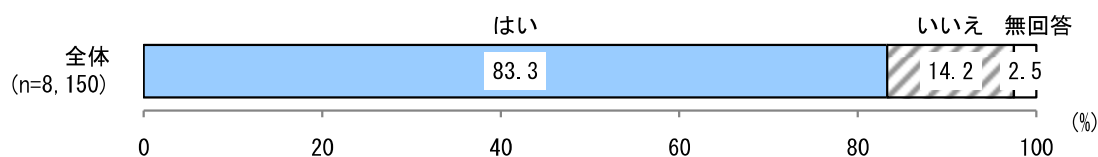


家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が70.4%、「いいえ」が26.8%となっています。(図11-11)

#### (ウ) 病人の見舞い

問8Q10 あなたは病人を見舞うことができますか。〈○は1つ〉

【図11-12 病人の見舞い】



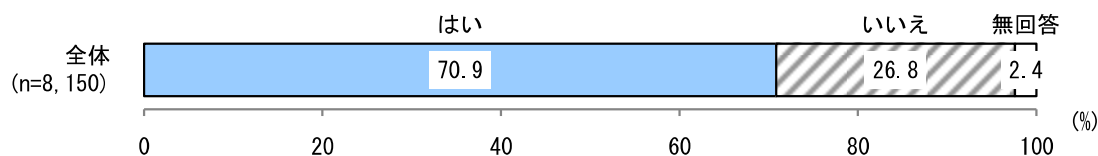
病人を見舞うことができるかについては、「はい」が83.3%、「いいえ」が14.2%となっています。(図11-12)



(エ) 若い人に自分から話しかけること

問 8 Q11 あなたは若い人に自分から話しかけることがありますか。〈○は1つ〉

【図11-13 若い人に自分から話しかけること】

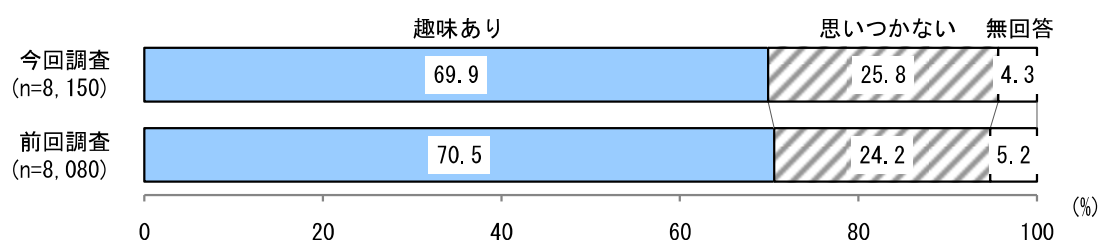


若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が70.9%、「いいえ」が26.8%となっています。(図11-13)

(6) 趣味の有無

問 8 Q12 あなたは趣味がありますか。〈○は1つ〉

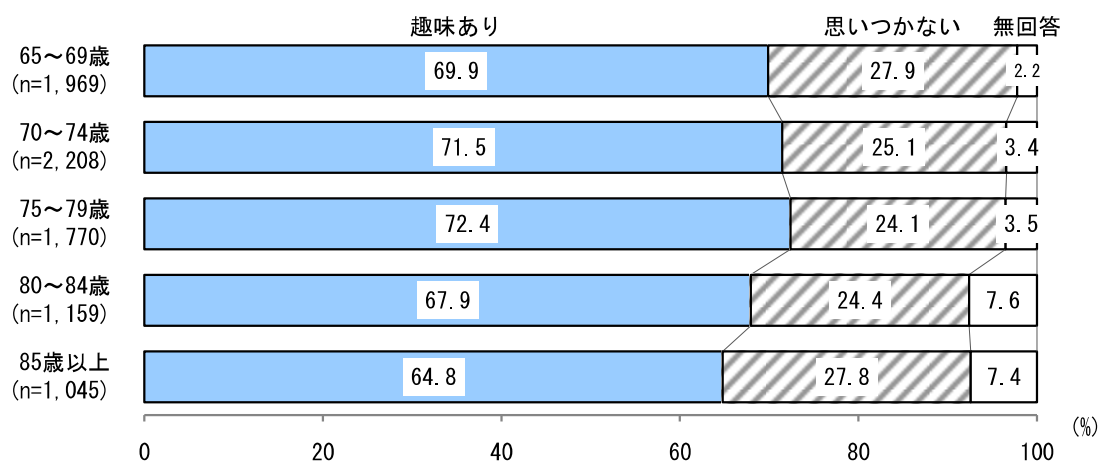
【図11-14 趣味の有無】



趣味の有無については、「趣味あり」が69.9%、「思いつかない」が25.8%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-14)

年齢別でみると、「趣味あり」は75～79歳が72.4%で最も高く、次いで70～74歳が71.5%となっています。(図11-14-1)

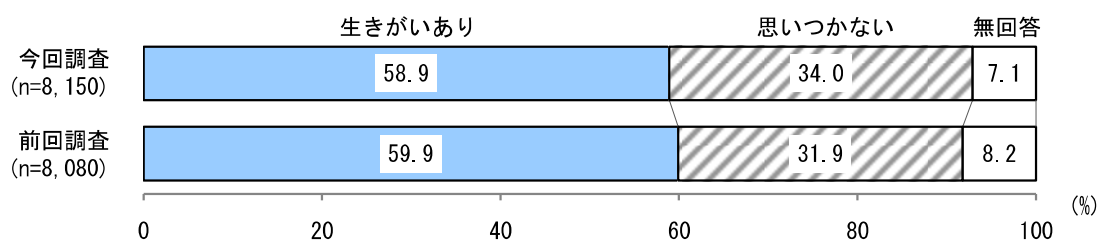
【図11-14-1 年齢別 趣味の有無】



(7) 生きがいの有無

問8 Q13 あなたは生きがいがありますか。〈○は1つ〉

【図11-15 生きがいの有無】

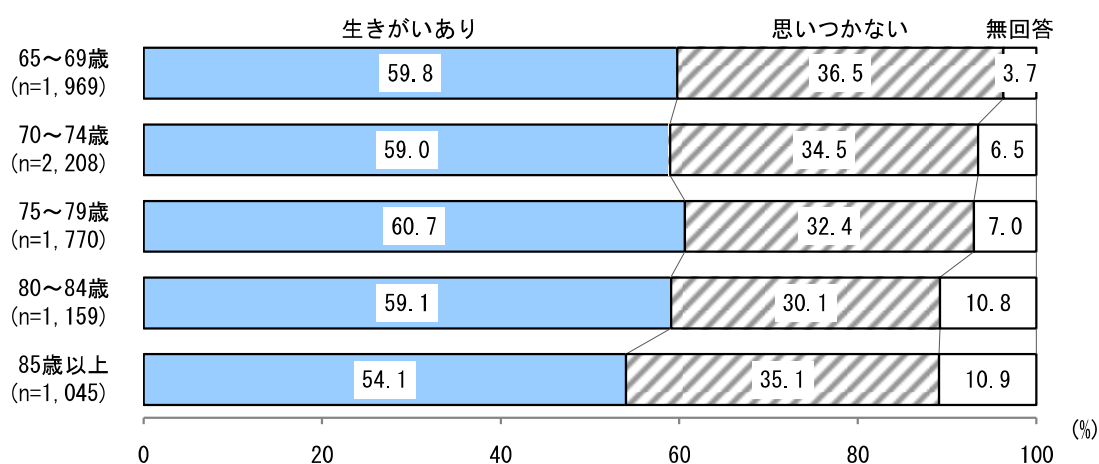


生きがいの有無については、「生きがいあり」が58.9%、「思いつかない」が34.0%となっています。

前回調査と比較すると、「思いつかない」は2.1ポイント高くなっています。(図11-15)

年齢別でみると、「生きがいあり」は75～79歳が60.7%で最も高い割合となっています。(図11-15-1)

【図11-15-1 年齢別 生きがいの有無】

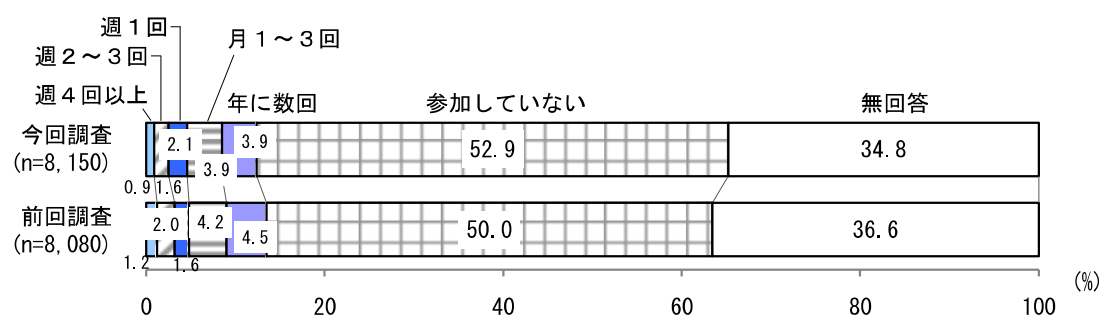


(8) 会・グループの参加頻度

問8 Q14 あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
 <(1)から(8)までそれぞれ○は1つずつ>

① ボランティアのグループ

【図11-16-1 会・グループの参加頻度〔①ボランティアのグループ〕】



会・グループの参加頻度についてたずねました。

ボランティアのグループについては、「参加していない」が52.9%で最も多く、次いで「月1～3回」, 「年に数回」がそれぞれ3.9%となっています。

前回調査と比較すると, 「参加していない」は2.9ポイント高くなっています。(図11-16-1) 年齢別でみると, 「参加していない」は65～69歳 (68.8%) で最も高い割合となっています。(表11-16-1-1)

【表11-16-1-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔①ボランティアのグループ〕】

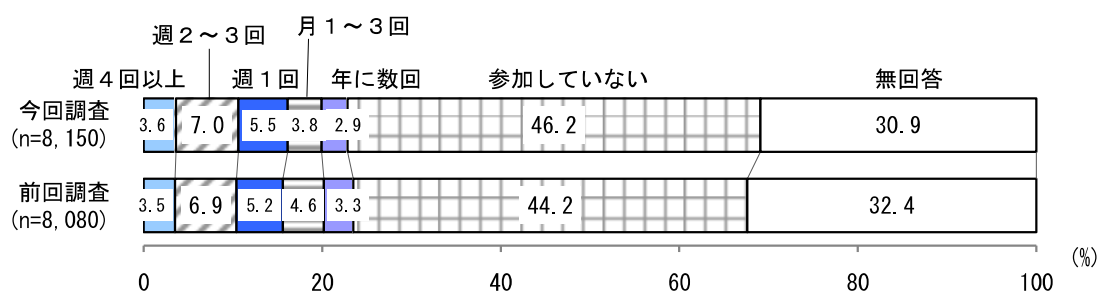
(単位: %)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月に1~3回	年に数回	参加していない	無回答
65～69歳 (n=1,969)	0.7	2.1	2.1	3.8	4.0	68.8	18.6
70～74歳 (n=2,208)	0.7	2.1	2.5	4.5	4.1	56.4	29.7
75～79歳 (n=1,770)	0.9	1.5	2.3	4.2	4.5	47.4	39.1
80～84歳 (n=1,159)	1.7	0.9	2.0	4.0	3.9	39.2	48.3
85歳以上 (n=1,045)	0.4	0.8	0.9	2.1	2.1	39.8	53.9

※表中の          は, 最も多い値 (以下同様)

② スポーツ関係のグループやクラブ

【図11-16-2 会・グループの参加頻度〔②スポーツ関係のグループやクラブ〕】



スポーツ関係のグループやクラブについては、「参加していない」が46.2%で最も多く、次いで「週2~3回」が7.0%、「週1回」が5.5%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」は2.0ポイント高くなっています。(図11-16-2) 年齢別でみると、「週2~3回」は75~79歳(8.0%)で最も高く、「週1回」は65~69歳(6.9%)で最も高い割合となっています。(表11-16-2-1)

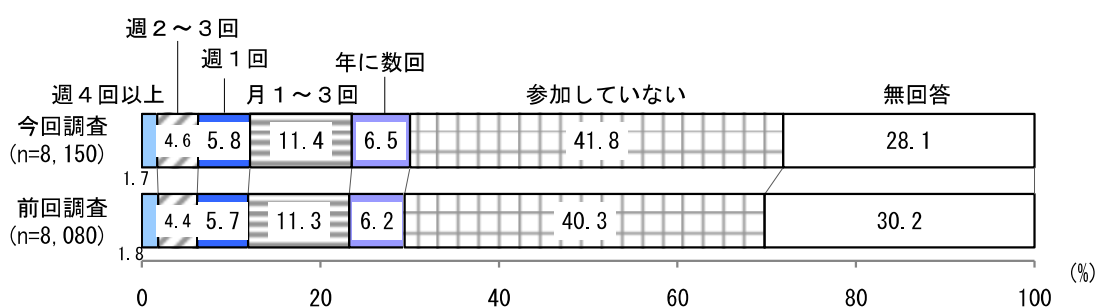
【表11-16-2-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔②スポーツ関係のグループやクラブ〕】

(単位：%)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月に数回	年に数回	参加していない	無回答
65~69歳 (n=1,969)	4.4	6.8	6.9	3.3	3.2	58.1	17.3
70~74歳 (n=2,208)	3.1	7.6	5.6	4.7	3.2	48.7	27.1
75~79歳 (n=1,770)	3.8	8.0	5.8	4.1	3.2	42.3	32.9
80~84歳 (n=1,159)	4.4	7.5	4.4	4.1	2.5	35.4	41.7
85歳以上 (n=1,045)	1.8	4.1	3.6	2.3	1.8	37.4	48.9

③ 趣味関係のグループ

【図11-16-3 会・グループの参加頻度〔③趣味関係のグループ〕】



趣味関係のグループについては、「参加していない」が41.8%で最も多く、次いで「月1~3回」が11.4%、「年に数回」が6.5%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-16-3)

年齢別でみると、「週2~3回」は80~84歳(6.2%)、「週1回」は75~79歳(7.7%)、「月1~3回」は70~74歳(12.8%)で最も高い割合となっています。(表11-16-3-1)

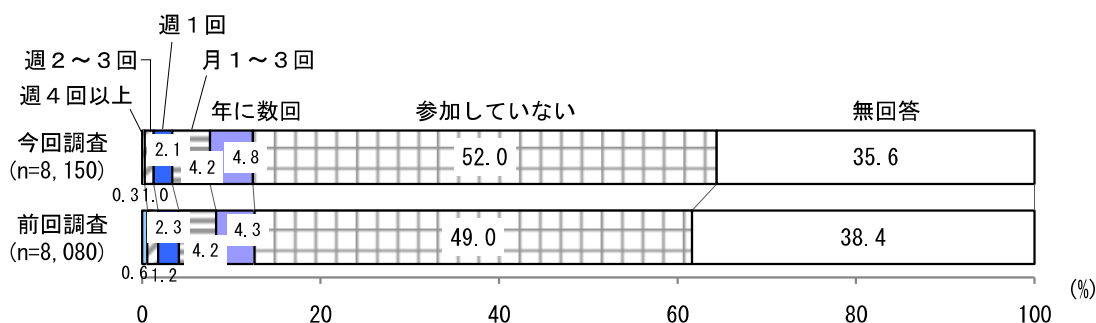
【表11-16-3-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔③趣味関係のグループ〕】

(単位：%)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月に1~3回	年に数回	参加していない	無回答
65~69歳 (n=1,969)	1.6	3.9	4.7	9.9	8.5	54.8	16.5
70~74歳 (n=2,208)	1.1	3.7	6.0	12.8	6.5	44.9	24.9
75~79歳 (n=1,770)	2.2	5.8	7.7	11.8	6.1	35.6	30.8
80~84歳 (n=1,159)	1.9	6.2	5.3	12.1	5.2	31.3	37.9
85歳以上 (n=1,045)	2.4	4.4	4.5	9.9	4.7	32.7	41.4

④ 学習・教養サークル

【図11-16-4 会・グループの参加頻度〔④学習・教養サークル〕】



学習・教養サークルについては、「参加していない」が52.0%で最も多く、次いで「年に数回」が4.8%、「月に1~3回」が4.2%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」は3.0ポイント高くなっています。(図11-16-4)

年齢別でみると、「参加していない」は65~69歳が68.0%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。(表11-16-4-1)

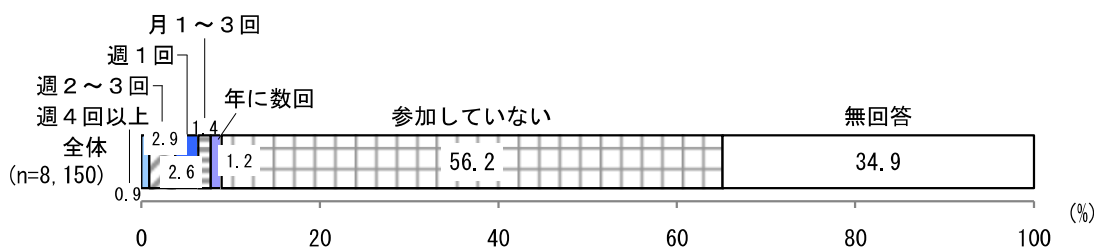
【表11-16-4-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔④学習・教養サークル〕】

(単位：%)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月に1~3回	年に数回	参加していない	無回答
65~69歳 (n=1,969)	-	1.1	1.8	4.0	5.1	68.0	20.0
70~74歳 (n=2,208)	0.2	1.1	2.5	4.7	4.6	56.2	30.8
75~79歳 (n=1,770)	0.5	0.9	2.1	4.3	6.1	46.0	40.0
80~84歳 (n=1,159)	0.7	1.0	1.8	4.4	3.9	39.2	48.9
85歳以上 (n=1,045)	0.5	1.0	2.0	3.3	3.1	37.4	52.7

⑤ 介護予防のための通いの場

【図11-16-5 会・グループの参加頻度〔⑤介護予防のための通いの場〕】



介護予防のための通いの場は、「参加していない」が56.2%で最も多く、次いで「週2～3回」が2.9%、「週1回」が2.6%となっています。（図11-16-5）

年齢別でみると、「参加していない」は65～69歳が74.1%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。（表11-16-5-1）

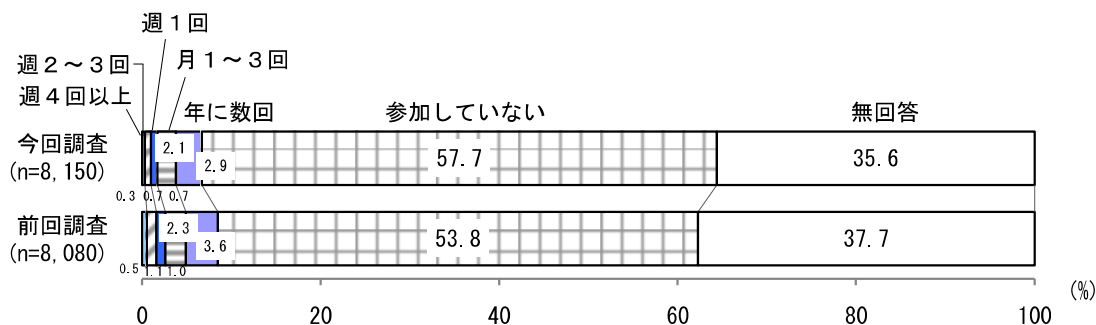
【表11-16-5-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔⑤介護予防のための通いの場〕】

(単位：%)

	週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に数回	参加していない	無回答
65～69歳 (n=1,969)	0.9	1.8	1.4	0.6	1.1	74.1	20.1
70～74歳 (n=2,208)	0.4	3.5	2.9	1.3	1.0	61.0	29.8
75～79歳 (n=1,770)	1.1	3.3	2.9	2.1	1.3	50.4	39.0
80～84歳 (n=1,159)	1.2	2.8	2.6	1.9	1.9	41.5	48.0
85歳以上 (n=1,045)	1.2	2.9	3.3	1.3	1.0	38.4	51.9

⑥ 老人クラブ

【図11-16-6 会・グループの参加頻度〔⑥老人クラブ〕】



老人クラブについては、「参加していない」が57.7%で最も多く、次いで「年に数回」が2.9%、「月1~3回」が2.1%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」は3.9ポイント高くなっています。(図11-16-6) 年齢別でみると、「参加していない」は65~69歳が77.0%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。(表11-16-6-1)

【表11-16-6-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔⑥老人クラブ〕】

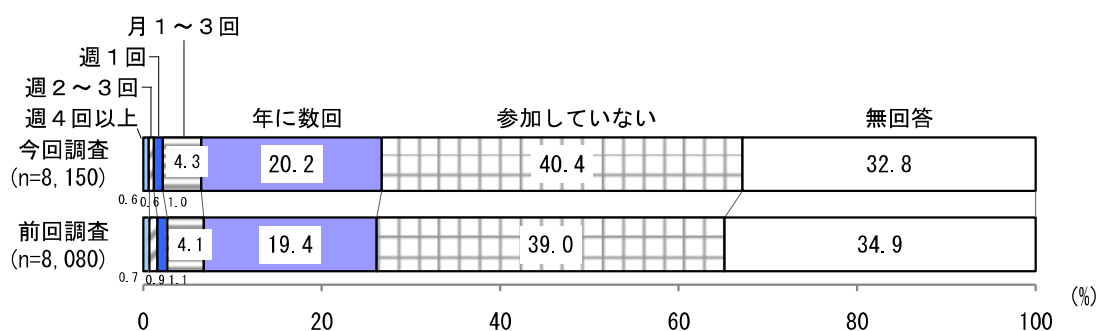
(単位：%)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
65~69歳 (n=1,969)	0.1	0.5	0.2	0.8	0.6	77.0	20.9
70~74歳 (n=2,208)	0.1	0.3	0.5	1.5	1.7	64.2	31.7
75~79歳 (n=1,770)	0.3	1.2	0.8	2.6	4.6	50.3	40.2
80~84歳 (n=1,159)	0.7	1.1	1.2	4.5	4.6	40.4	47.6
85歳以上 (n=1,045)	0.7	1.3	1.1	2.4	4.7	39.2	50.6



⑦ 町内会・自治会

【図11-16-7 会・グループの参加頻度〔⑦町内会・自治会〕】



町内会・自治会については、「参加していない」が40.4%で最も多く、次いで「年に数回」が20.2%、「月1~3回」が4.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-16-7)

年齢別でみると、「年に数回」は79歳までの年代で20%台と高くなっています。(表11-16-7-1)

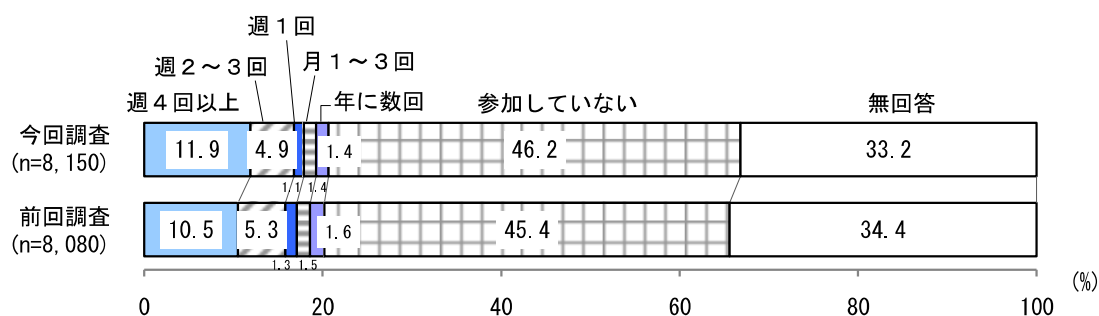
【表11-16-7-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔⑦町内会・自治会〕】

(単位：%)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
65~69歳 (n=1,969)	0.2	0.1	1.1	4.4	22.5	53.1	18.6
70~74歳 (n=2,208)	0.8	0.7	1.2	5.4	22.4	41.2	28.3
75~79歳 (n=1,770)	0.8	0.7	1.1	4.4	21.2	35.6	36.1
80~84歳 (n=1,159)	0.6	1.1	0.8	3.5	17.7	31.5	44.8
85歳以上 (n=1,045)	0.6	0.9	0.4	2.7	12.5	32.8	50.1

⑧ 収入のある仕事

【図11-16-8 会・グループの参加頻度〔⑧収入のある仕事〕】



収入のある仕事については、「参加していない」が46.2%で最も多く、次いで「週4回以上」が11.9%、「週2～3回」が4.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-16-8)

年齢別でみると、「週4回以上」は65～69歳が23.0%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。(表11-16-8-1)

【表11-16-8-1 年齢別 会・グループの参加頻度〔⑧収入のある仕事〕】

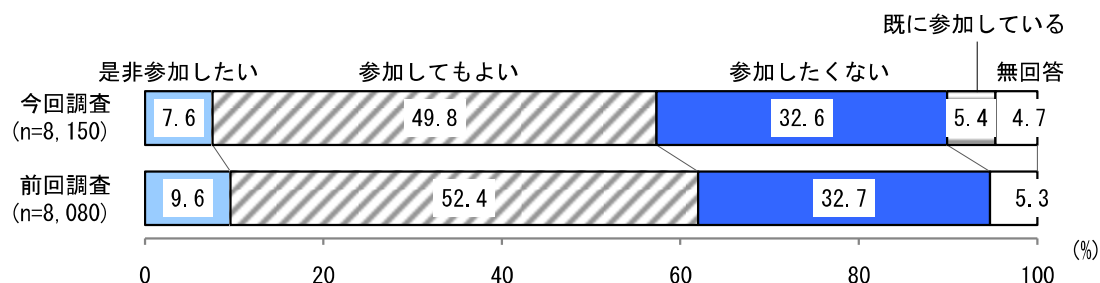
(単位：%)

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
65～69歳 (n=1,969)	23.0	7.7	1.3	1.6	1.4	49.8	15.3
70～74歳 (n=2,208)	14.7	6.8	1.4	1.7	1.9	46.8	26.8
75～79歳 (n=1,770)	7.8	3.8	1.2	1.6	1.5	46.1	38.0
80～84歳 (n=1,159)	3.5	1.1	0.7	0.8	1.2	43.3	49.4
85歳以上 (n=1,045)	1.2	1.4	0.3	0.7	0.5	41.7	54.1

(9) 地域づくり活動の参加者としての参加意向

問8 Q15 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。〈〇は1つ〉

【図11-17 地域づくり活動の参加者としての参加意向】



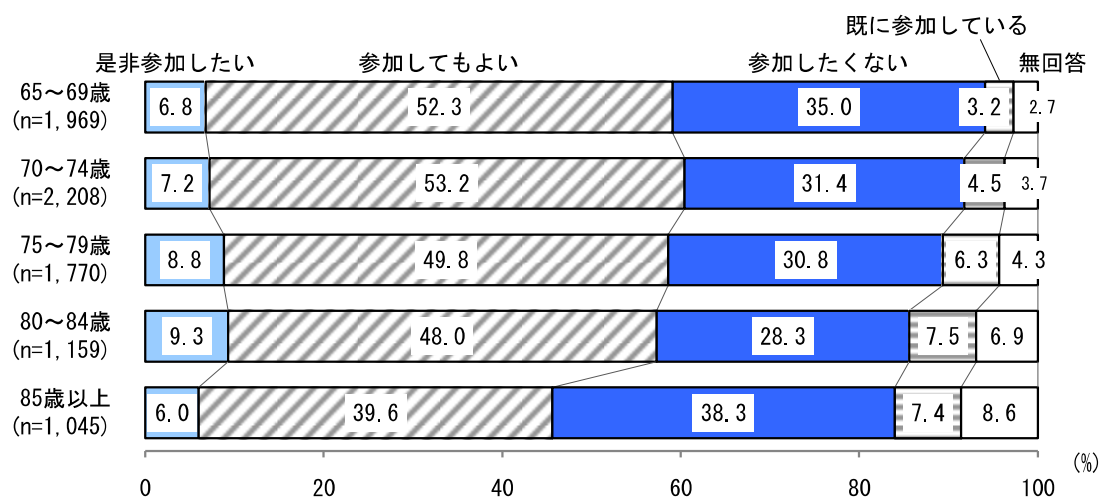
※「既に参加している」は、今回調査のみの選択肢。

地域づくり活動の参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が49.8%で最も多く、次いで「参加したくない」が32.6%、「是非参加したい」が7.6%となっています。

前回調査とは選択肢が異なるので、一概には比較できませんが、参考としてみると、「是非参加したい」、「参加してもよい」とも前回より低くなっています。(図11-17)

年齢別でみると、「是非参加したい」は80～84歳(9.3%)で最も高く、85歳以上(6.0%)で最も低くなっています。「参加してもよい」は74歳までの年代で50%台となっています。(図11-17-1)

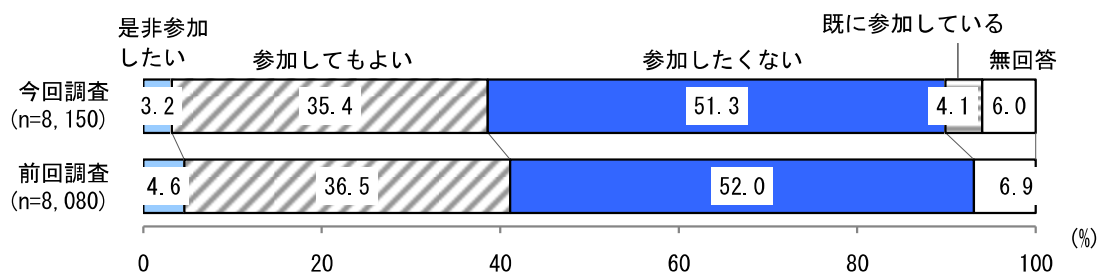
【図11-17-1 年齢別 地域づくり活動の参加者としての参加意向】



(10) 地域づくり活動の企画・運営としての参加意向

問8 Q16 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。〈〇は1つ〉

【図11-18 地域づくり活動の企画・運営としての参加意向】



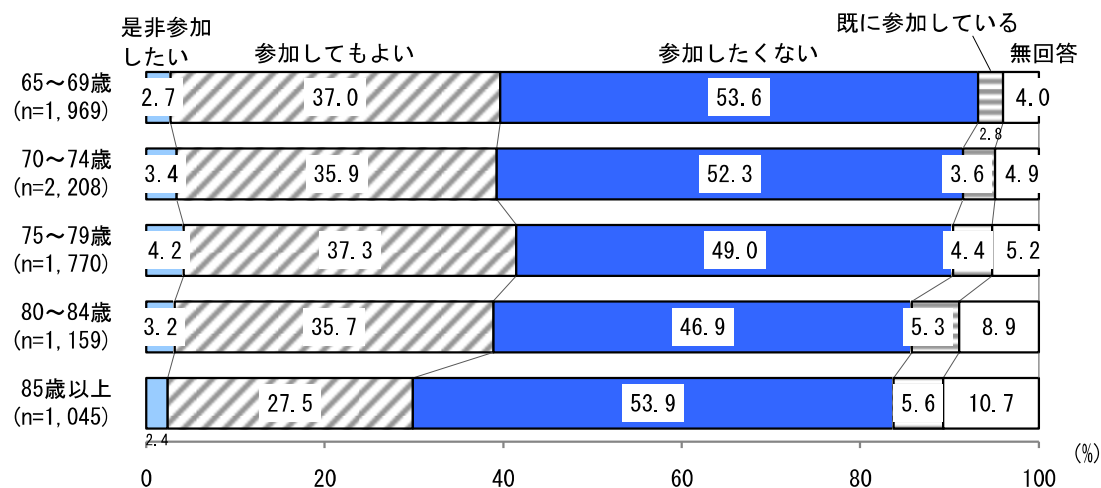
※「既に参加している」は、今回調査のみの選択肢。

地域づくり活動の企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が51.3%で最も多く、次いで「参加してもよい」が35.4%、「既に参加している」が4.1%となっています。

前回調査とは選択肢が異なるので、一概には比較できませんが、参考としてみると、「是非参加したい」、「参加してもよい」とも前回より低くなっています。(図11-18)

年齢別でみると、「参加してもよい」は75～79歳が37.3%で最も高く、次いで65～69歳が37.0%となっています。一方、「参加したくない」は85歳以上が53.9%で最も高い割合となっています。(図11-18-1)

【図11-18-1 年齢別 地域づくり活動の企画・運営としての参加意向】

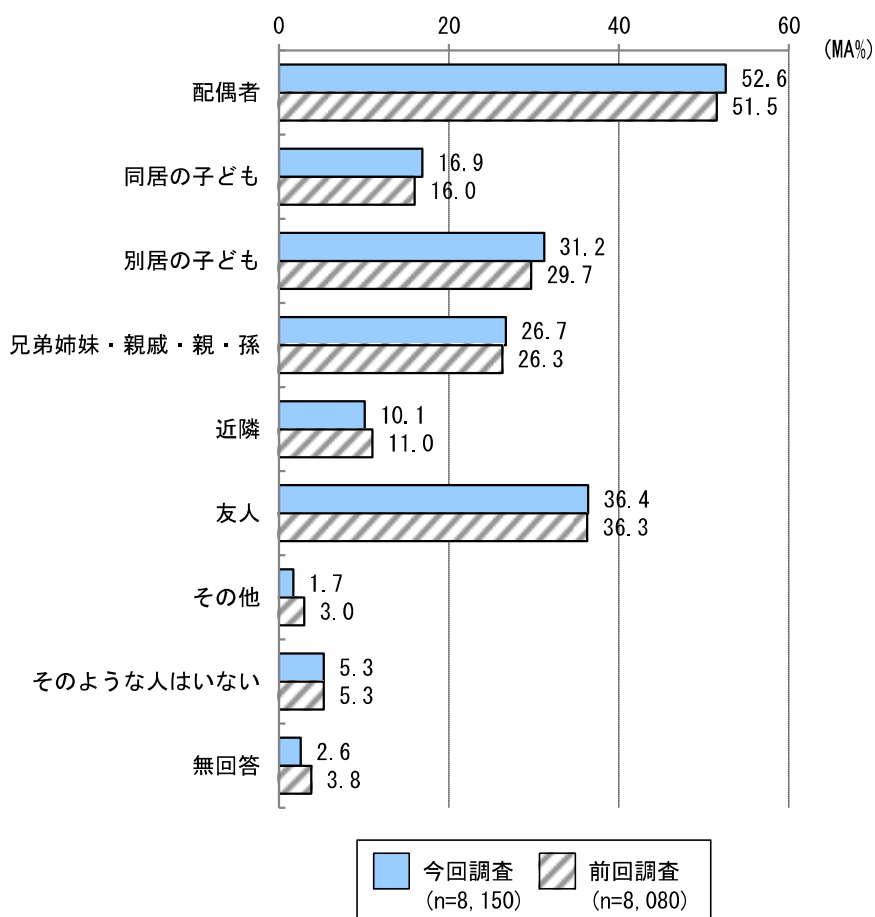


(11) たすけあいの状況

問8 Q17 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。  
 <(1)から(4)までそれぞれあてはまるものすべてに○>

① あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

【図11-19-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

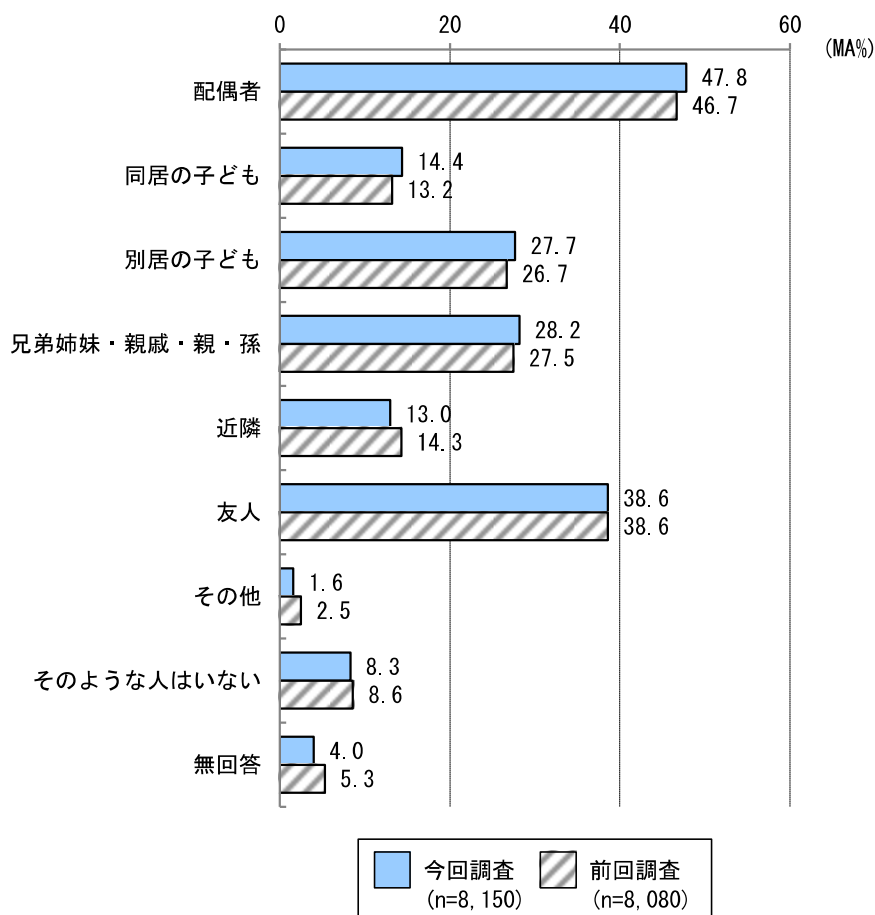


心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が52.6%で最も多く、次いで「友人」が36.4%、「別居の子ども」が31.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-19-1)

② 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

【図11-19-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人】

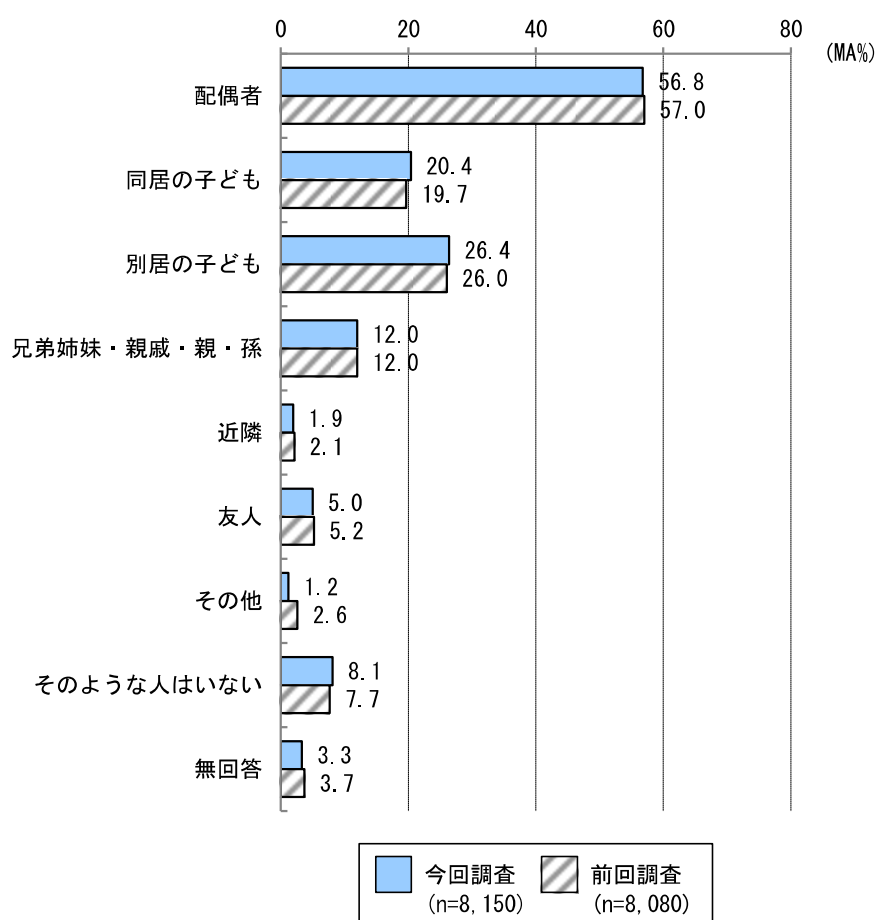


心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が47.8%で最も多く、次いで「友人」が38.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-19-2)

③ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

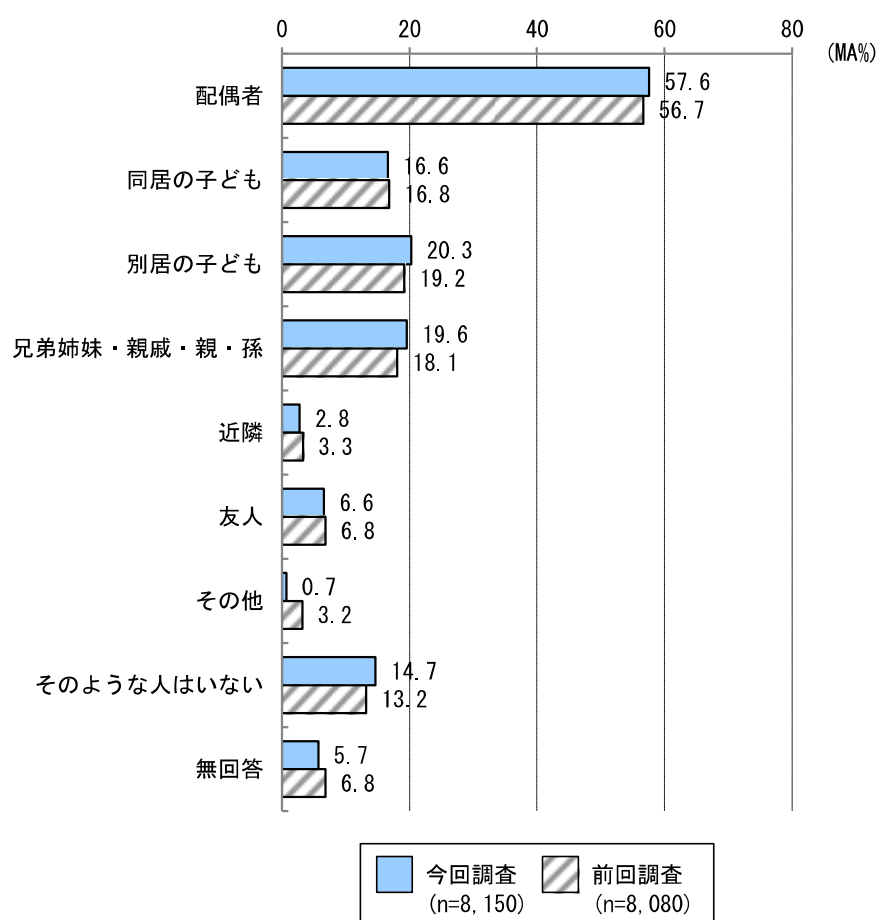
【図11-19-3 看病や世話をしてくれる人】



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が56.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が26.4%、「同居の子ども」が20.4%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-19-3)

④ 反対に、あなたが看病や世話をしている人

【図11-19-4 看病や世話をしている人】



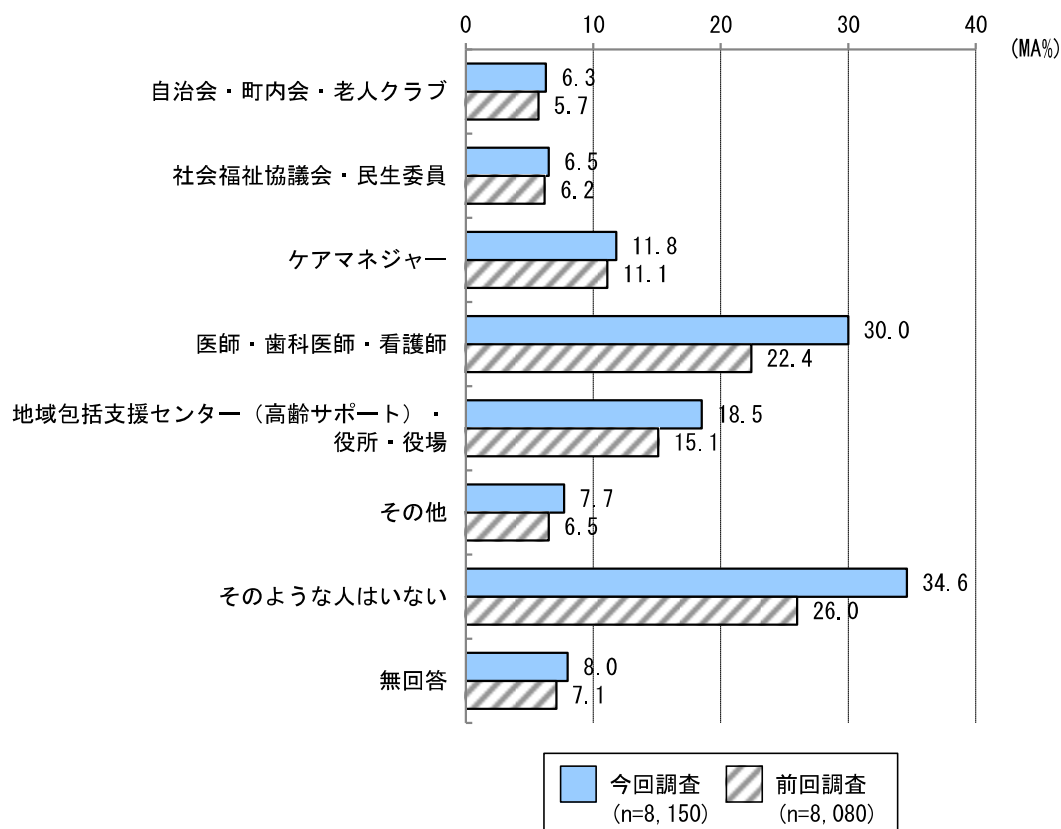
看病や世話をしている人については、「配偶者」が57.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が20.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.6%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-19-4)



(12) 家族や友人・知人以外の相談相手

問 8 Q18 あなたが家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
 <あてはまるものすべてに○>

【図11-20 家族や友人・知人以外の相談相手】

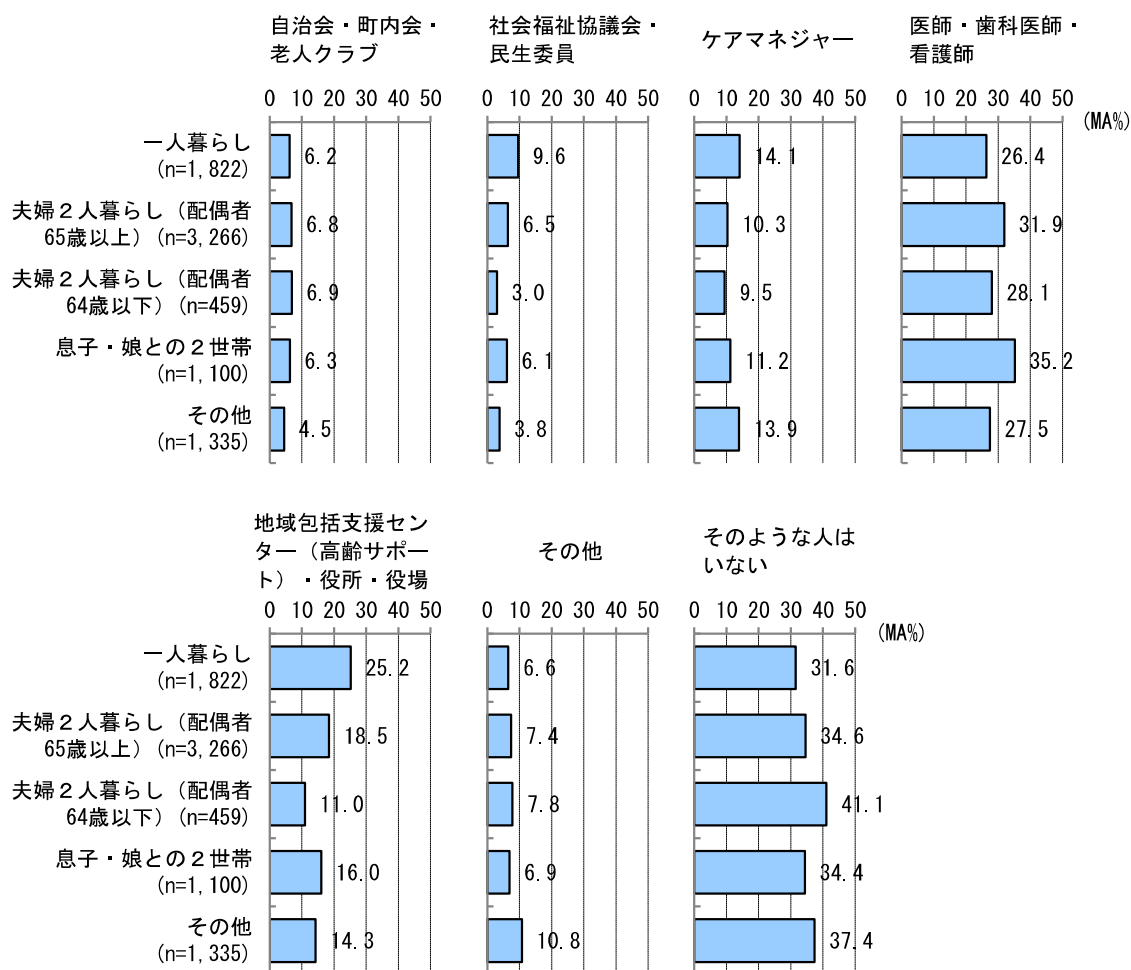


家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が34.6%で最も多いですが、相談相手がいる人では「医師・歯科医師・看護師」が30.0%で最も多く、次いで「地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場」が18.5%、「ケアマネジャー」が11.8%となっています。

前回調査と比較すると、「医師・歯科医師・看護師」は7.6ポイント高くなっています。(図11-20)

家族構成別でみると，“息子・娘との2世帯”では「医師・歯科医師・看護師」が35.2%で最も多いですが、それ以外の世帯では「そのような人はいない」が最も多くなっています。(図11-20-1)

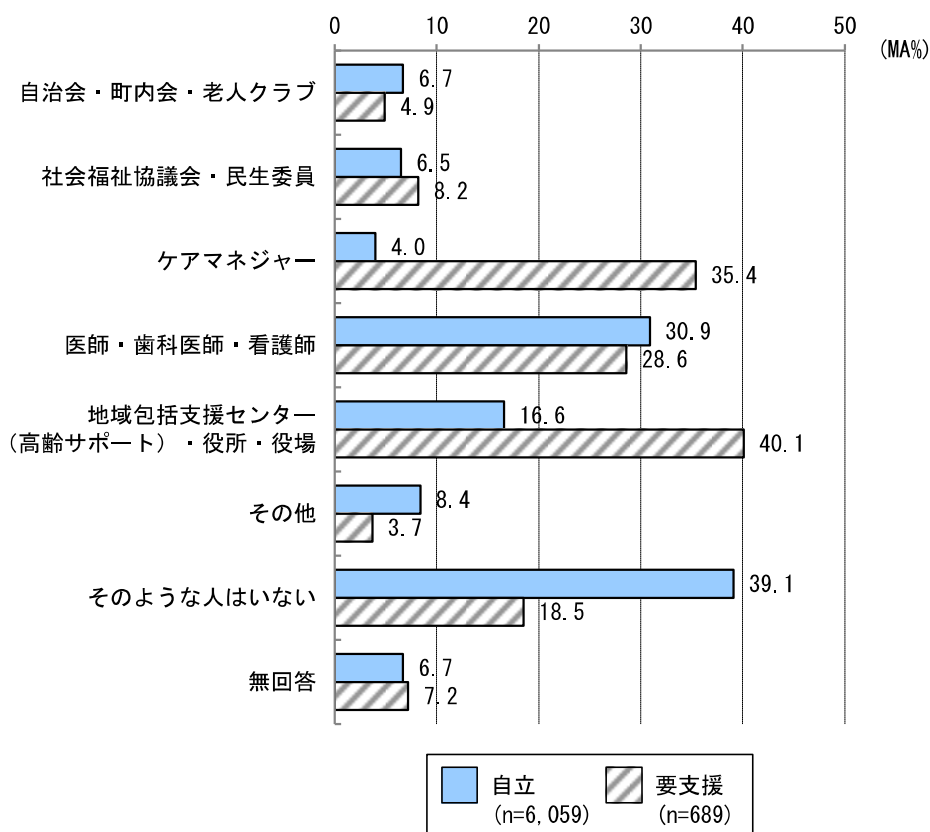
【図11-20-1 家族構成別 家族や友人・知人以外の相談相手】



- 高齢者調査の結果 -

自立・要支援別で見ると、自立では「そのような人はいない」が39.1%で最も多くなっています。要支援者では「地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場」が40.1%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が35.4%となっています。（図11-20-2）

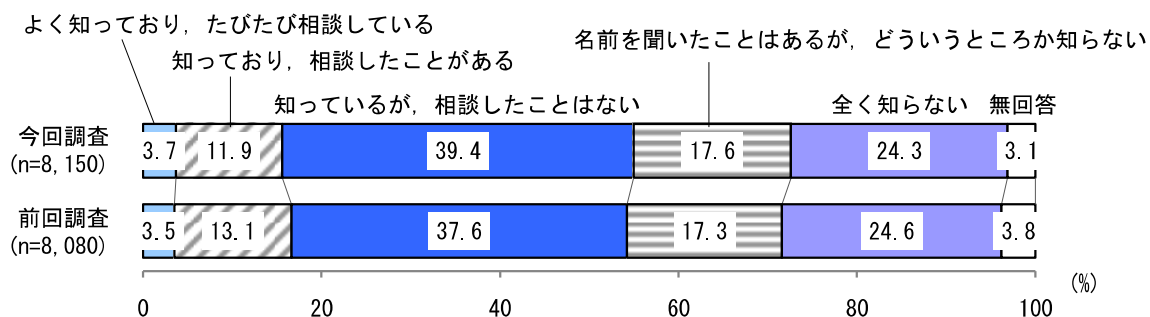
【図11-20-2 自立・要支援別 家族や友人・知人以外の相談相手】



(13) 地域包括支援センターの認知・利用状況

問8 Q19 あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。また、相談したことはありますか。〈○は1つ〉

【図11-21 地域包括支援センターの認知・利用状況】

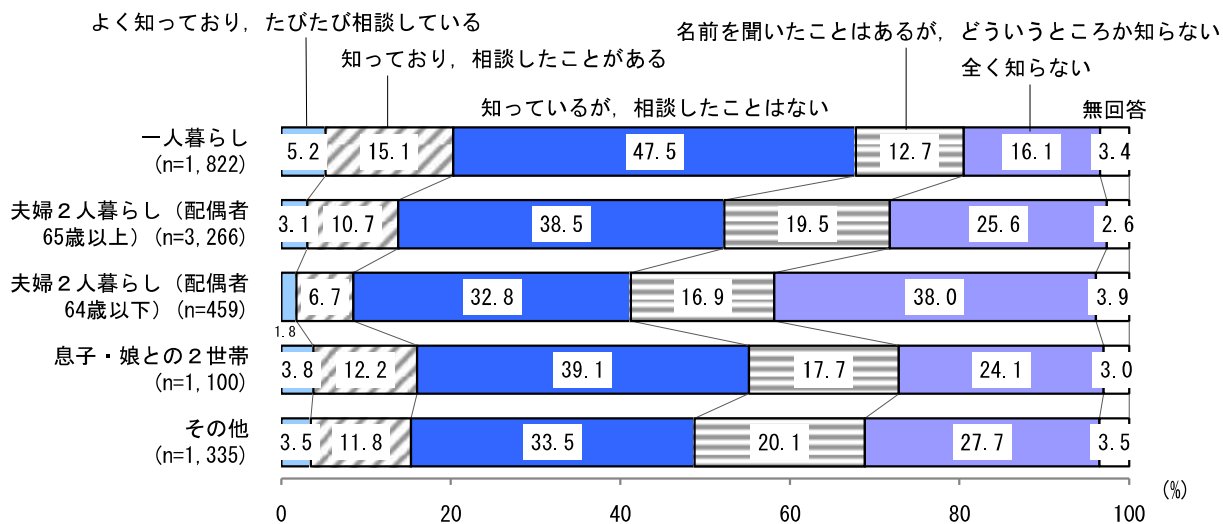


地域包括支援センターの認知・利用状況については、「知っているが、相談したことはない」が39.4%で最も多く、次いで「全く知らない」が24.3%、「名前を聞いたことはあるが、どういところか知らない」が17.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-21)

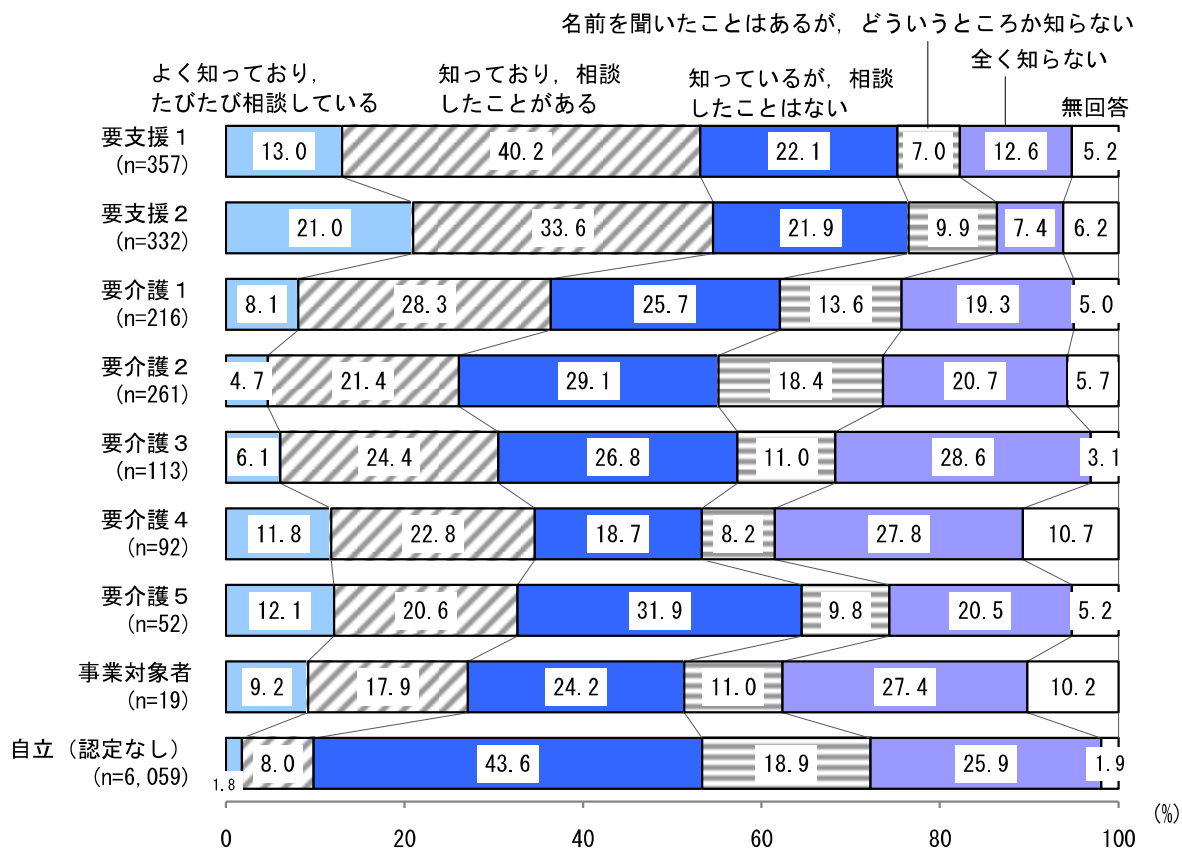
家族構成別でみると、“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”は「全く知らない」が38.0%で最も多いですが、それ以外の世帯では「知っているが、相談したことはない」が最も多くなっています。(図11-21-1)

【図11-21-1 家族構成別 地域包括支援センターの認知・利用状況】



要介護認定区分別でみると、要支援1～要介護1では「知っており、相談したことがある」が最も多いですが、要介護3，要介護4では「全く知らない」が最も多くなっています。（図11-21-2）

【図11-21-2 要介護認定区分別 地域包括支援センターの認知・利用状況】

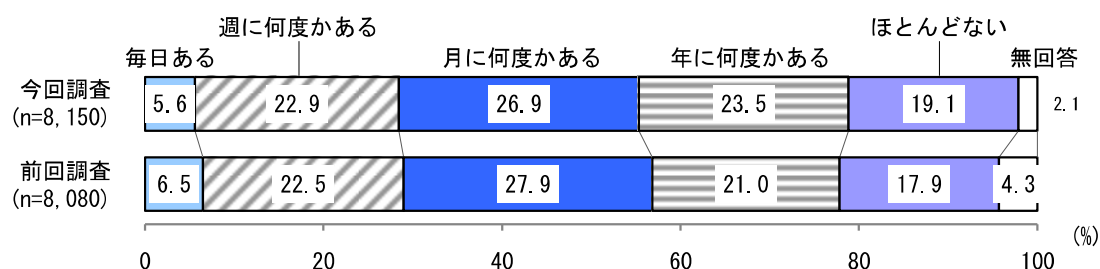


(14) 友人・知人に会う頻度

問8 Q20 あなたの友人関係についておうかがいします。

(1) あなたが友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。〈〇は1つ〉

【図11-22 友人・知人に会う頻度】

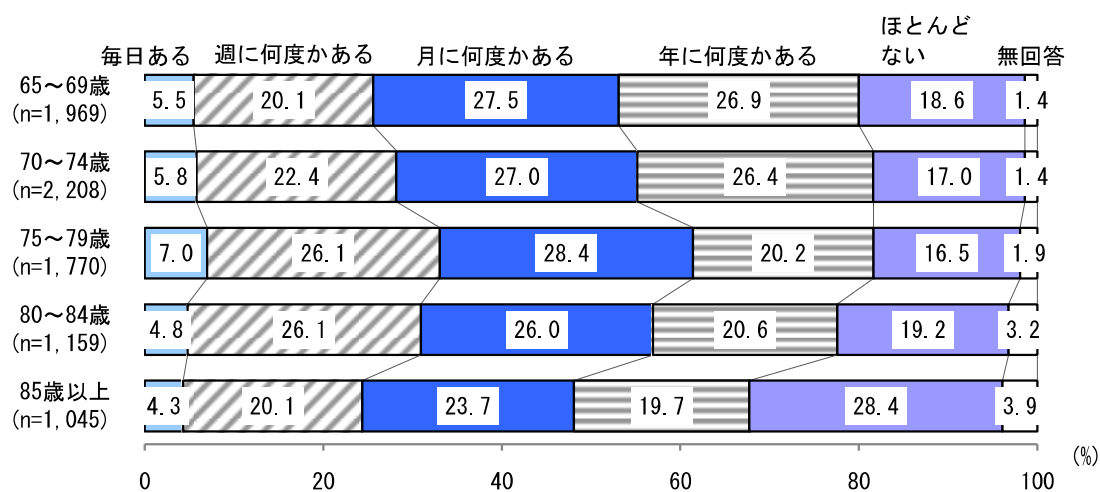


友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が26.9%で最も多く、次いで「年に何度かある」が23.5%、「週に何度かある」が22.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-22)

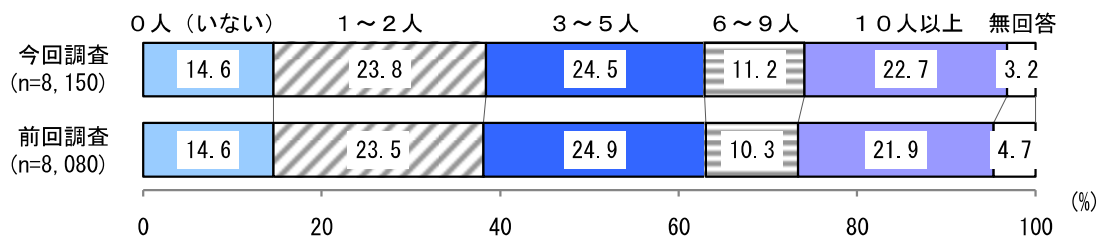
年齢別でみると、80～84歳は「週に何度かある」が26.1%で最も多いですが、79歳までの年代では「月に何度かある」が最も多くなっています。一方、85歳以上は「ほとんどない」が28.4%で最も多くなっています。(図11-22-1)

【図11-22-1 年齢別 友人・知人に会う頻度】



(2) あなたはこの1箇月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。〈〇は1つ〉

【図11-23 1箇月間に会った友人・知人の人数】

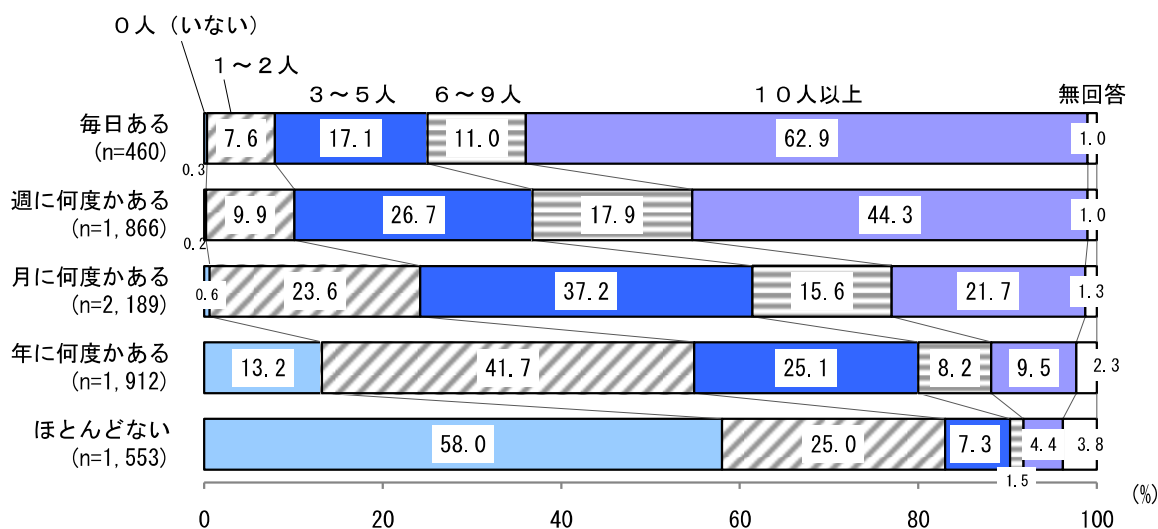


1箇月間に会った友人・知人の人数については、「3~5人」が24.5%で最も多く、次いで「1~2人」が23.8%、「10人以上」が22.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-23)

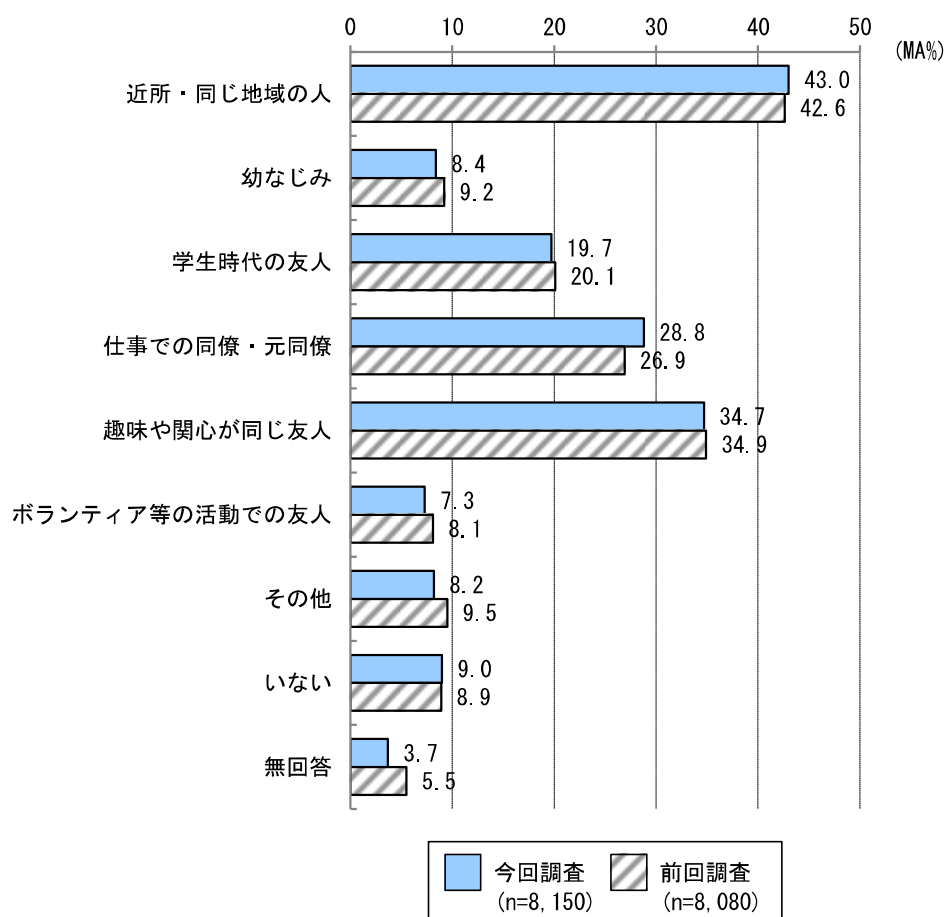
友人・知人に会う頻度別でみると、“毎日ある”、“週に何度かある”は「10人以上」が最も多くなっています。会う頻度が低くなるほど会った友人・知人の人数も少なくなっています。(図11-23-1)

【図11-23-1 友人・知人に会う頻度別 1箇月間に会った友人・知人の人数】



(3) あなたがよく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

【図11-24 よく会う友人・知人との関係】

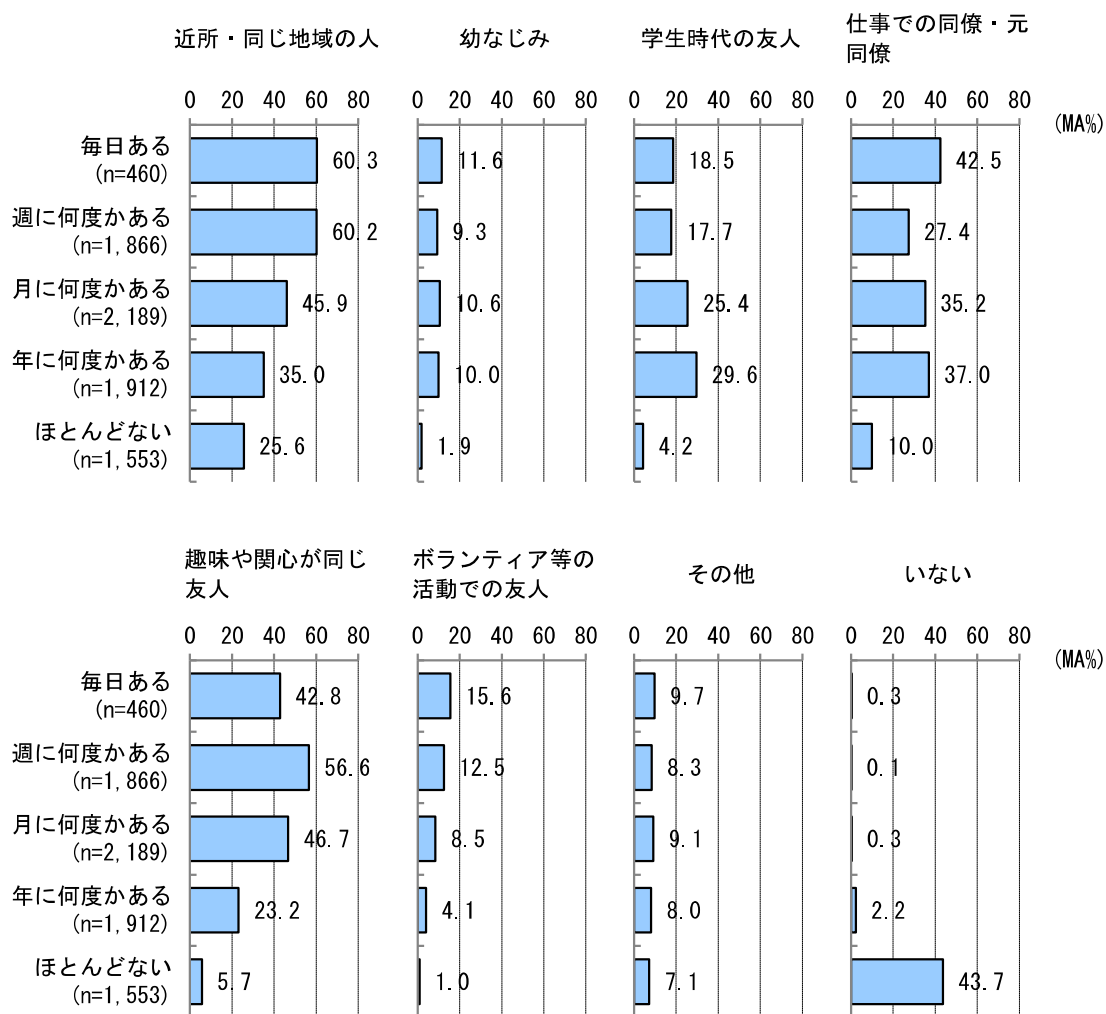


よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が43.0%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が34.7%、「仕事での同僚・元同僚」が28.8%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図11-24)



友人・知人に会う頻度別でみると、“毎日ある”，“週に何度かある”は「近所・同じ地域の人」が60%台で最も多く、次いで“毎日ある”は「仕事での同僚・元同僚」（42.5%），“週に何度かある”は「趣味や関心が同じ友人」（56.6%）となっています。（図11-24-1）

【図11-24-1 友人・知人に会う頻度別 よく会う友人・知人との関係】

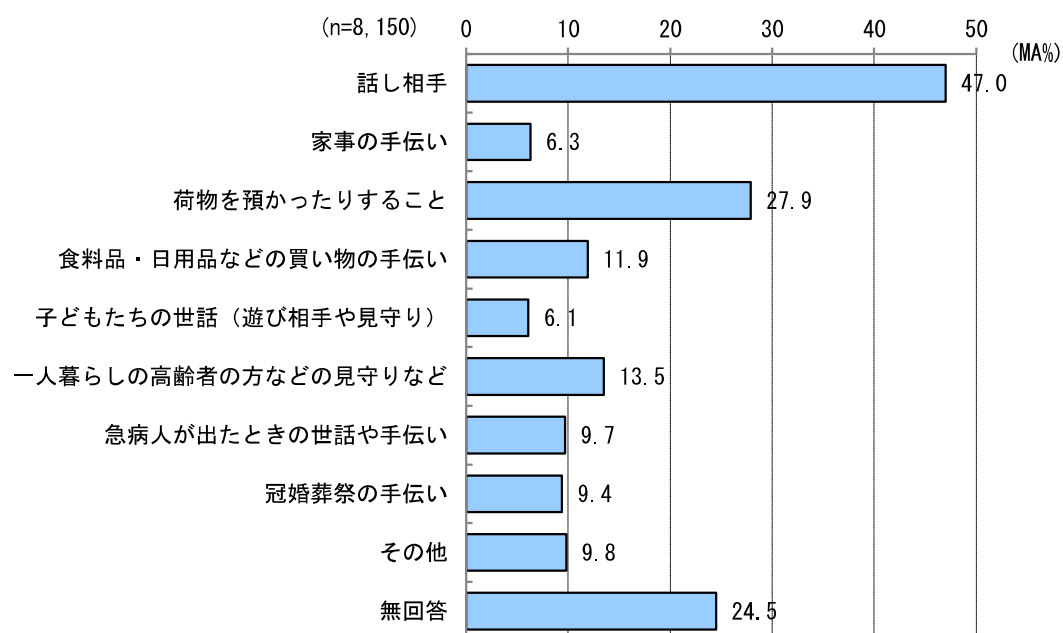


(15) 近所づきあい

問8 Q21 近所づきあい・外出に関することについておうかがいします。

(1) あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。〈あてはまるものすべてに○〉

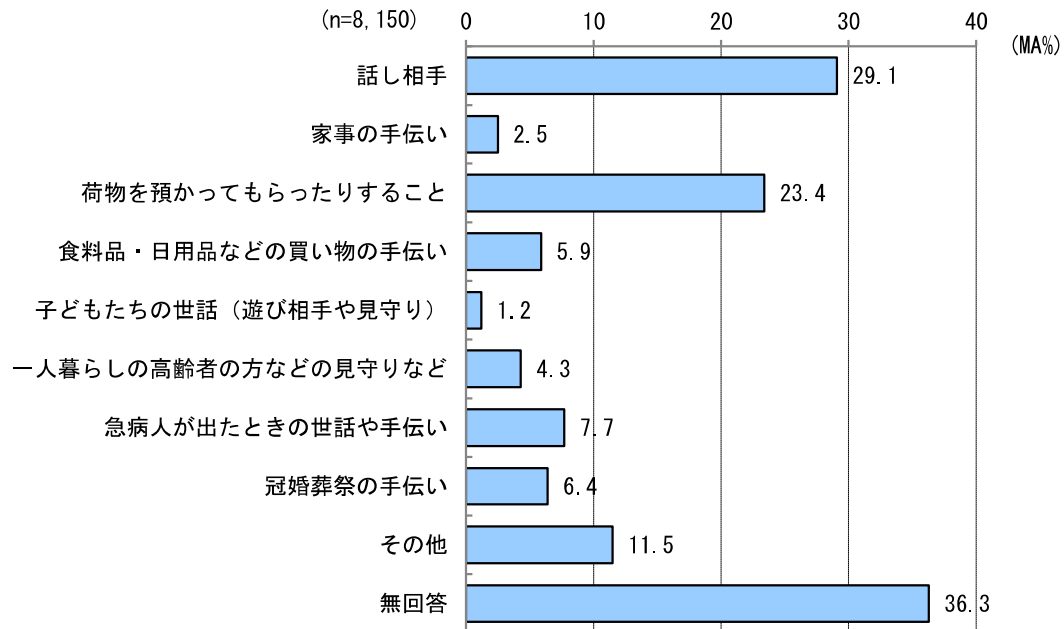
【図11-25 近所で手助けや協力ができること】



自身が近所で手助けや協力ができることについては、「話し相手」が47.0%で最も多く、次いで「荷物を預かったりすること」が27.9%、「一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど」が13.5%となっています。(図11-25)

(2) あなた自身が御近所に頼むことができそうなことがありますか。  
<あてはまるものすべてに○>

【図11-26 近所に頼むことができそうなこと】



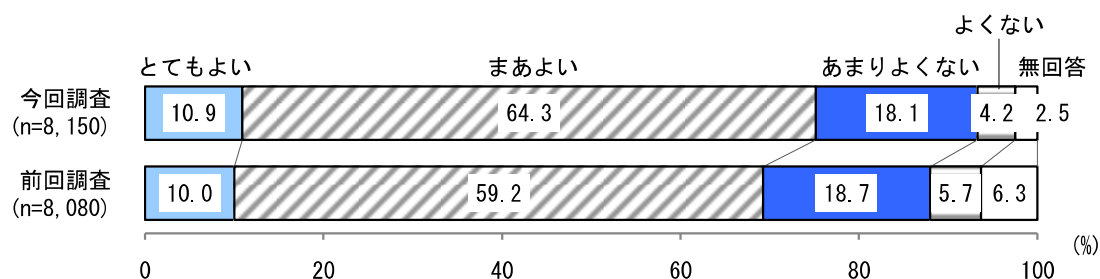
自身が近所に頼むことができそうなことについては、「話し相手」が29.1%で最も多く、次いで「荷物を預かってもらったりすること」が23.4%、「急病人が出たときの世話や手伝い」が7.7%となっています。(図11-26)

## 12 健康について

### (1) 主観的健康観

問9 Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。〈〇は1つ〉

【図12-1 主観的健康観】

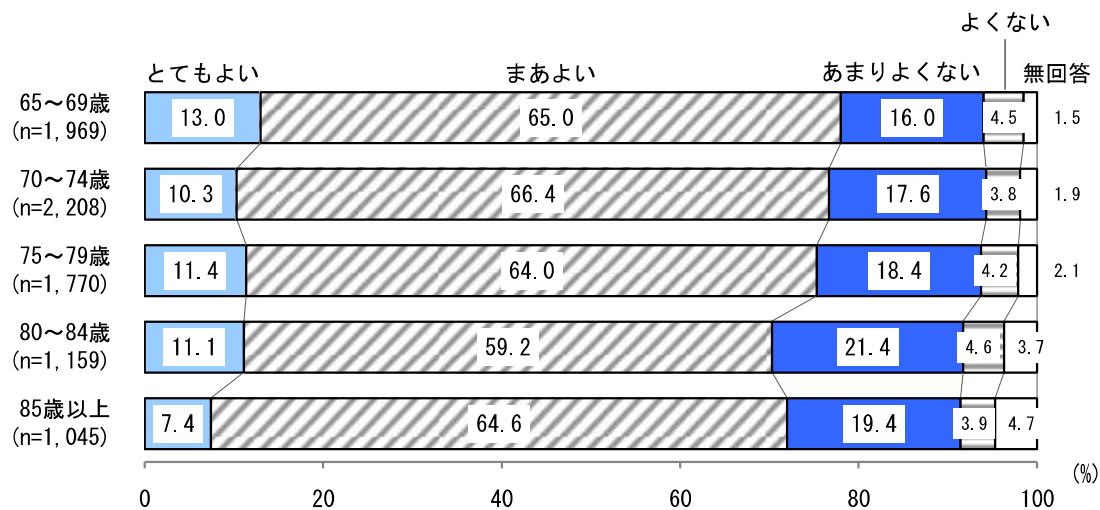


主観的健康観については、「まあよい」が64.3%で最も多く、次いで「あまりよくない」が18.1%、「とてもよい」が10.9%となっており、「とてもよい」と「まあよい」をあわせた『よい』は75.2%となっています。

前回調査と比較すると、「とてもよい」、「まあよい」とも高くなっており、『よい』は6.0ポイント高くなっています。(図12-1)

年齢別でみると、『よい』は65～69歳が78.0%で最も高い割合となっています。(図12-1-1)

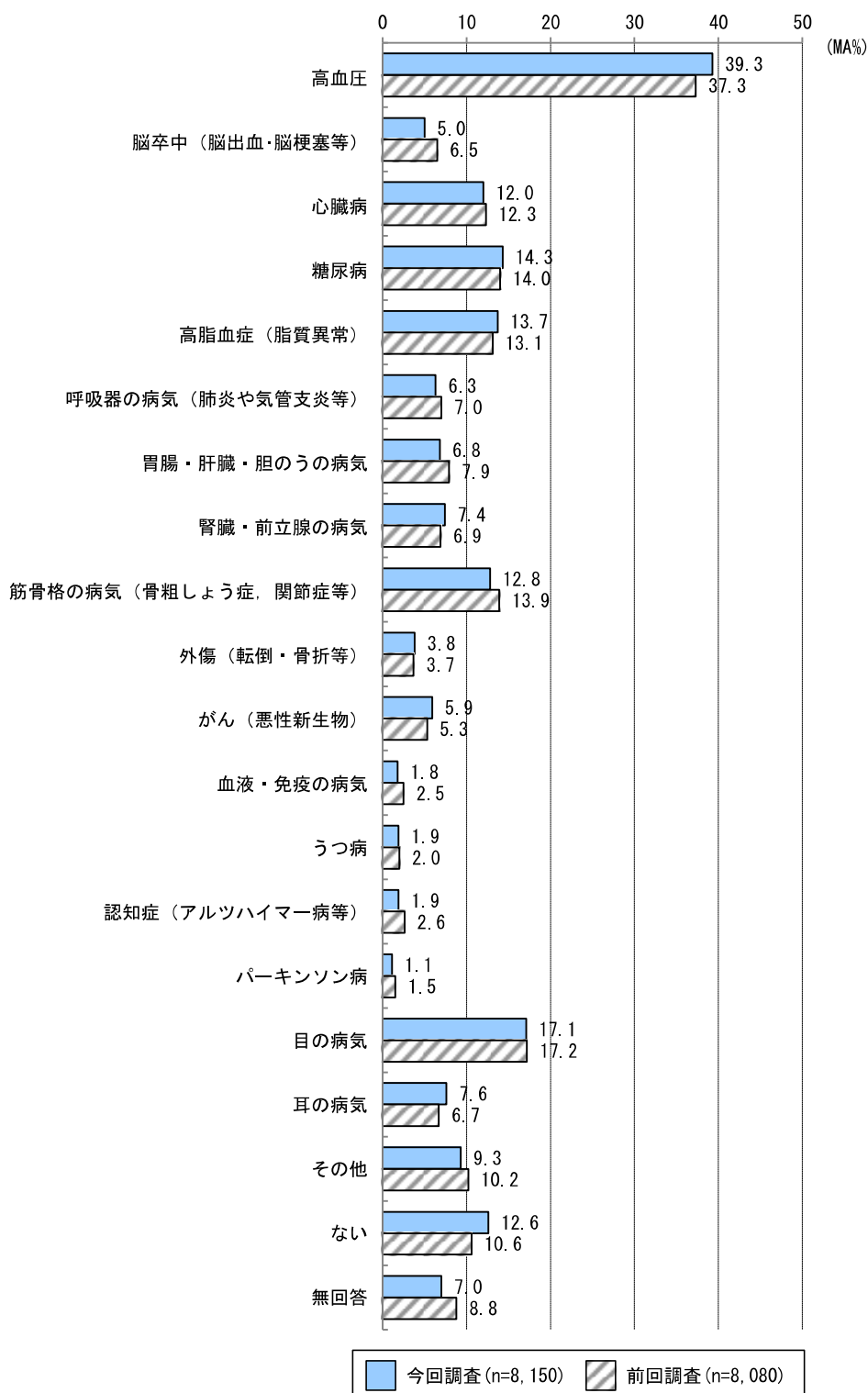
【図12-1-1 年齢別 主観的健康観】



(2) 現在治療中の病気

問9 Q2 あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。〈あてはまるものすべてに○〉

【図12-2 現在治療中の病気】

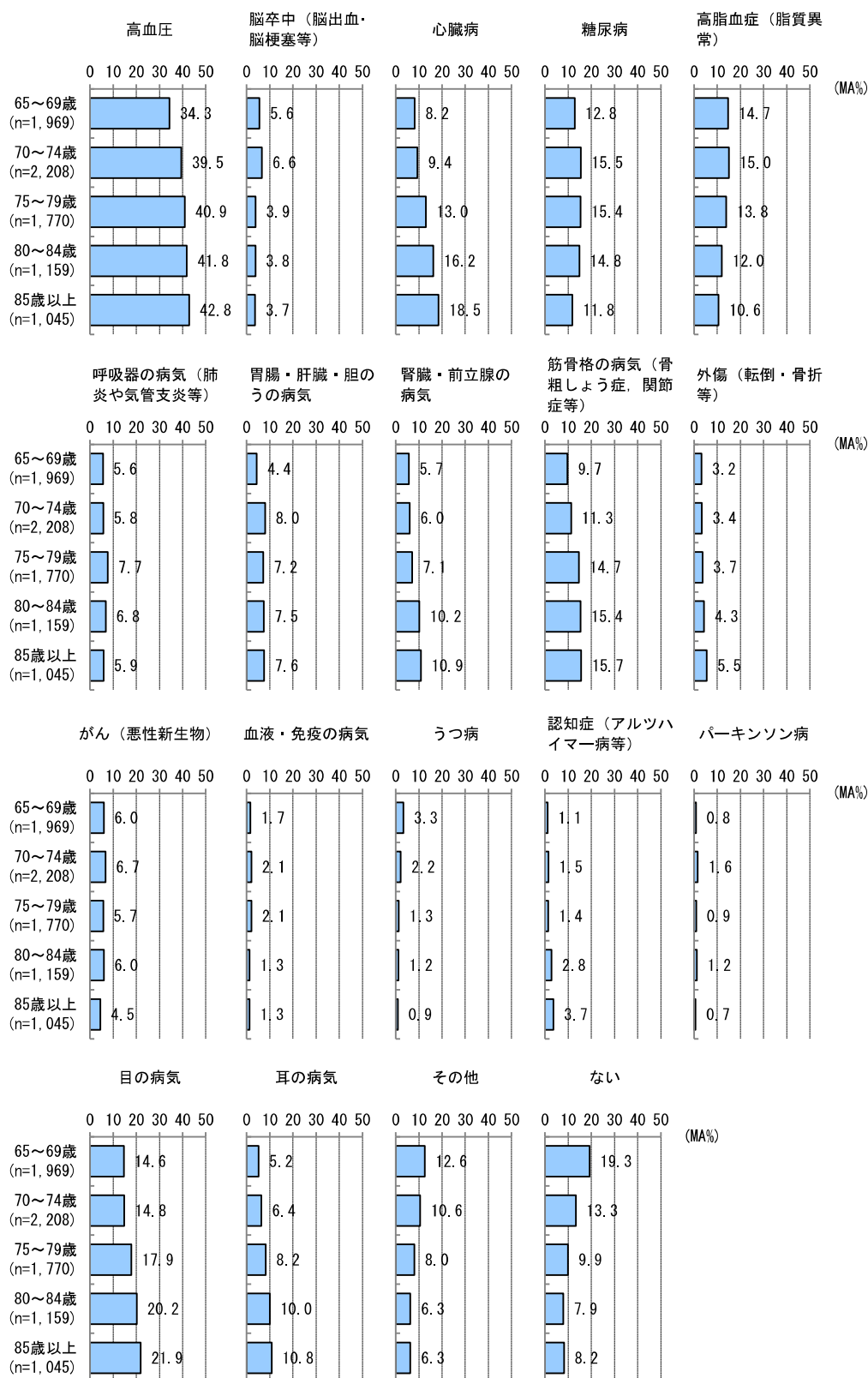


現在治療中の病気については、「高血圧」が39.3%で最も多く、次いで「目の病気」が17.1%、「糖尿病」が14.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図12-2)

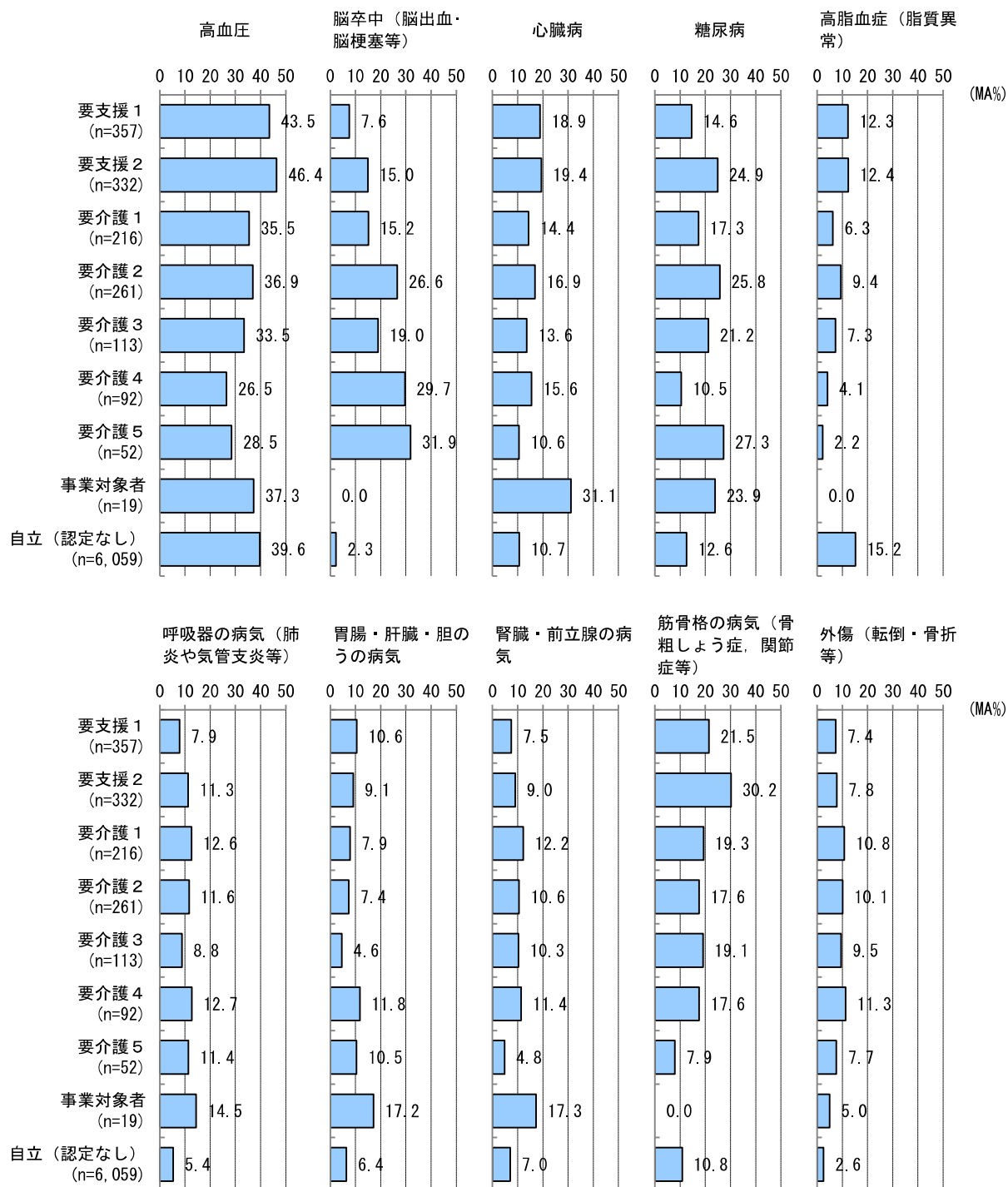
年齢別でみると、いずれの年代も「高血圧」が最も多く、高齢になるほど割合が高くなっています。また、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「外傷（転倒・骨折等）」、「目の病気」、「耳の病気」も高齢になるほど割合が高くなっています。（図12-2-1）

【図12-2-1 年齢別 現在治療中の病気】

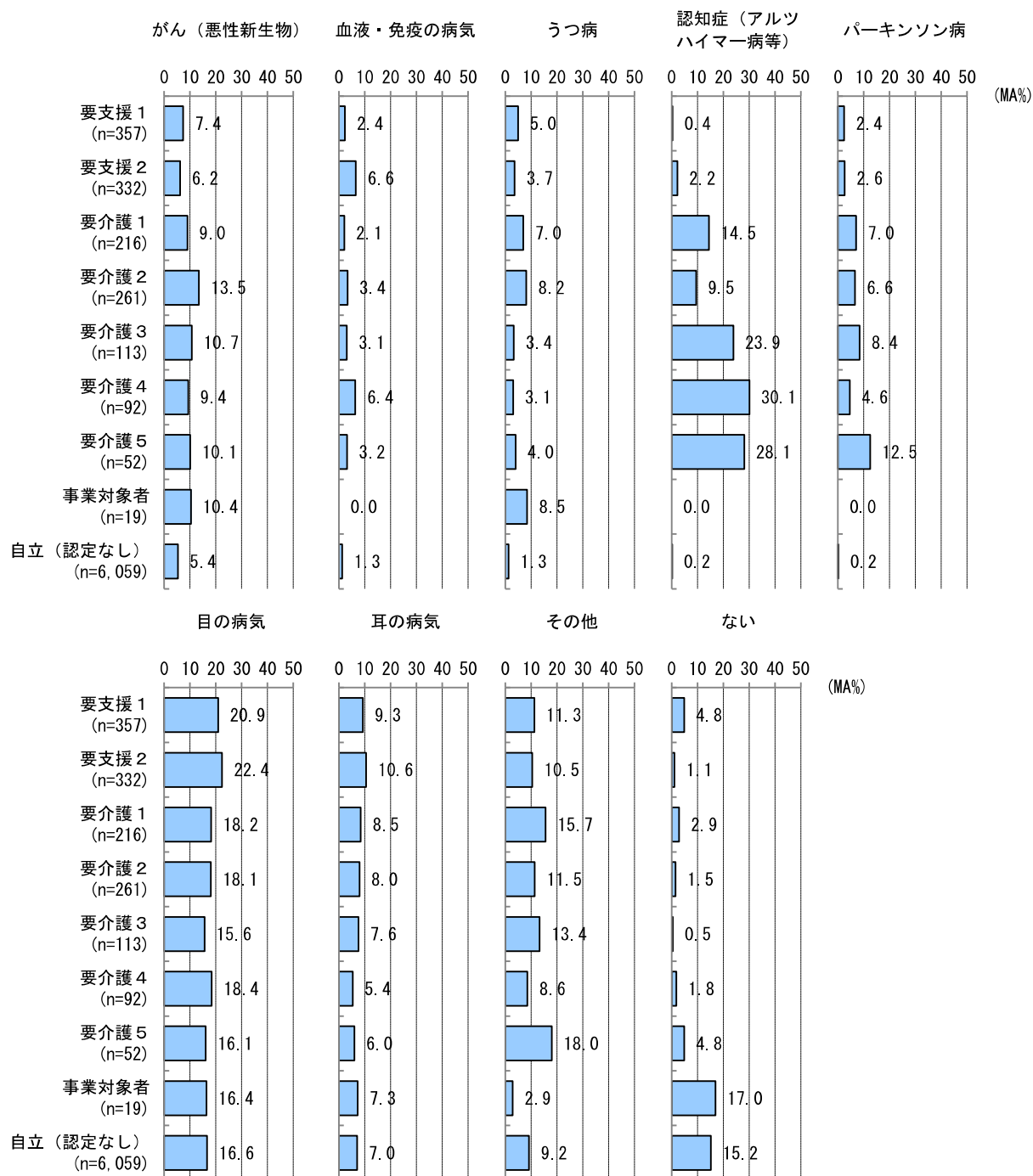


要介護認定区別でみると、要支援1～要介護3は「高血圧」が最も多く、要介護4では「認知症（アルツハイマー病等）」（30.1%）、要介護5では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（31.9%）が最も多くなっています。（図12-2-2①②）

【図12-2-2 要介護認定区別 現在治療中の病気①】



【図12-2-2 要介護認定区分別 現在治療中の病気②】





- 高齢者調査の結果 -

日常生活で不自由に感じていること別でみると、いずれも「高血圧」が最も多くなっています。次いで“衣服の着脱・食事・入浴に関すること”，“病院に通院すること”，“自分を介助する家族などの負担が大きいこと”では「糖尿病」が続いていますが，それ以外の項目は「目の病気」となっています。(表12-2-3)

【表12-2-3 日常生活で不自由に感じていること別 現在治療中の病気（上位5項目）】

	(単位：MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
食事の準備・後片付けをすること (n=984)	高血圧 42.7	目の病気 21.2	心臓病 19.1	糖尿病 18.9	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 16.7
掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること (n=1,047)	高血圧 43.5	目の病気 21.6	糖尿病 19.5	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 19.3	心臓病 16.4
衣服の着脱・食事・入浴に関すること (n=533)	高血圧 36.5	糖尿病 22.9	目の病気 20.9	心臓病 19.8	脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 19.4
身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと(n=585)	高血圧 45.3	目の病気 21.7	心臓病 18.6	糖尿病 17.6	高脂血症(脂質異常) 15.2
段差や間取り、耐震など住まいの建物構造に関すること(n=982)	高血圧 40.1	目の病気 21.8	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 16.8	高脂血症(脂質異常) 16.5	糖尿病 15.2
契約や財産管理の手続きをすること (n=548)	高血圧 39.3	目の病気 22.1	糖尿病 17.5	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 15.6	心臓病 14.5
相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと (n=388)	高血圧 42.4	目の病気 23.7	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 17.0	高脂血症(脂質異常) 16.7	糖尿病 16.4
外出時の移動が負担であること (n=702)	高血圧 46.5	目の病気 23.6	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 22.1	糖尿病 21.8	心臓病 18.4
病院に通院すること (n=664)	高血圧 45.1	糖尿病 25.7	目の病気 25.4	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 21.7	心臓病 20.8
近くに話し相手がないこと (n=476)	高血圧 40.9	目の病気 20.3	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 18.2	糖尿病 17.2	心臓病 15.0
自分を介助する家族などの負担が大きいこと (n=256)	高血圧 36.5	糖尿病 26.6	脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 23.3	認知症(アルツハイマー病等) 21.4	心臓病 18.9
買い物したり、荷物を持ち運ぶこと (n=1,065)	高血圧 44.9	目の病気 24.6	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 24.0	糖尿病 17.0	心臓病 16.3
高齢者どうしや若者・子供との世代を超えた交流の場所がないこと (n=468)	高血圧 45.1	目の病気 18.7	高脂血症(脂質異常) 16.8	糖尿病 15.3	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 14.5
住宅の軽微な修繕に関すること (n=1,344)	高血圧 40.4	目の病気 20.3	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 15.2	心臓病 15.0	高脂血症(脂質異常) 14.6
電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をする こと (n=1,716)	高血圧 40.8	目の病気 22.2	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 20.7	高脂血症(脂質異常) 16.0	糖尿病 15.9
その他 (n=856)	高血圧 37.4	目の病気 14.5	高脂血症(脂質異常) 14.4	糖尿病 12.5	心臓病 10.1

- 高齢者調査の結果 -

主観的健康観別で見ると、いずれも「高血圧」が最も多く、次いで“とてもよい”は「高脂血症（脂質異常）」（12.1%），“まあよい”，“あまりよくない”，“よくない”では「目の病気」が続いています。（表12-2-4）

【表12-2-4 主観的健康観別 現在治療中の病気（上位5項目）】

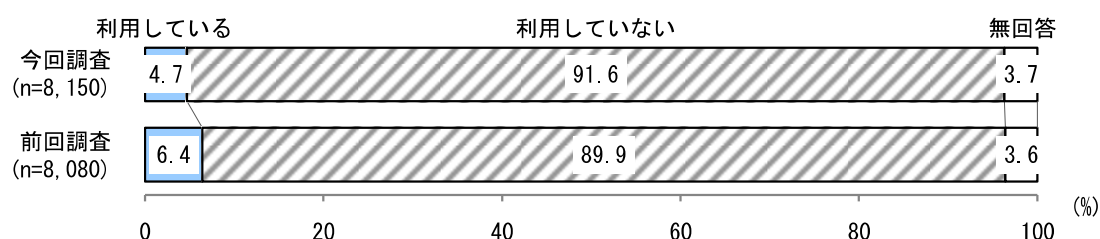
（単位：MA%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
とてもよい (n=890)	高血圧 28.9	高脂血症（脂質異常） 12.1	目の病気 11.8	糖尿病 6.3	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等） 5.1
まあよい (n=5,240)	高血圧 39.7	目の病気 15.3	高脂血症（脂質異常） 14.5	糖尿病 13.3	心臓病／筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等） 10.7
あまりよくない (n=1,478)	高血圧 45.2	目の病気 25.4	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等） 22.8	糖尿病 21.5	心臓病 19.6
よくない (n=340)	高血圧 38.4	目の病気 24.6	がん（悪性新生物） 22.6	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等） 21.8	糖尿病 18.9

(3) 訪問診療の利用有無

問9 Q3 あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。〈〇は1つ〉

【図12-3 訪問診療の利用有無】

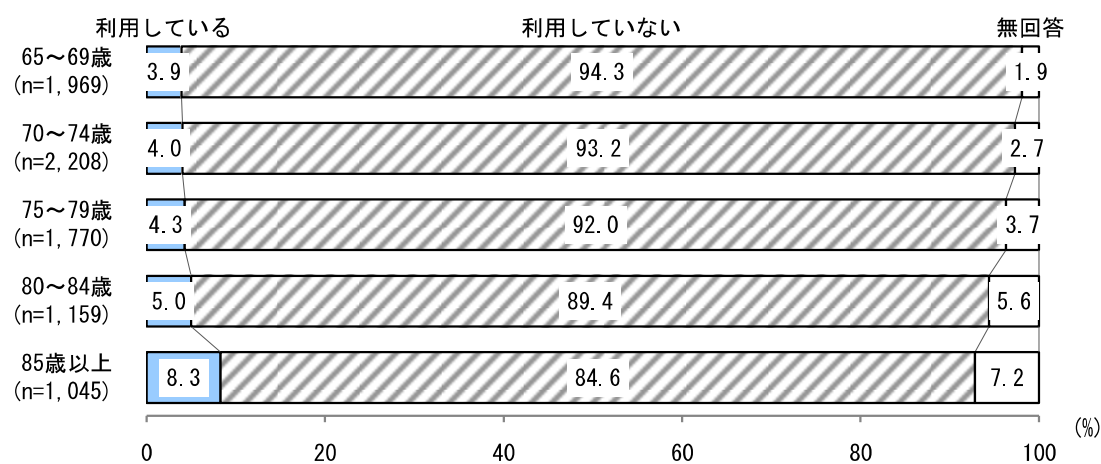


訪問診療の利用有無については、「利用している」が4.7%、「利用していない」が91.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図12-3)

年齢別でみると、「利用している」は85歳以上が8.3%で最も高く、高齢になるほど割合が高くなっています。(図12-3-1)

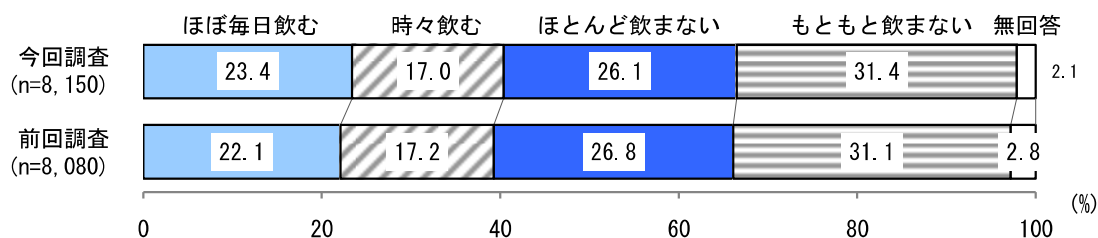
【図12-3-1 年齢別 訪問診療の利用有無】



(4) 飲酒習慣

問9 Q4 あなたはお酒を飲みますか。〈○は1つ〉

【図12-4 飲酒習慣】

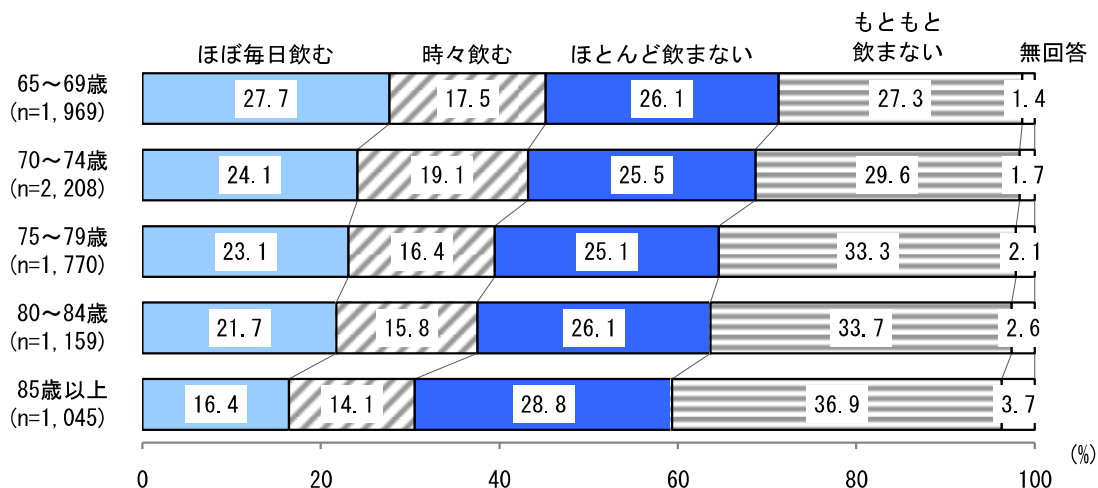


飲酒習慣については、「もともと飲まない」が31.4%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が26.1%、「ほぼ毎日飲む」が23.4%となっており、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」をあわせた『飲む』は40.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図12-4)

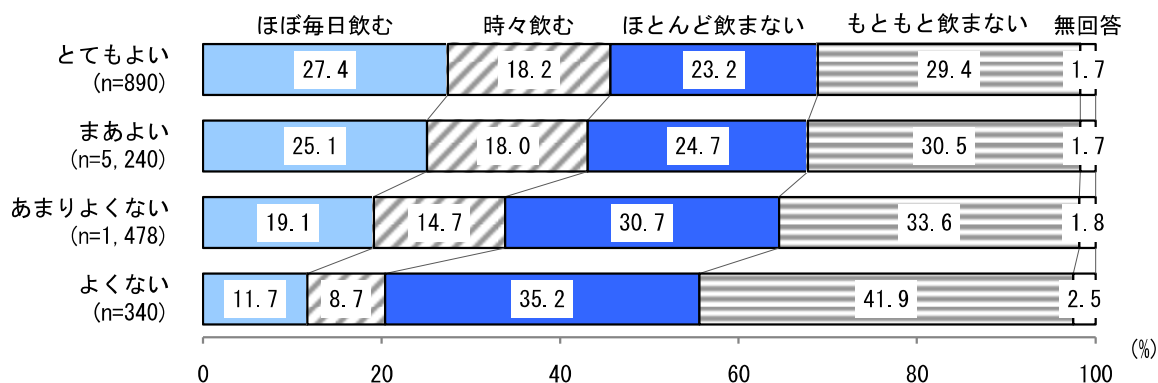
年齢別でみると、『飲む』は65～69歳が45.2%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。(図12-4-1)

【図12-4-1 年齢別 飲酒習慣】



主観的健康観別でみると、『飲む』は“とてもよい”が45.6%で最も高く、健康状態がよい人ほど割合が高くなっています。(図12-4-2)

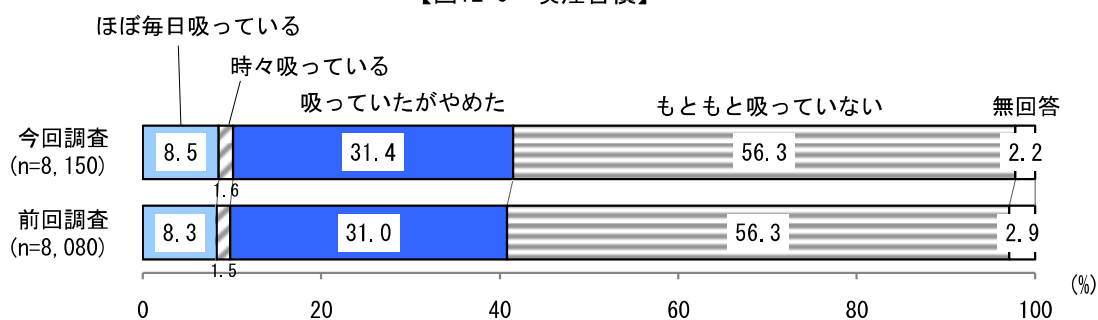
【図12-4-2 主観的健康観別 飲酒習慣】



(5) 喫煙習慣

問9 Q5 あなたはタバコを吸っていますか。〈〇は1つ〉

【図12-5 喫煙習慣】

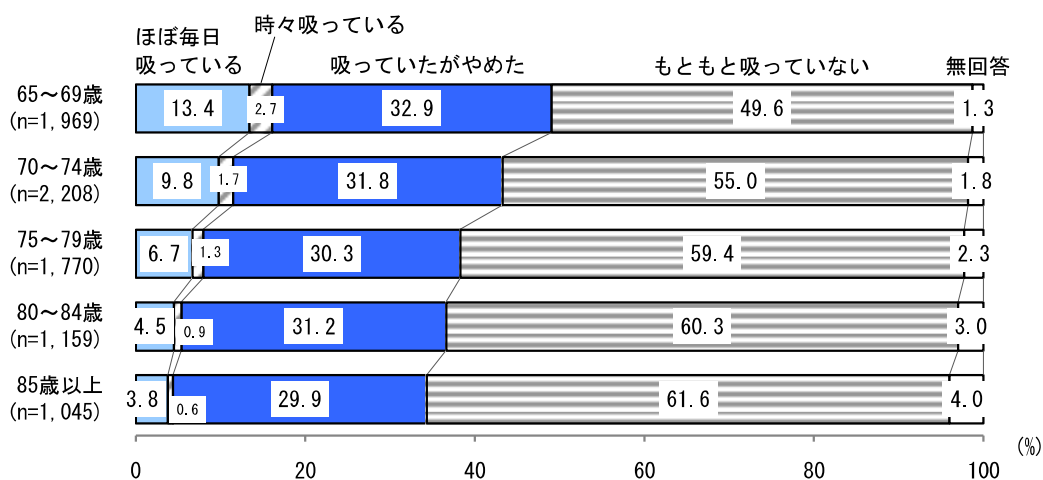


喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が56.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.4%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%となっており、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」をあわせた『吸っている』は10.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図12-5)

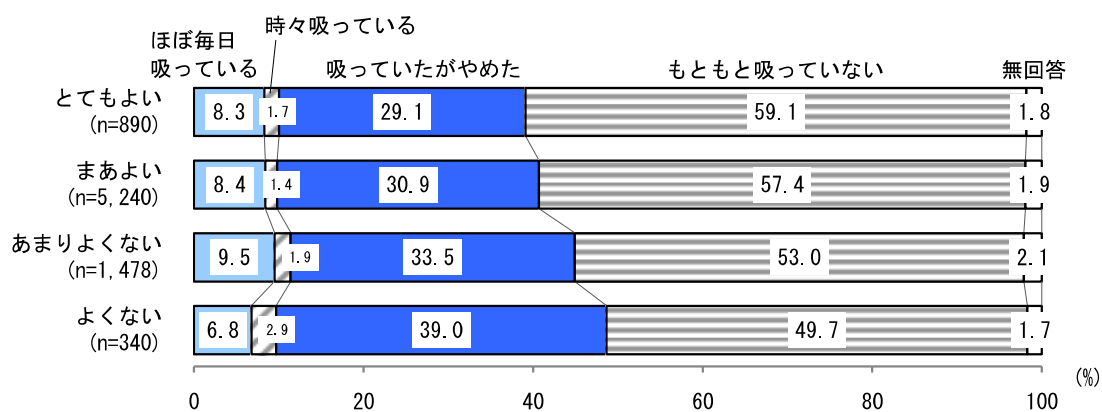
年齢別でみると、『吸っている』は65～69歳が16.1%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。(図12-5-1)

【図12-5-1 年齢別 喫煙習慣】



主観的健康観別でみると、『吸っている』は“あまりよくない”が11.4%で最も高くなっています。(図12-5-2)

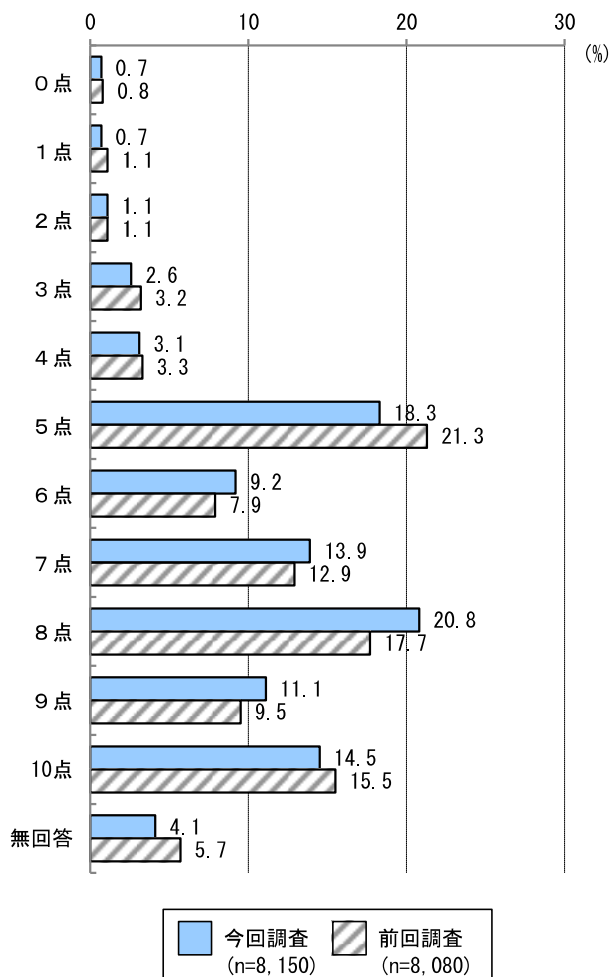
【図12-5-2 主観的健康観別 喫煙習慣】



(6) 幸福度

問9 Q6 あなたは現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点,「とても幸せ」を10点として,ご記入ください。) <〇は1つ>

【図12-6 幸福度】



幸福度については、「8点」が20.8%で最も多く、次いで「5点」が18.3%、「10点」が14.5%で、5点以上が87.8%となっています。また、平均点は7.1点となっています。

前回調査と比較すると、5点以上は3.0ポイント高くなっています。(図12-6)

年齢別に平均点をみると、85歳以上が7.4点で最も高く、次いで80～84歳が7.2点となっています。(表12-6-1)

主観的健康観別でみると、“とてもよい”が8.4点で最も高く、健康状態がよい人ほど点数が高くなっています。(表12-6-2)

【表12-6-1 年齢別 幸福度 (平均点)】

	平均 (点)
全体	7.1
65～69歳	7.0
70～74歳	6.9
75～79歳	7.1
80～84歳	7.2
85歳以上	7.4

【表12-6-2 主観的健康観別 幸福度 (平均点)】

	平均 (点)
全体	7.1
とてもよい	8.4
まあよい	7.3
あまりよくない	6.0
よくない	5.2

## (7) うつリスク

### ① 設問と評価

基本チェックリストでは、今回の調査票に含まれる以下の設問2問中1問以上に該当した場合にうつの「リスクあり」に該当します。

表 うつに関する設問（基本チェックリスト）

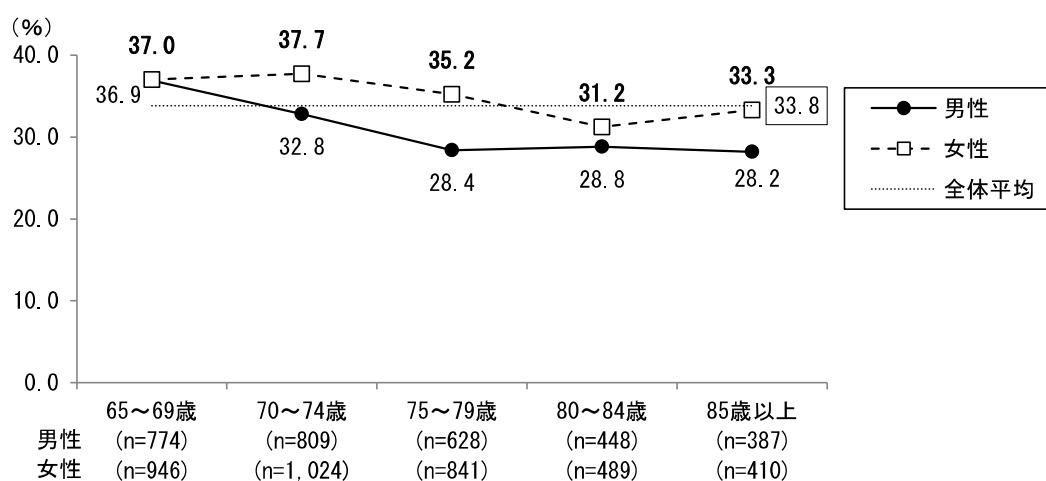
問番号	設問	該当する選択肢
問9Q7(1)	この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
問9Q7(2)	この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

### ② 評価結果

評価結果をみると、要介護認定を受けていない回答者6,767人のうち、うつの「リスクあり」に該当する人の割合は全体平均で33.8%となっています。

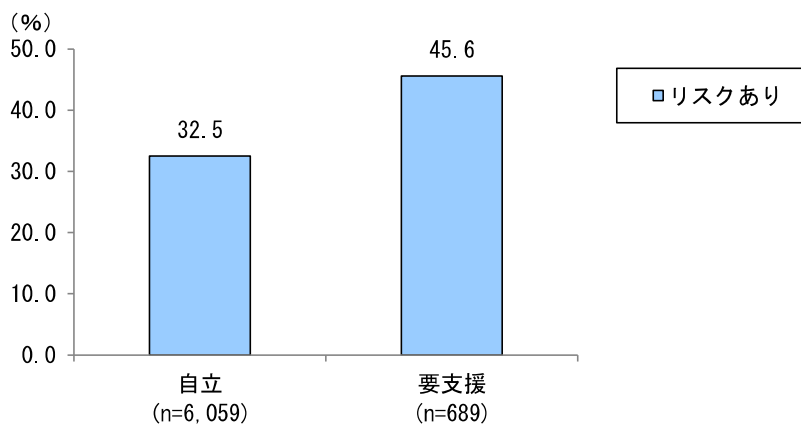
性・年齢別で見ると、「リスクあり」に該当する割合はいずれの年代も男性より女性のほうが高くなっています。男女とも年齢が上がるにつれ割合の低下傾向がみられ、多少の増減はあるものの、他のリスクに比べて加齢に伴うリスクへ影響は少ないことがうかがえます。(図12-7-1)

【図12-7-1 性・年齢別 うつリスク】



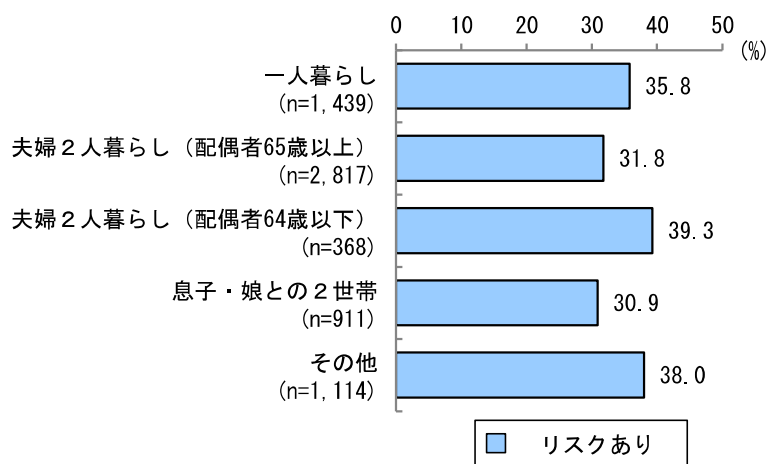
自立・要支援別でみると、「リスクあり」は自立が32.5%に対し、要支援者が45.6%と高くなっています。(図12-7-2)

【図12-7-2 自立・要支援別 うつリスク】



家族構成別でみると、「リスクあり」は“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”が39.3%で最も高く、次いで“その他”の世帯が38.0%，“一人暮らし”が35.8%となっています。(図12-7-3)

【図12-7-3 家族構成別 うつリスク】



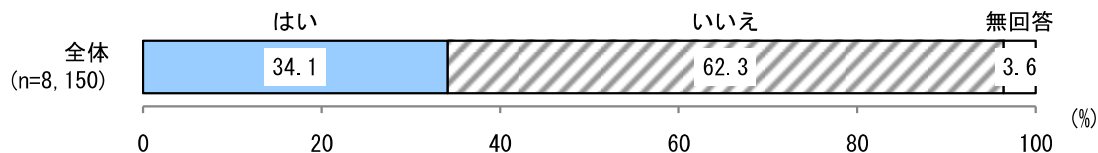


③ うつリスク判定に関する項目の回答状況

(ア) ゆううつ感

問9 Q7 あなたの心身の状況についておうかがいします。<(1)から(2)までそれぞれ○は1つずつ>  
(1) この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

【図12-8 ゆううつ感】

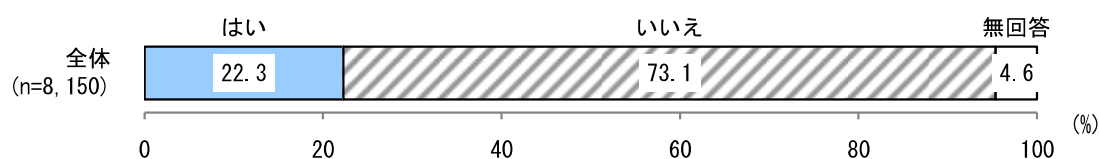


この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあったかについては、「はい」が34.1%、「いいえ」が62.3%となっています。(図12-8)

(イ) 無関心・虚無感

(2) この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

【図12-9 無関心・虚無感】



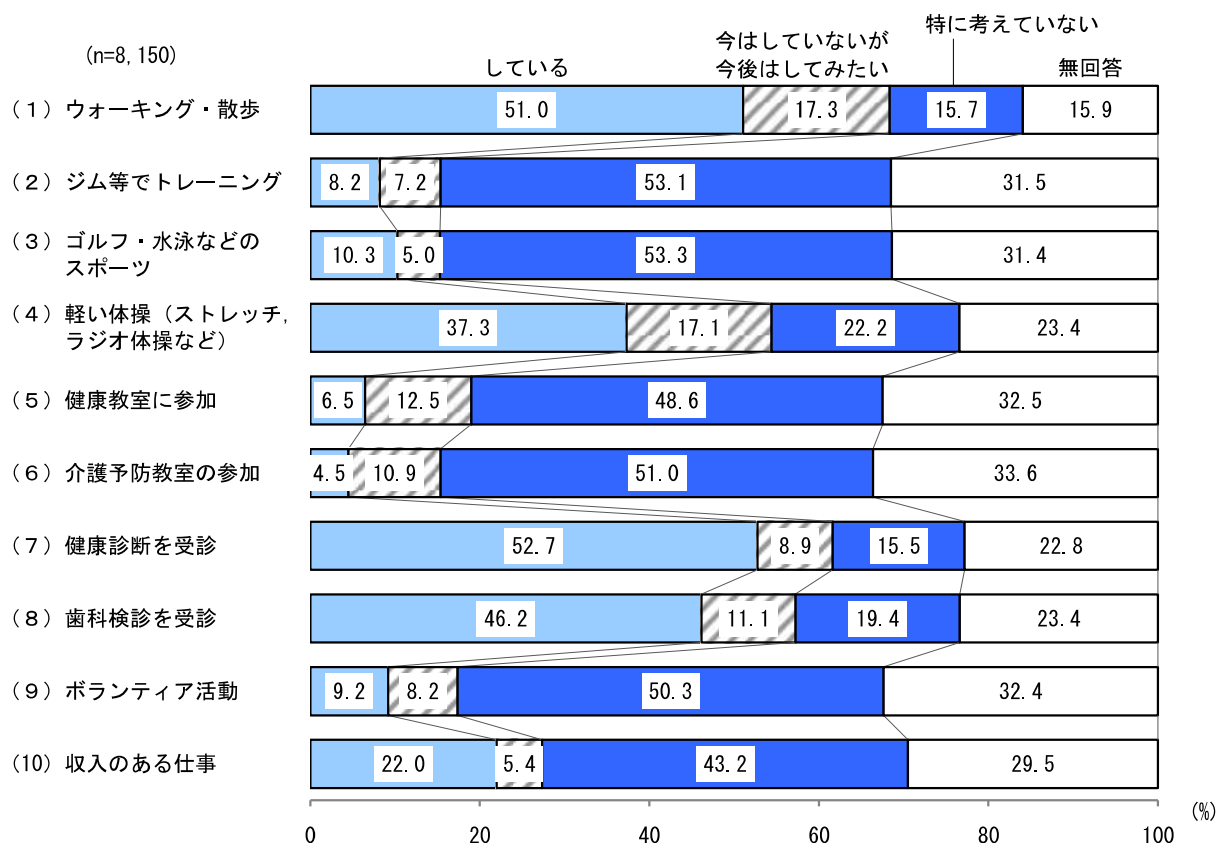
この1箇月間、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が22.3%、「いいえ」が73.1%となっています。(図12-9)

### 13 健康づくりや介護予防, 見守りについて

#### (1) 健康づくりや介護予防で取り組んでいること

問10Q1 あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことをしていますか。  
 <(1)から(10)までそれぞれ○は1つつ>

【図13-1 健康づくりや介護予防で取り組んでいること】



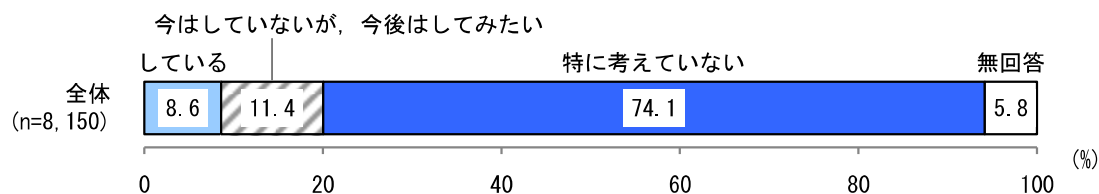
健康づくりや介護予防で取り組んでいることについては、「している」は“(7) 健康診断を受診”が52.7%で最も高く、次いで“(1) ウォーキング・散歩”が51.0%、“(8) 歯科検診を受診”が46.2%となっています。

「今はしていないが今後はしてみたい」は、“(1) ウォーキング・散歩”が17.3%で最も高く、次いで“(4) 軽い体操 (ストレッチ, ラジオ体操など)”が17.1%、“(5) 健康教室に参加”が12.5%となっています。(図13-1)

## (2) 地域の高齢者の見守り活動への参加有無

問10Q2 あなたは、地域の高齢者の見守り（安否確認や話し相手等）をしていますか。  
<〇は1つ>

【図13-2 地域の高齢者の見守り活動への参加有無】

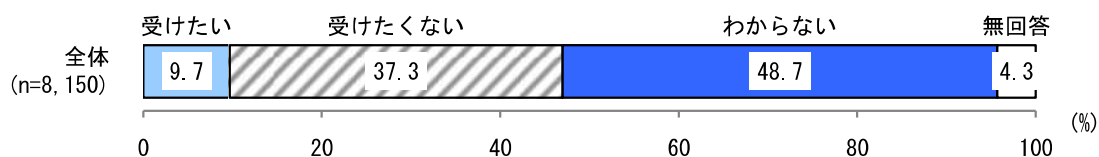


地域の高齢者の見守りをしているかについては、「特に考えていない」が74.1%で最も多く、次いで「今はしていないが、今後はしてみたい」が11.4%、「している」が8.6%となっています。（図13-2）

## (3) 地域の人からの見守り希望

問10Q3 地域の方（民生・児童委員や御近所の方）から見守りを受けたいと思いますか。  
<〇は1つ>

【図13-3 地域の人からの見守り希望】

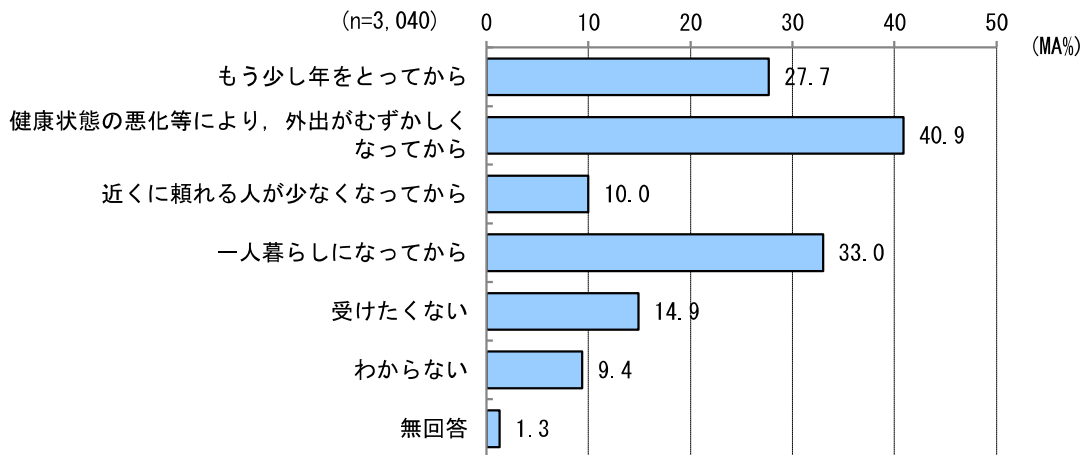


地域の人から見守りを受けたいかについては、「わからない」が48.7%で最も多く、次いで「受けたくない」が37.3%、「受けたい」が9.7%となっています。（図13-3）

(4) 地域の人から見守りを受けたいと思う状況

問10Q3-1 Q3「2. 受けたくない」と回答した方にお聞きします。今後、どのような状況になったら、地域の方の見守りを受けたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【図13-4 地域の人から見守りを受けたいと思う状況】



地域の人からの見守りを受けたくないと回答した人に、今後どのような状況になれば見守りを受けたいかについてたずねたところ、「健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなってから」が40.9%で最も多く、次いで「一人暮らしになってから」が33.0%、「もう少し年をとってから」が27.7%となっています。(図13-4)

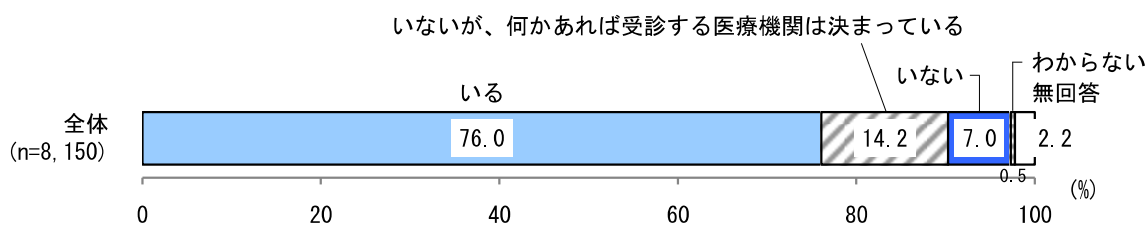
## 14 在宅医療について

### (1) かかりつけ医等の有無

#### ① かかりつけ医の有無

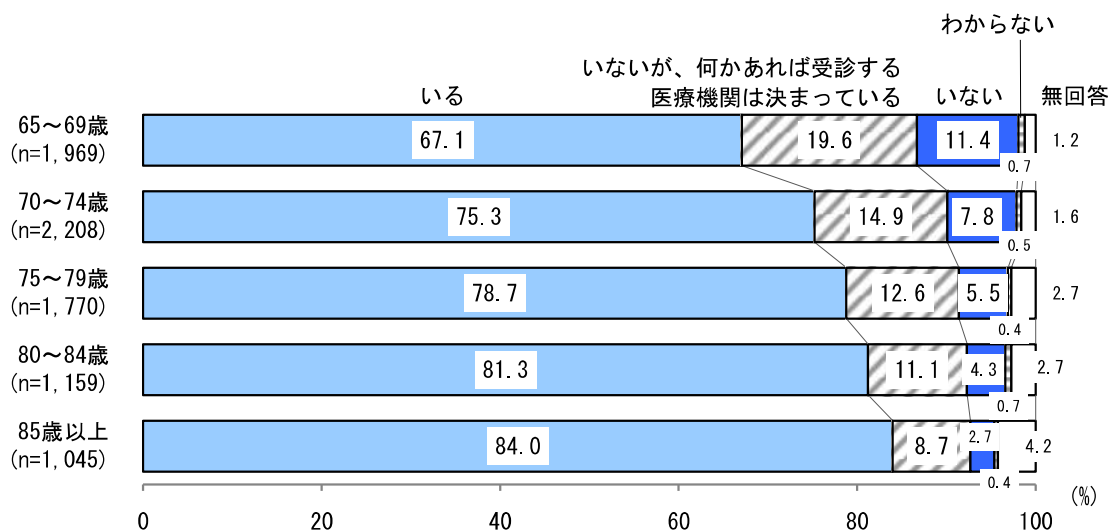
問11Q1 あなたには、気軽に相談でき、普段から診療を受ける、決まった「1.かかりつけ医」「2.かかりつけ歯科医」、「3.かかりつけ薬剤師（薬局）」がいますか。  
 <(1)から(3)までそれぞれ〇は1つずつ>  
 (1) かかりつけ医がいる

【図14-1 かかりつけ医の有無】



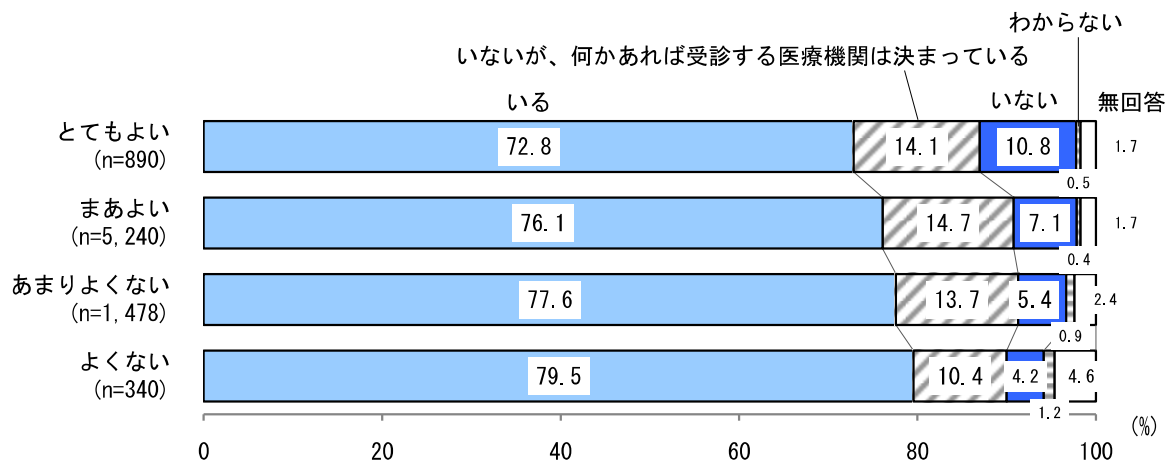
かかりつけ医の有無については、「いる」が76.0%で最も多く、次いで「いないが、何かあれば受診する医療機関は決まっている」が14.2%、「いない」が7.0%となっています。(図14-1) 年齢別でみると、「いる」は85歳以上が84.0%で最も高く、高齢になるほど割合が高くなっています。(図14-1-1)

【図14-1-1 年齢別 かかりつけ医の有無】



主観的健康観別でみると、「いる」は“よくない”が79.5%で最も高く、健康状態がよくない人ほど高い割合となっています。(図14-1-2)

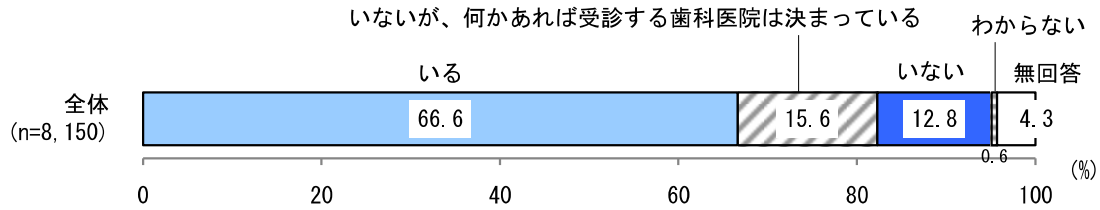
【図14-1-2 主観的健康観別 かかりつけ医の有無】



② かかりつけ歯科医の有無

(2) かかりつけ歯科医がいる

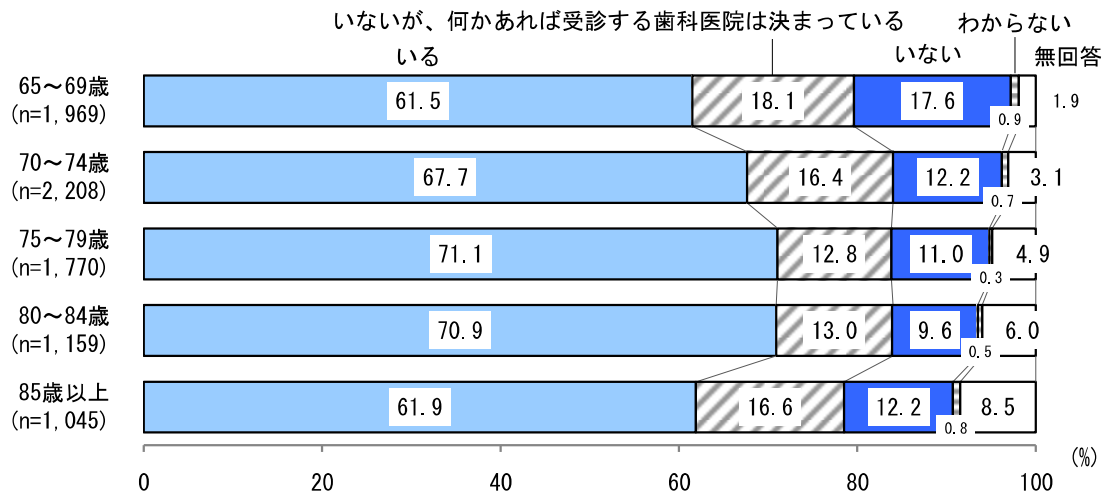
【図14-2 かかりつけ歯科医の有無】



かかりつけ歯科医の有無については、「いる」が66.6%で最も多く、次いで「いないが、何かあれば受診する歯科医院は決まっている」が15.6%、「いない」が12.8%となっています。(図14-2)

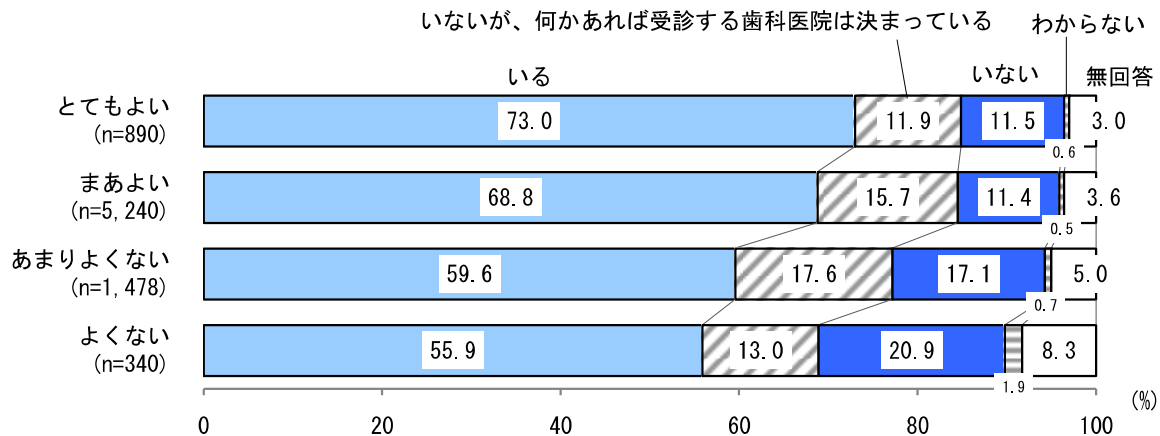
年齢別でみると、「いる」は75～79歳が71.1%で最も高く、次いで80～84歳が70.9%となっています。(図14-2-1)

【図14-2-1 年齢別 かかりつけ歯科医の有無】



主観的健康観別でみると、「いる」は“とてもよい”が73.0%で最も高く、健康状態がよい人ほど高い割合となっています。(図14-2-2)

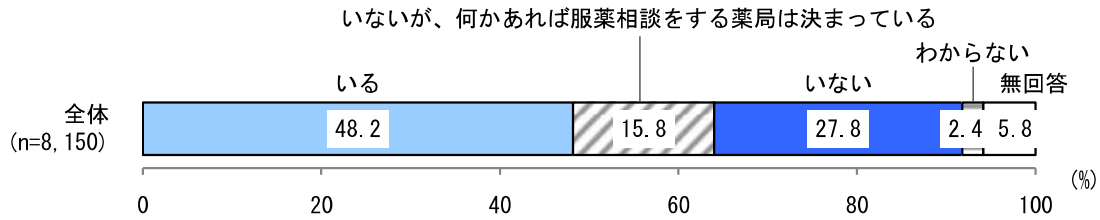
【図14-2-2 主観的健康観別 かかりつけ歯科医の有無】



③ かかりつけ薬剤師（薬局）の有無

(3) かかりつけ薬剤師（薬局）がいる

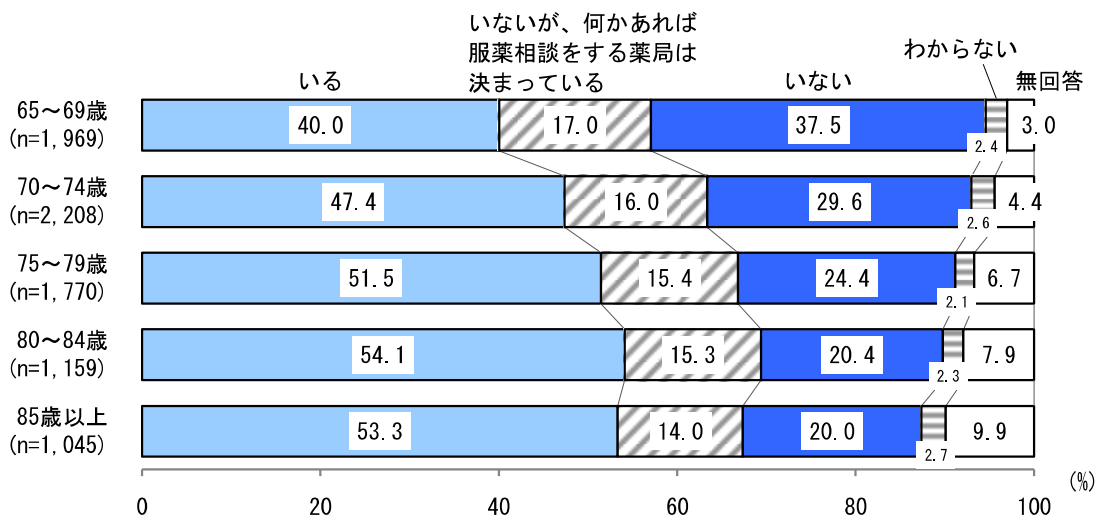
【図14-3 かかりつけ薬剤師（薬局）の有無】



かかりつけ薬剤師（薬局）の有無については、「いる」が48.2%で最も多く、次いで「いない」が27.8%、「いないが、何かあれば服薬相談をする薬局は決まっている」が15.8%となっています。（図14-3）

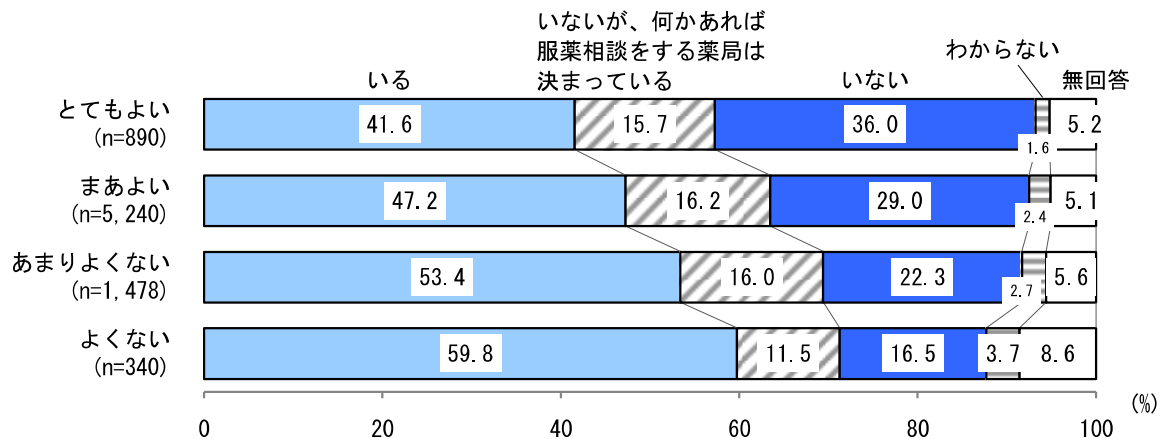
年齢別でみると、「いる」は80～84歳が54.1%で最も高く、次いで85歳以上が53.3%となっています。（図14-3-1）

【図14-3-1 年齢別 かかりつけ薬剤師（薬局）の有無】



主観的健康観別でみると、「いる」は“よくない”が59.8%で最も高く、健康状態がよくない人ほど高い割合となっています。（図14-3-2）

【図14-3-2 主観的健康観別 かかりつけ薬剤師（薬局）の有無】

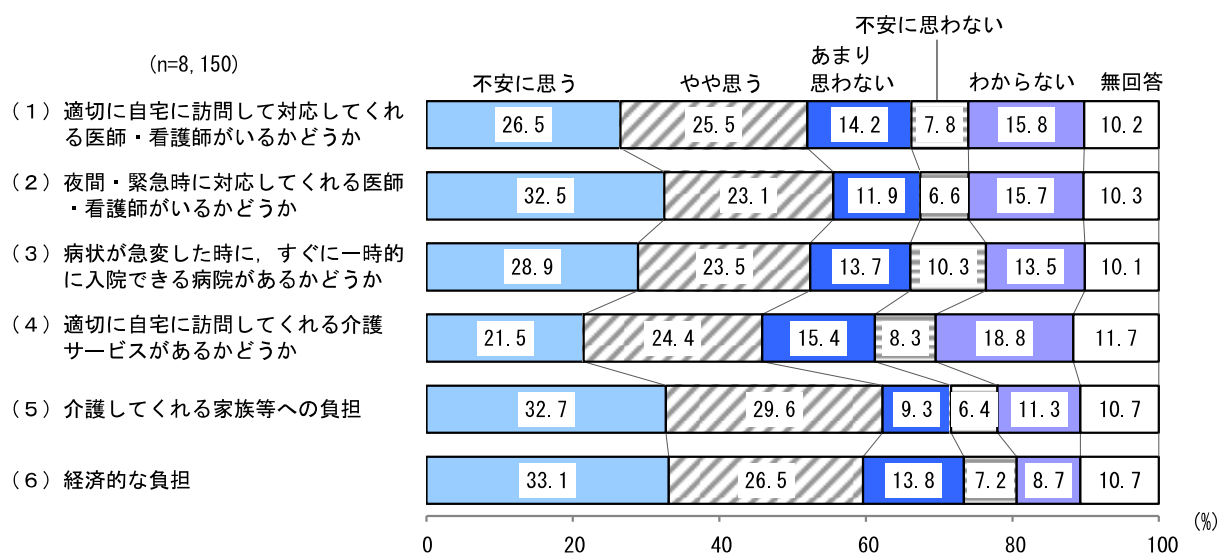




(2) 自宅での療養を検討する際に不安なこと

問11Q2 もし、あなたが病気や老い等の理由で、自宅での療養を検討するとした場合、不安に思うことは何ですか。＜(1)から(6)までそれぞれ〇は1つずつ＞

【図14-4 自宅での療養を検討する際に不安なこと】



自宅での療養を検討する際に不安に思うことについてたずねました。

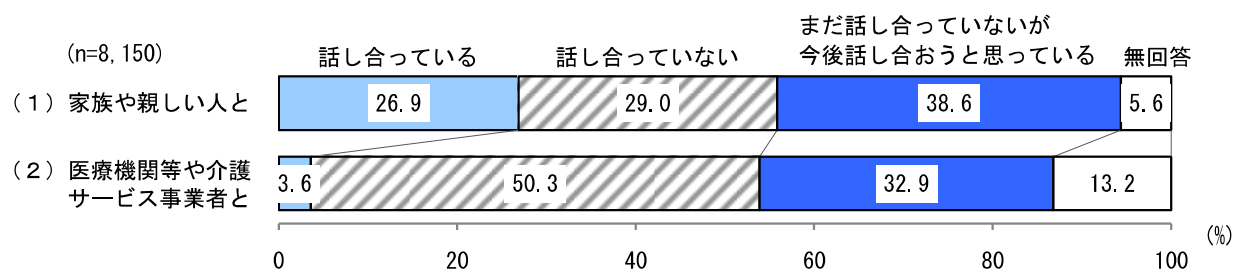
“(4) 適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか”を除く項目では「不安に思う」が最も多く、「不安に思う」と「やや思う」をあわせた『不安に思う』が過半数を占めており、なかでも“(5) 介護してくれる家族等への負担”が62.3%で最も高くなっています。(図14-4)

## 15 人生の終い支度について

### (1) ターミナルケアについての話し合いの有無

問12Q1 もし、あなたが万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護が受けたいかを周囲の人と話し合っていますか。  
 <(1)から(2)までそれぞれ〇は1つずつ>

【図15-1 ターミナルケアについての話し合いの有無】



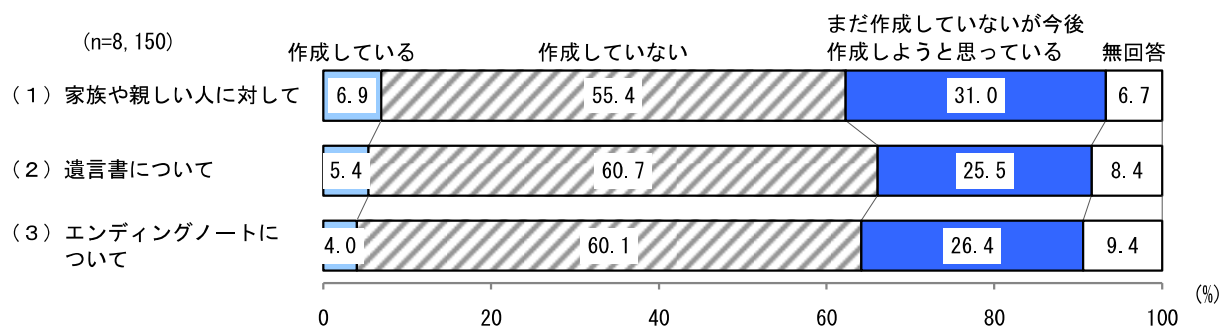
万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護が受けたいかを話し合っているかについては、“(1) 家族や親しい人と”は、「まだ話し合っていないが今後話し合おうと思っている」が38.6%で最も多く、次いで「話し合っていない」が29.0%、「話し合っている」が26.9%となっています。

“(2) 医療機関等や介護サービス事業者と”は、「話し合っていない」が50.3%で最も多く、次いで「まだ話し合っていないが今後話し合おうと思っている」が32.9%、「話し合っている」が3.6%となっています。(図15-1)

(2) 遺言書やエンディングノートの作成の有無

問12Q2 あなたが亡くなった後の財産の相続や葬儀等をどうしてほしいかを記した文書を作成していますか。〈(1)から(3)までそれぞれ〇は1つずつ〉

【図15-2 遺言書やエンディングノートの作成の有無】



自分が亡くなった後の財産の相続や葬儀等をどうしてほしいかを記した文書を作成しているかについては、“(1) 家族や親しい人に対して”は、「作成していない」が55.4%で最も多く、次いで「まだ作成していないが今後作成しようと思っている」が31.0%、「作成している」が6.9%となっています。

“(2) 遺言書について”は、「作成していない」が60.7%で最も多く、次いで「まだ作成していないが今後作成しようと思っている」が25.5%、「作成している」が5.4%となっています。

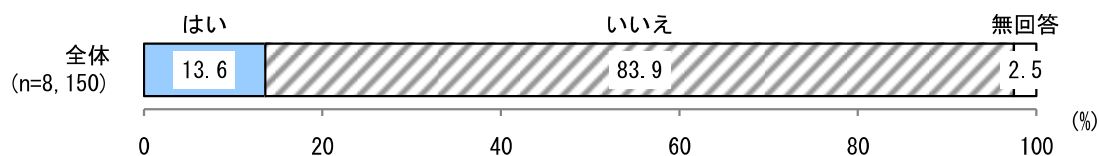
“(3) エンディングノートについて”は、「作成していない」が60.1%で最も多く、次いで「まだ作成していないが今後作成しようと思っている」が26.4%、「作成している」が4.0%となっています。(図15-2)

## 16 認知症について

### (1) 自身または家族の認知症の症状の有無

問13Q1 あなたは認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。〈〇は1つ〉

【図16-1 自身または家族の認知症の症状の有無】

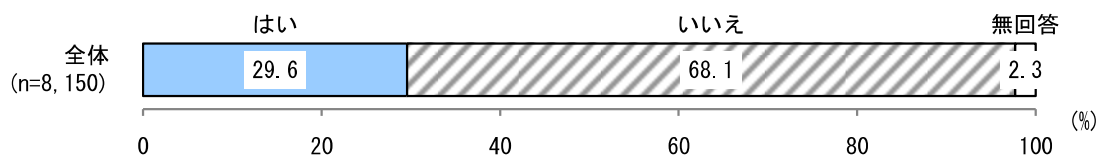


自身または家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が13.6%、「いいえ」が83.9%となっています。(図16-1)

### (2) 認知症について症状や対応等を学んだ経験

問13Q2 あなたは認知症の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。〈〇は1つ〉

【図16-2 認知症について症状や対応等を学んだ経験】

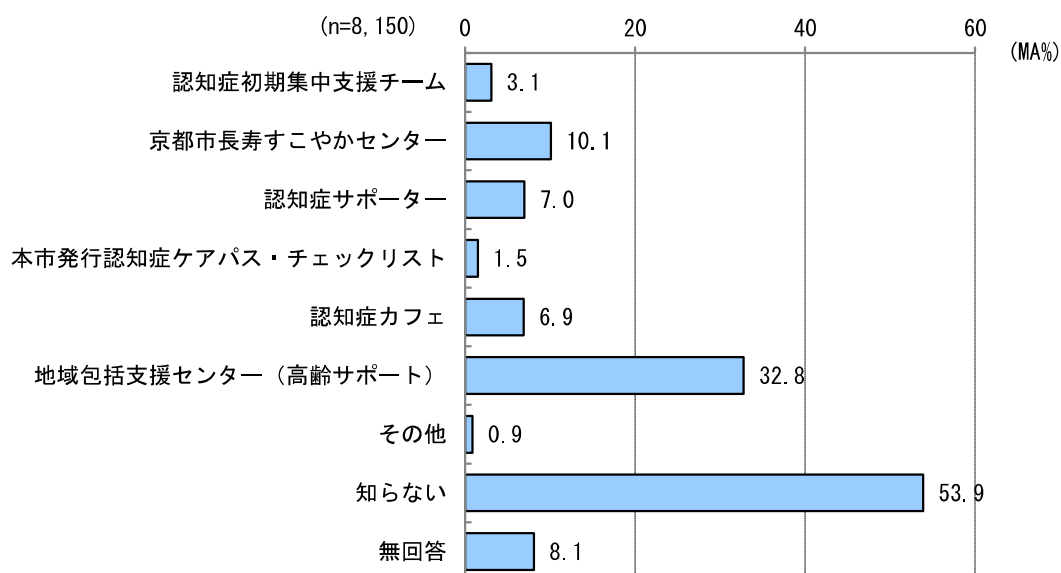


認知症について症状や対応等を学んだことがあるかについては、「はい」が29.6%、「いいえ」が68.1%となっています。(図16-2)

(3) 認知症の人を支援する機関や取組で知っているもの

問13Q3 あなたは認知症の方を支援する機関や取組について知っていますか。  
<あてはまるものすべてに○>

【図16-3 認知症の人を支援する機関や取組で知っているもの】

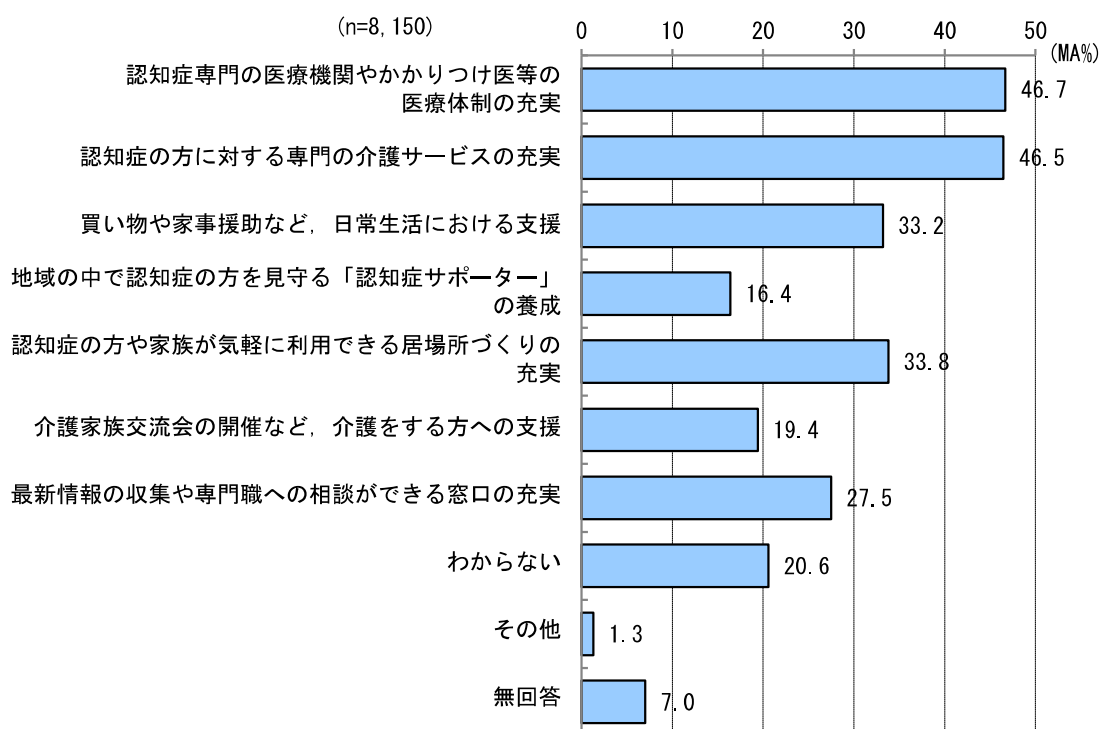


認知症の人を支援する機関や取組で知っているものについては、「知らない」が53.9%で最も多いですが、知っているものでは「地域包括支援センター（高齢サポート）」が32.8%で最も多く、次いで「京都市長寿すこやかセンター」が10.1%、「認知症サポーター」が7.0%、「認知症カフェ」が6.9%となっています。（図16-3）

(4) 認知症になった場合にあればよいと思う支援

問13Q4 あなたが認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。  
〈あてはまるものすべてに○〉

【図16-4 認知症になった場合にあればよいと思う支援】



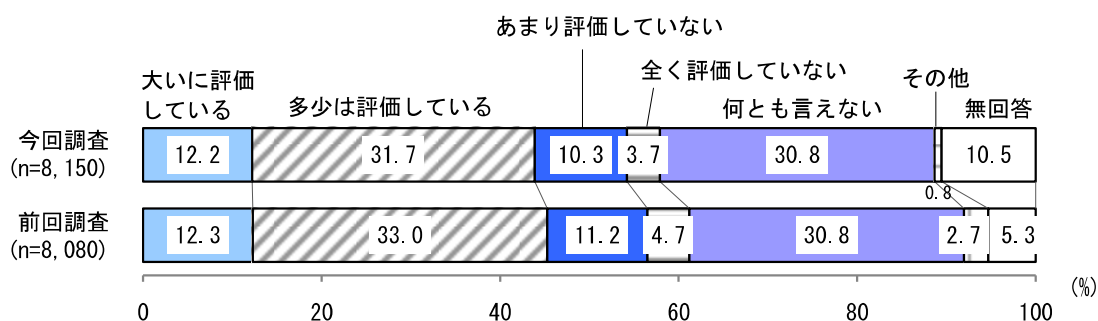
自身が認知症になった場合にあればよいと思う支援については、「認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実」が46.7%で最も多く、次いで「認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が46.5%、「認知症の方や家族が気軽に利用できる居場所づくりの充実」が33.8%となっています。(図16-4)

## 17 介護保険制度等について

### (1) 介護保険制度への評価

問14Q1 あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。  
<○は1つ>

【図17-1 介護保険制度への評価】

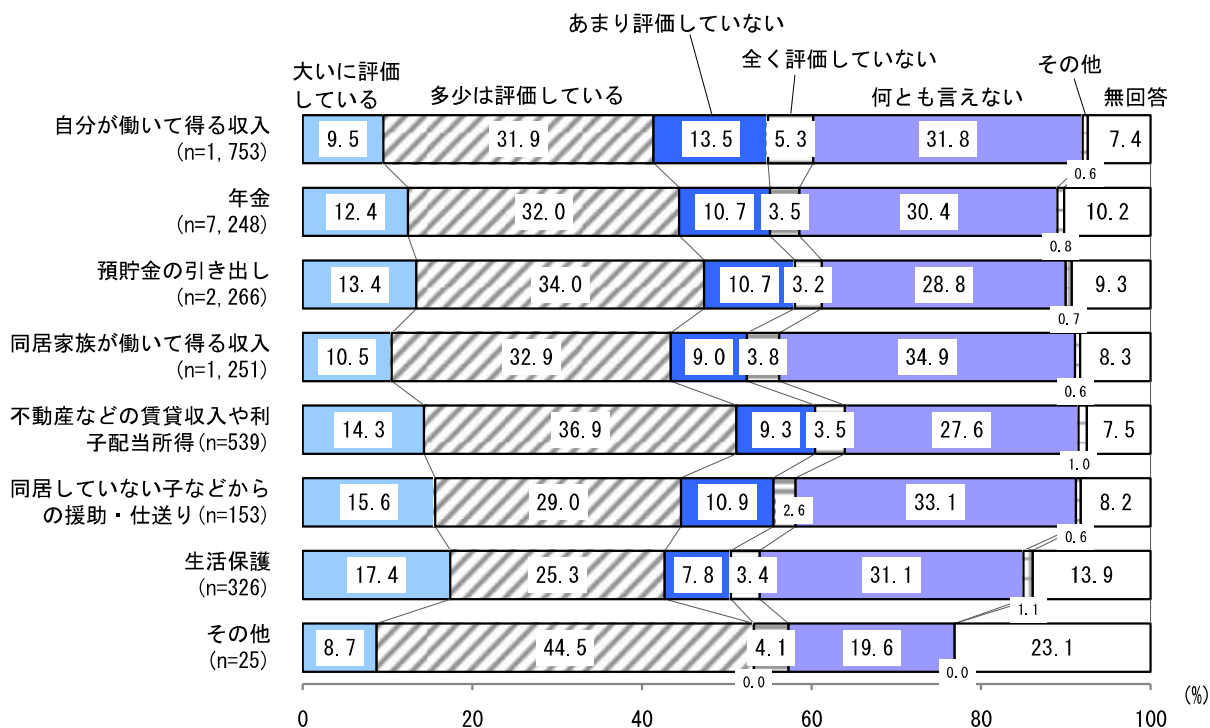


介護保険制度への評価については、「多少は評価している」が31.7%で最も多く、次いで「何とも言えない」が30.8%、「大いに評価している」が12.2%で、「大いに評価している」と「多少は評価している」をあわせた『評価している』は43.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図17-1)

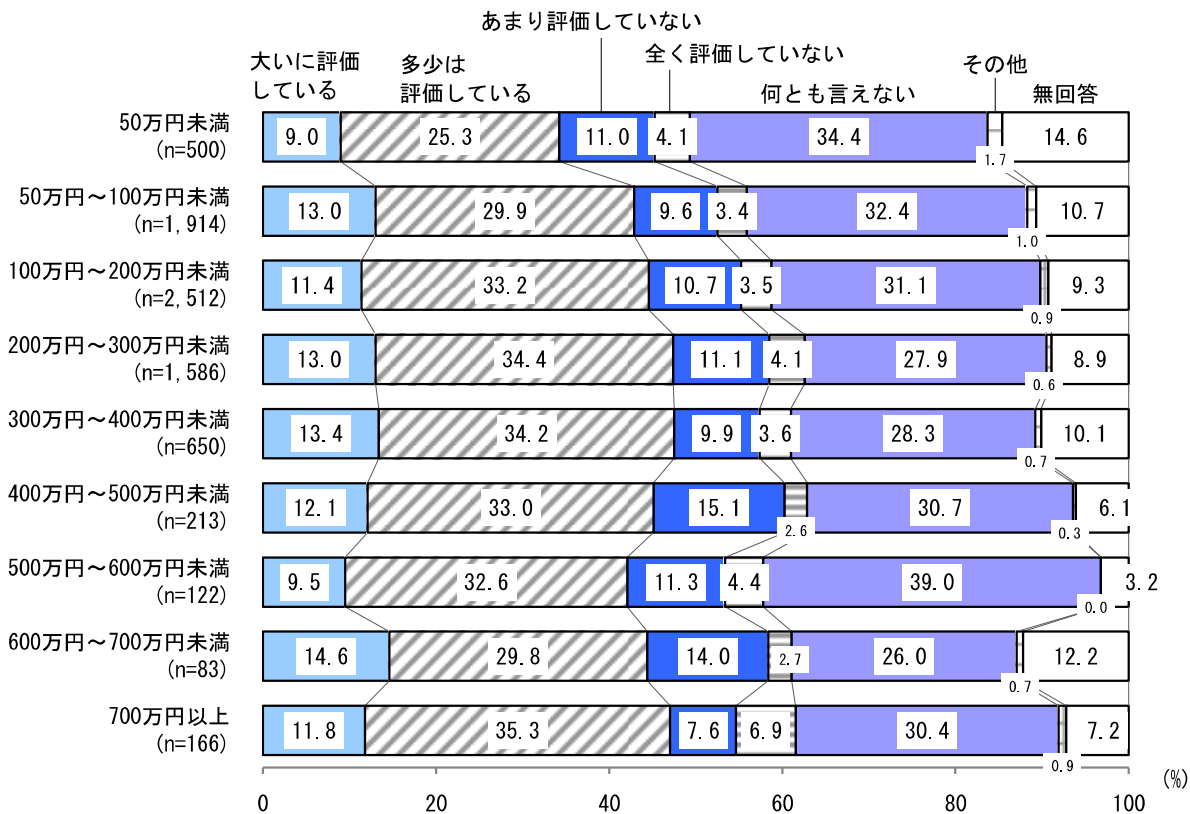
生活費の収入源別でみると、『評価している』は“不動産などの賃貸収入や利子配当所得”が51.2%で最も高く、次いで“預貯金の引き出し”が47.4%となっています。(図17-1-1)

【図17-1-1 生活費の収入源別 介護保険制度への評価】



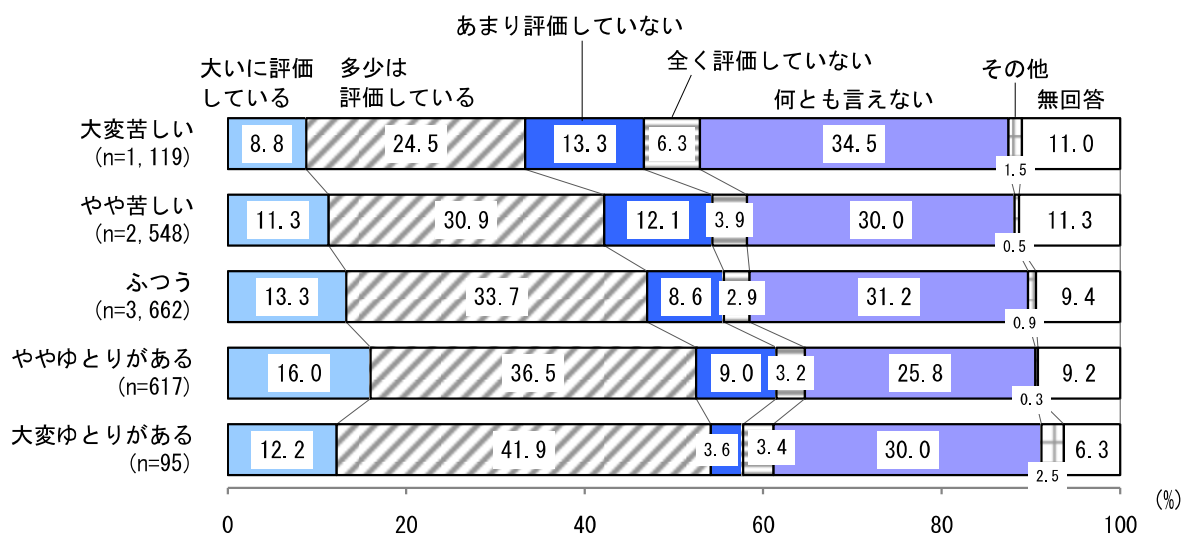
個人の年間総収入別でみると、『評価している』は“300万円～400万円未満”が47.6%で最も高く、次いで“200万円～300万円未満”が47.4%となっています。(図17-1-2)

【図17-1-2 個人の年間総収入別 介護保険制度への評価】



経済状況別でみると、『評価している』は“大変ゆとりがある”が54.1%で最も高く、ゆとりがある人ほど割合が高くなっています。(図17-1-3)

【図17-1-3 経済状況別 介護保険制度への評価】

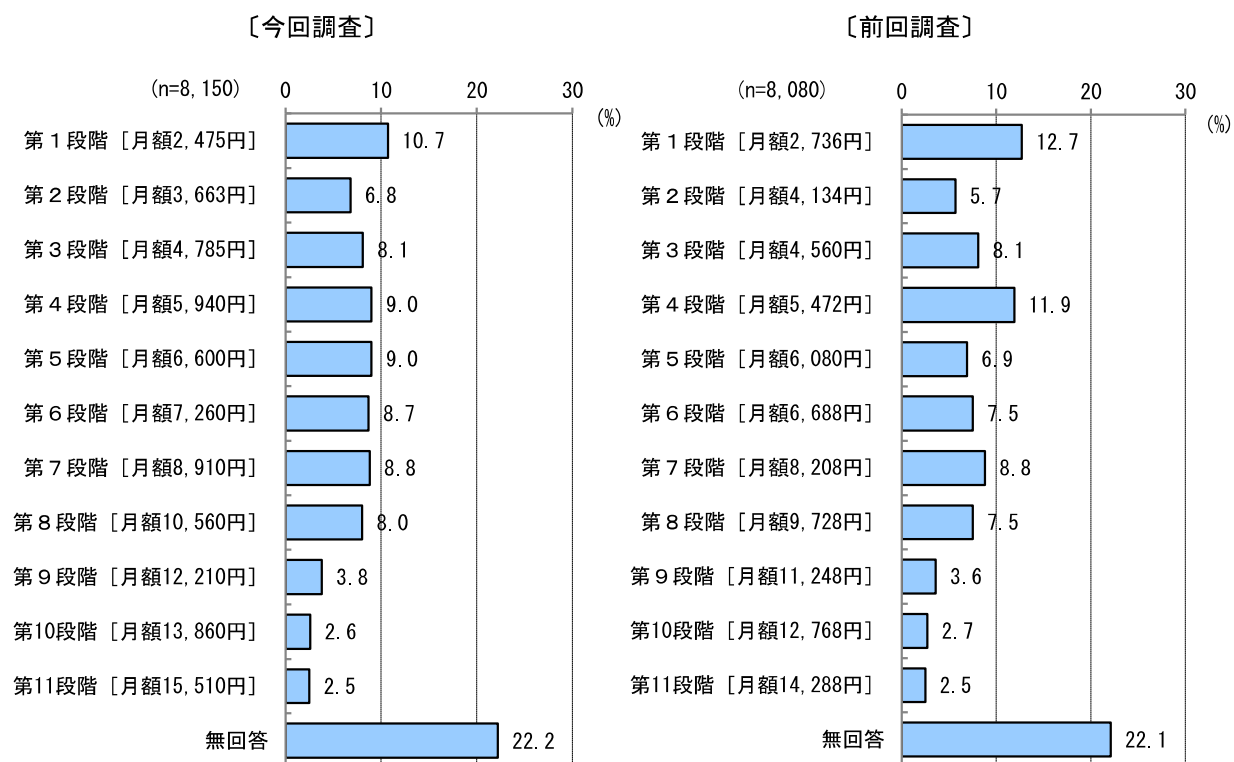




(2) 介護保険料の段階区分

問14Q2 あなたの介護保険料の「段階区分」は次のどれですか。〈○は1つ〉

【図17-2 介護保険料の段階区分】



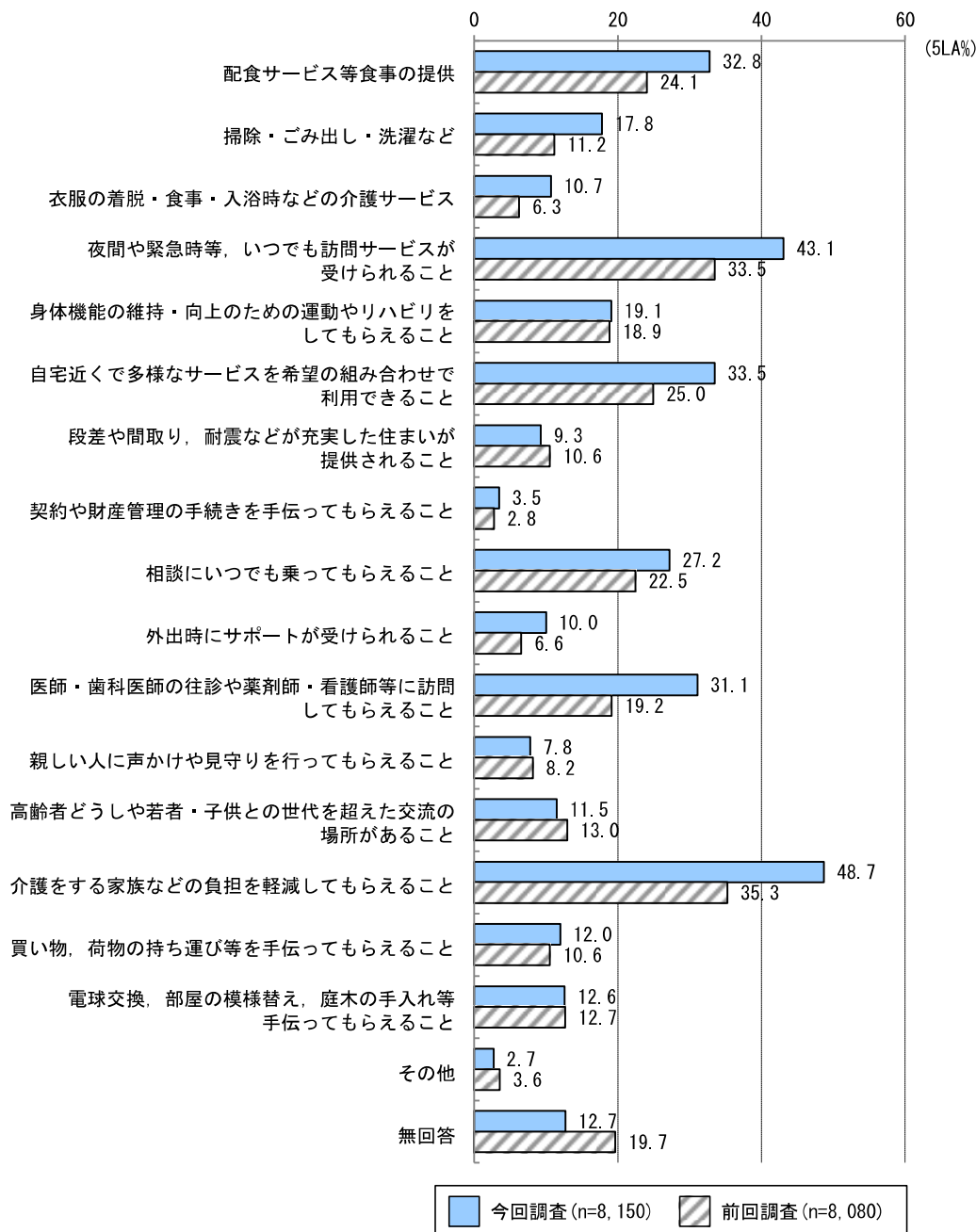
介護保険料の段階区分については、「第1段階 [月額2,475円]」が10.7%で最も多く、次いで「第4段階 [月額5,940円]」、「第5段階 [月額6,600円]」がそれぞれ9.0%、「第7段階 [月額8,910円]」が8.8%となっています。

前回調査と比較すると、「第4段階」は2.9ポイント低くなっていますが、「第5段階」は2.1ポイント高くなっています。(図17-2)

(3) 住み慣れた地域で生活をするために充実すべき支援

問14Q3 あなたは、今後も住み慣れた地域で生活をするには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。〈〇は5つまで。うち最もそう感じるものに◎〉

【図17-3 住み慣れた地域で生活をするために充実すべき支援】



住み慣れた地域で生活をするために充実すべき支援については、「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が48.7%で最も多く、次いで「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が43.1%、「自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること」が33.5%となっています。

前回調査と比較すると、「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」は13.4ポイント、「医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること」は11.9ポイントそれぞれ高くなっています。(図17-3)

年齢別でみると、84歳までの年代では「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が最も多く、65～69歳（52.7%）で最も高い割合となっています。85歳以上では「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」（42.2%）が最も多くなっています。（表17-3-1）

【表17-3-1 年齢別 住み慣れた地域で生活するために充実すべき支援（上位5項目）】

（単位：5LA%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
65～69歳 (n=1,969)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 52.7	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 44.2	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 36.7	相談にいつでも乗ってもらえること 32.7	配食サービス等食事の提供 32.3
70～74歳 (n=2,208)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 52.2	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 42.5	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 36.8	配食サービス等食事の提供 33.6	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 29.6
75～79歳 (n=1,770)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 45.8	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 43.8	配食サービス等食事の提供 34.3	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 34.2	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 30.7
80～84歳 (n=1,159)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 45.8	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 42.2	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 33.9	配食サービス等食事の提供 31.4	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 29.7
85歳以上 (n=1,045)	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 42.2	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 41.7	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 32.9	配食サービス等食事の提供 31.0	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 23.5

家族構成別でみると、“一人暮らし”は「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が43.6%で最も多く、次いで「配食サービス等食事の提供」が34.6%となっています。それ以外の世帯では、「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が最も多く、次いで「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が続いています。（表17-3-2）

【表17-3-2 家族構成別 住み慣れた地域で生活するために充実すべき支援（上位5項目）】

（単位：5LA%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一人暮らし (n=1,822)	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 43.6	配食サービス等食事の提供 34.6	相談にいつでも乗ってもらえること 28.4	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 28.3	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 27.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=3,266)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 54.9	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 44.7	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 36.7	配食サービス等食事の提供 35.8	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 34.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=459)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 51.9	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 44.8	配食サービス等食事の提供 34.8	相談にいつでも乗ってもらえること 31.6	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 29.4
息子・娘との2世帯 (n=1,100)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 58.3	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 40.5	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 35.7	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 32.4	配食サービス等食事の提供 27.1
その他 (n=1,335)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 53.3	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 41.6	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 33.4	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 30.4	配食サービス等食事の提供 28.6

- 高齢者調査の結果 -

要介護認定区分別でみると、要支援1、要介護1、要介護5は「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が最も多く、それ以外の要介護度では「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が最も多くなっています。(表17-3-3)

【表17-3-3 要介護認定区分別 住み慣れた地域で生活続けるために充実すべき支援（上位5項目）】

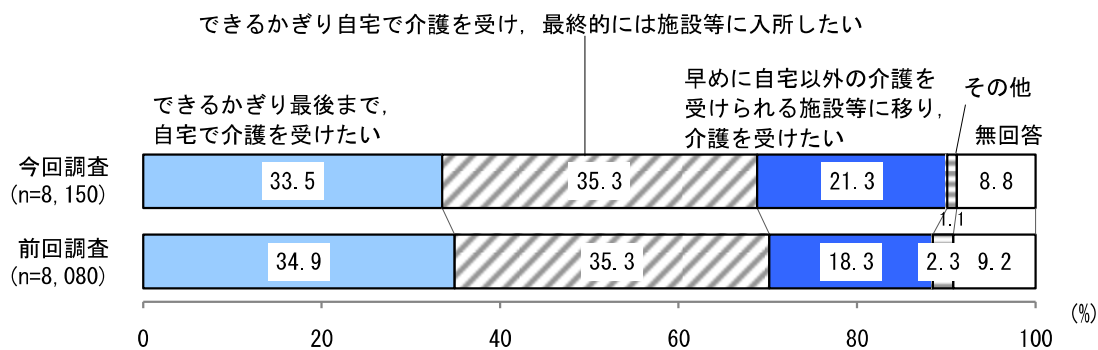
(単位：5LA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
要支援1 (n=357)	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 45.6	配食サービス等食事の提供 38.6	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 38.6	相談にいつでも乗ってもらえること 30.0	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 29.5
要支援2 (n=332)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 39.8	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 38.9	配食サービス等食事の提供 37.9	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 28.7	身体機能の維持・向上のための運動やリハビリをしてもらえること 26.1
要介護1 (n=216)	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 41.8	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 41.3	配食サービス等食事の提供 31.7	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 29.6	相談にいつでも乗ってもらえること 29.0
要介護2 (n=261)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 39.3	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 36.3	配食サービス等食事の提供 35.3	掃除・ごみ出し・洗濯など 28.8	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 27.1
要介護3 (n=113)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 50.7	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 36.1	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 33.9	配食サービス等食事の提供 28.6	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 28.4
要介護4 (n=92)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 54.3	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 39.9	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 33.3	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 26.9	配食サービス等食事の提供 25.7
要介護5 (n=52)	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 52.9	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 43.5	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 28.7	配食サービス等食事の提供 25.3	衣服の着脱・食事・入浴時などの介護サービス 25.1
事業対象者 (n=19)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 45.0	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 33.7	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 32.6	相談にいつでも乗ってもらえること 28.4	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 26.9
自立（認定なし） (n=6,059)	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること 51.6	夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること 44.5	自宅近くで多様なサービスを希望の組み合わせで利用できること 36.4	配食サービス等食事の提供 33.3	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること 32.8

(4) 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所

問14Q4 あなたはもし、御自身に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。  
 <〇は1つ>

【図17-4 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所】

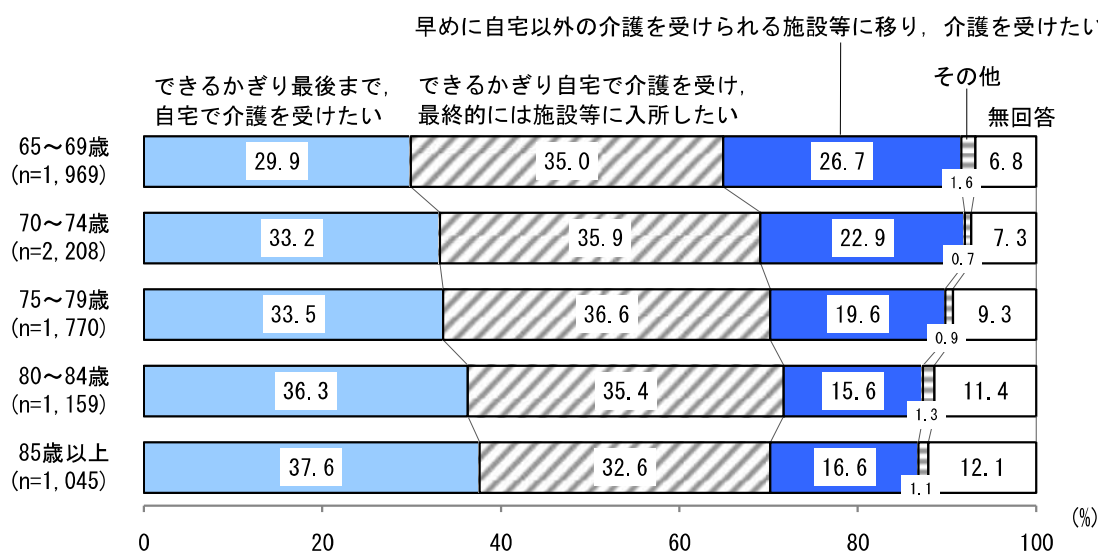


自身に介護が必要になった場合の介護を受けたい場所については、「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」が35.3%で最も多く、次いで「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」が33.5%、「早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい」が21.3%となっています。

前回調査と比較すると、「早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい」は3.0ポイント高くなっています。(図17-4)

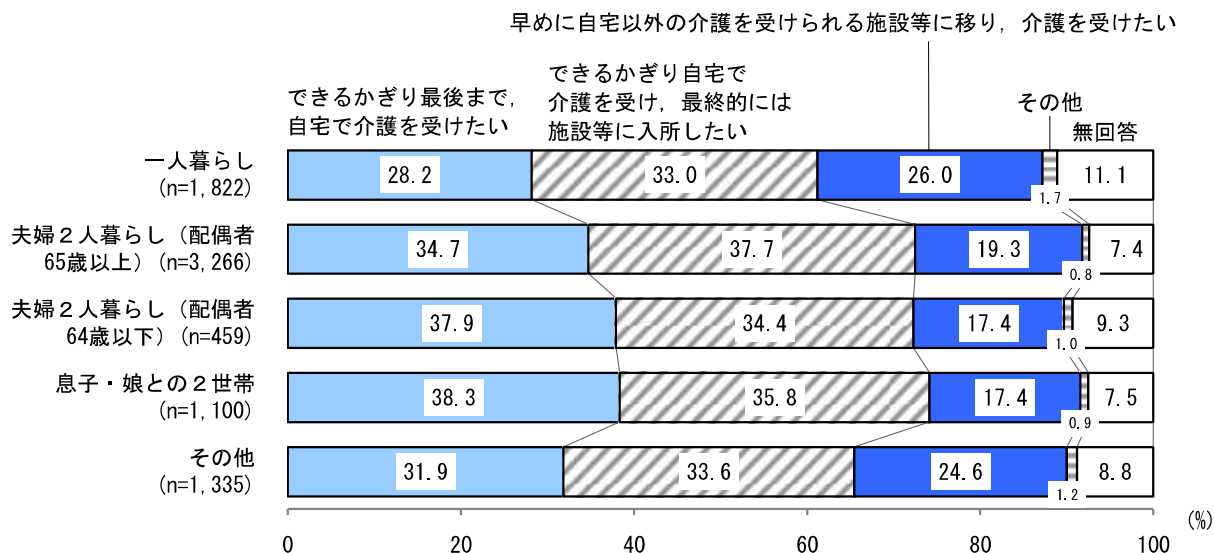
年齢別でみると、「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」は85歳以上が37.6%で最も高く、高齢になるほど割合が高くなっています。(図17-4-1)

【図17-4-1 年齢別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所】



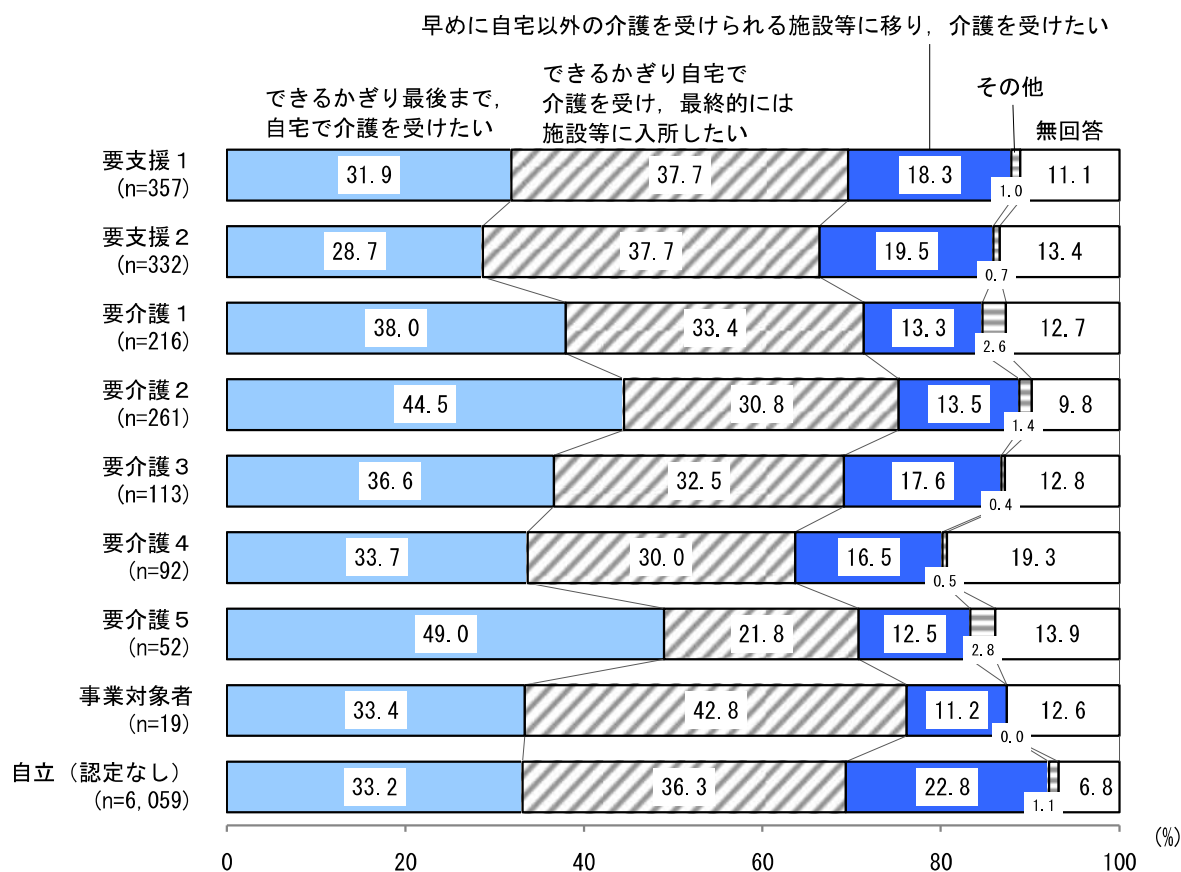
家族構成別でみると、「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」は“息子・娘との2世帯”が38.3%で最も高く、次いで“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”が37.9%となっています。（図17-4-2）

【図17-4-2 家族構成別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所】



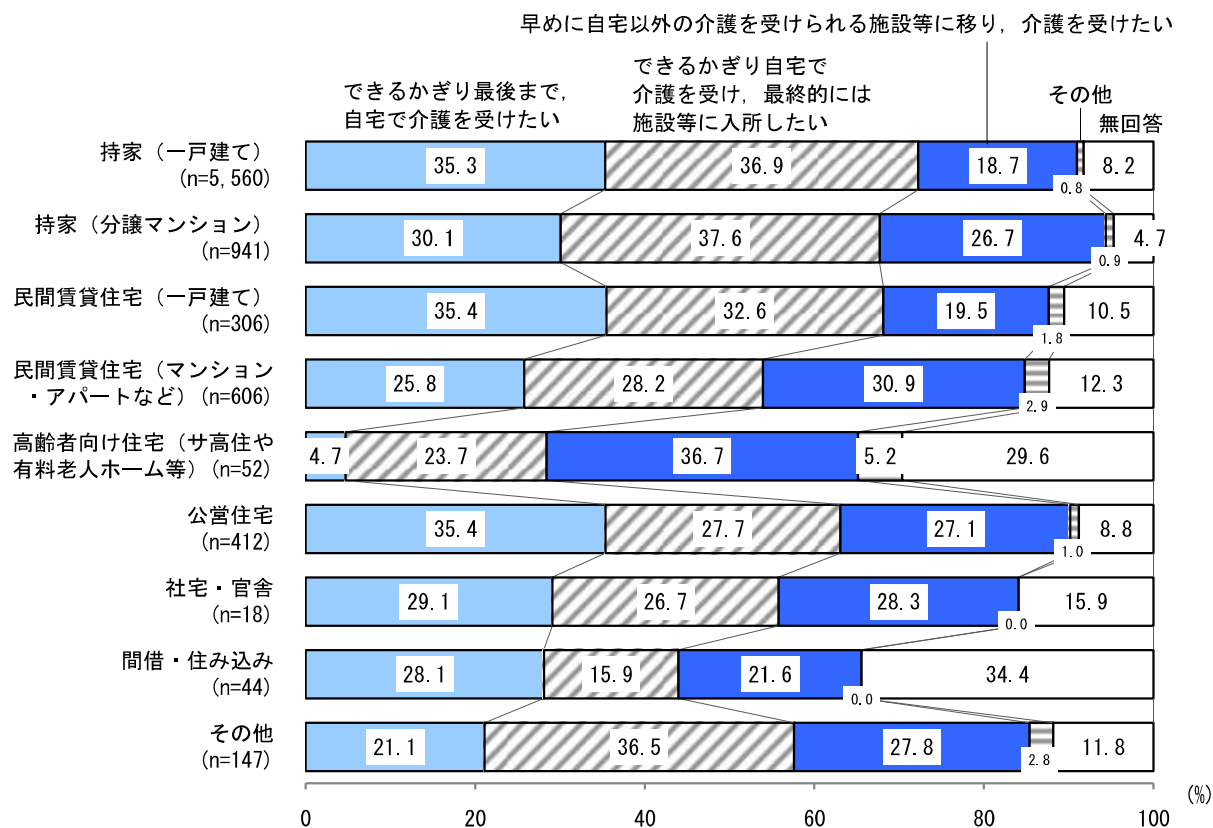
要介護認定区分別でみると、要介護1～5では「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」が最も多くなっています。（図17-4-3）

【図17-4-3 要介護認定区分別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所】



住居形態別でみると，“民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）”と“高齢者向け住宅（サ高住や有料老人ホーム等）”は「早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい」が最も多く，“民間賃貸住宅（一戸建て）”，“公営住宅”，“社宅・官舎”，“間借・住み込み”は「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」が最も多くなっています。（図17-4-4）

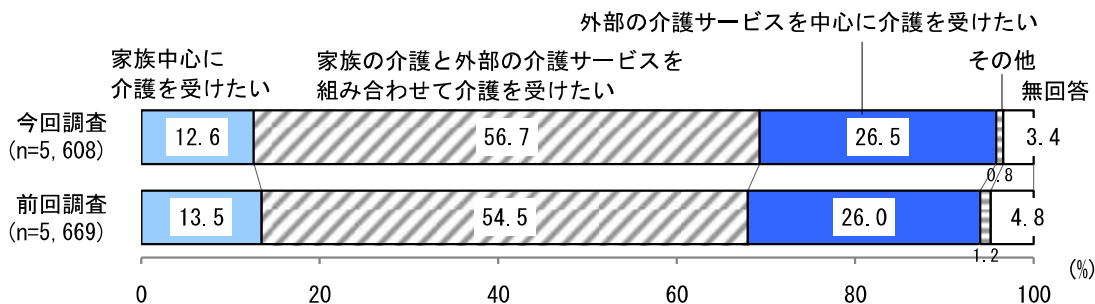
【図17-4-4 住居形態別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所】



(5) 希望する在宅の介護方法

問14Q4-1 Q4で「1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」又は「2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。〈○は1つ〉

【図17-5 希望する在宅の介護方法】

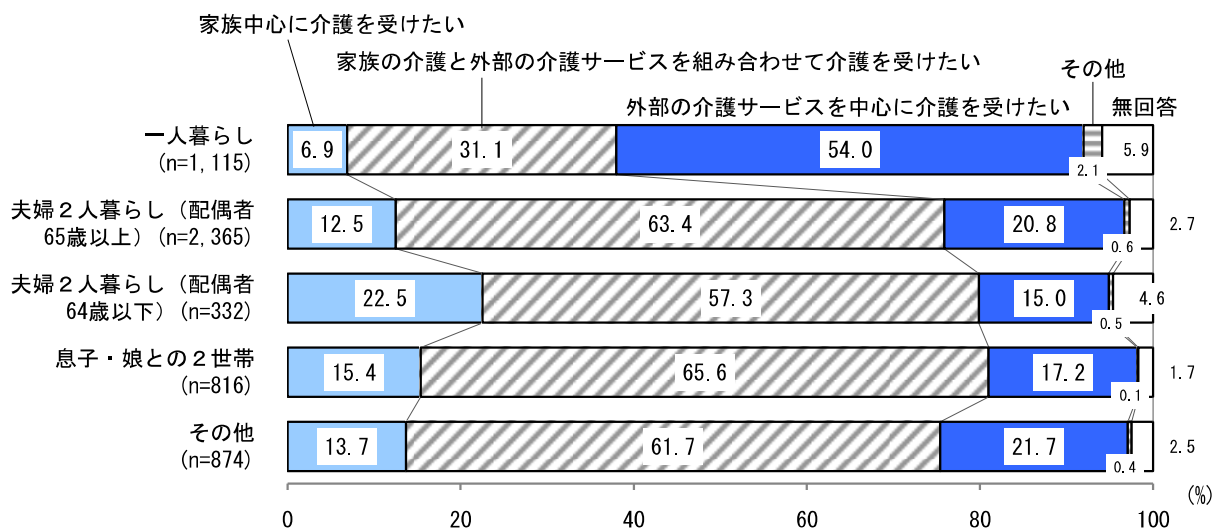


できるだけ自宅で介護を受けたいと回答した人に、希望する在宅の介護方法についてたずねたところ、「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が56.7%で最も多く、次いで「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が26.5%、「家族中心に介護を受けたい」が12.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。(図17-5)

家族構成別でみると、「家族中心に介護を受けたい」は“夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)”(22.5%)で最も高い割合となっています。“一人暮らし”では「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が54.0%で最も多くなっています。(図17-5-1)

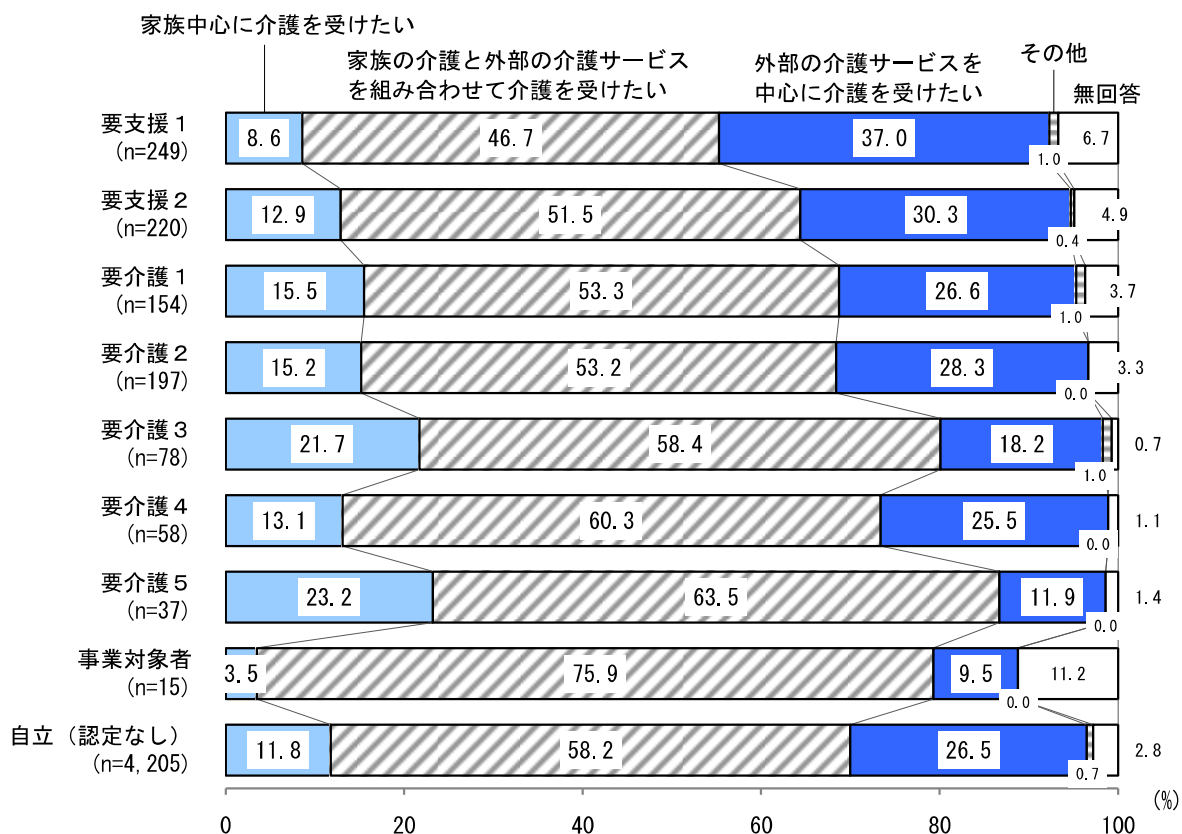
【図17-5-1 家族構成別 希望する在宅の介護方法】





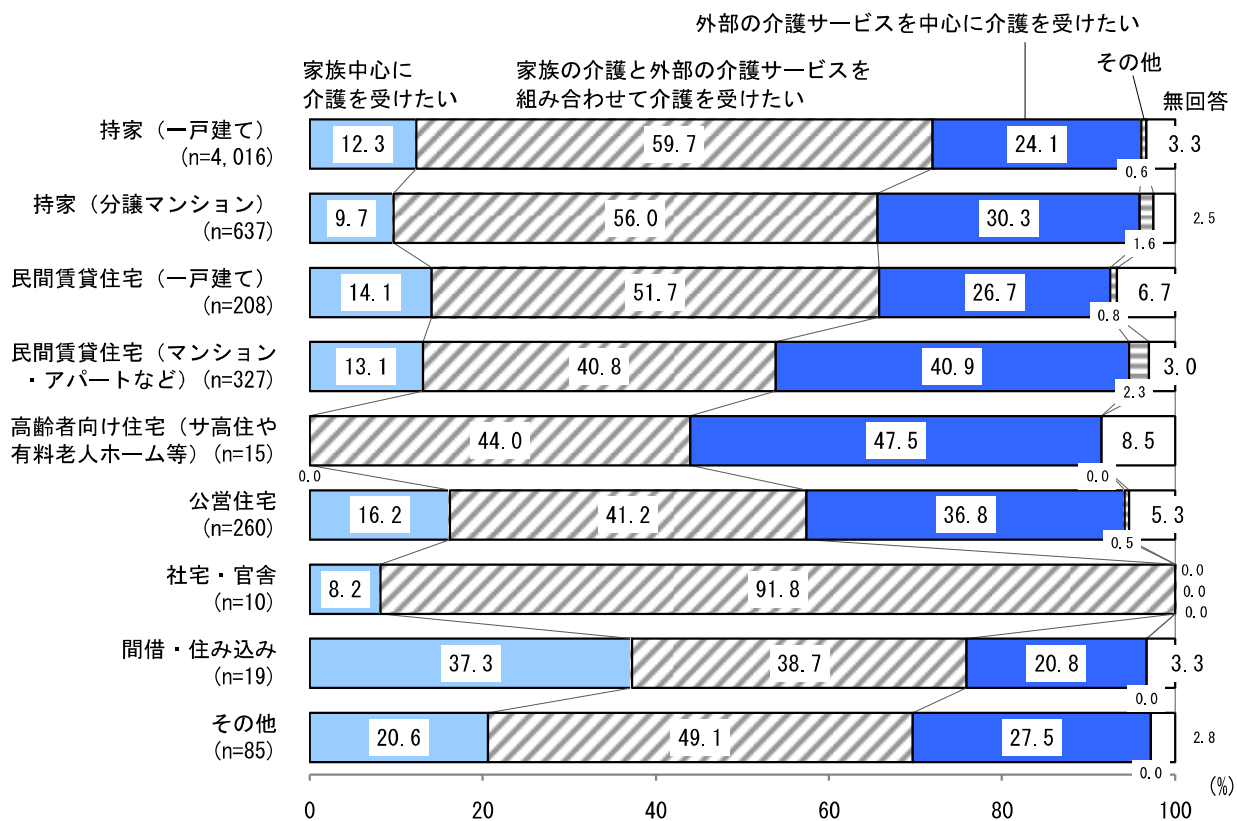
要介護認定区分別でみると、いずれも「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が最も多くなっています。「家族中心に介護を受けたい」では要介護5が23.2%で最も高く、次いで要介護3が21.7%となっています。(図17-5-2)

【図17-5-2 要介護認定区分別 希望する在宅の介護方法】



住居形態別でみると、「高齢者向け住宅（サ高住や有料老人ホーム等）」を除く住居形態で「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせる介護を受けたい」が最も多くなっています。（図17-5-3）

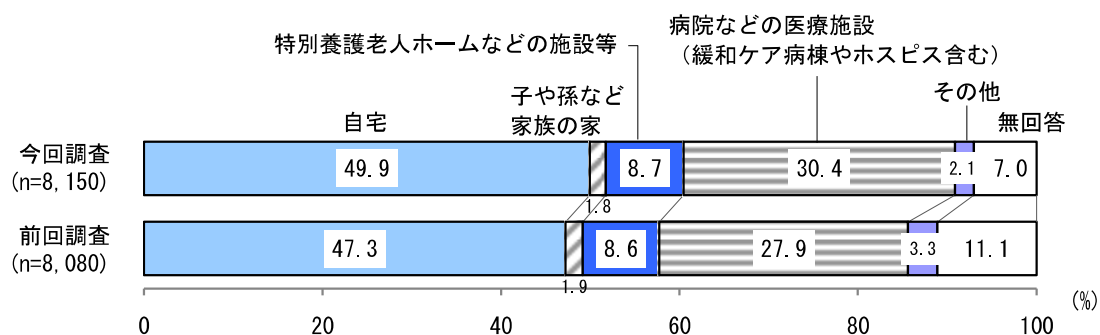
【図17-5-3 住居形態別 希望する在宅の介護方法】



(6) 人生の終末を迎えたい場所

問14Q5 あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。〈○は1つ〉

【図17-6 人生の終末を迎えたい場所】

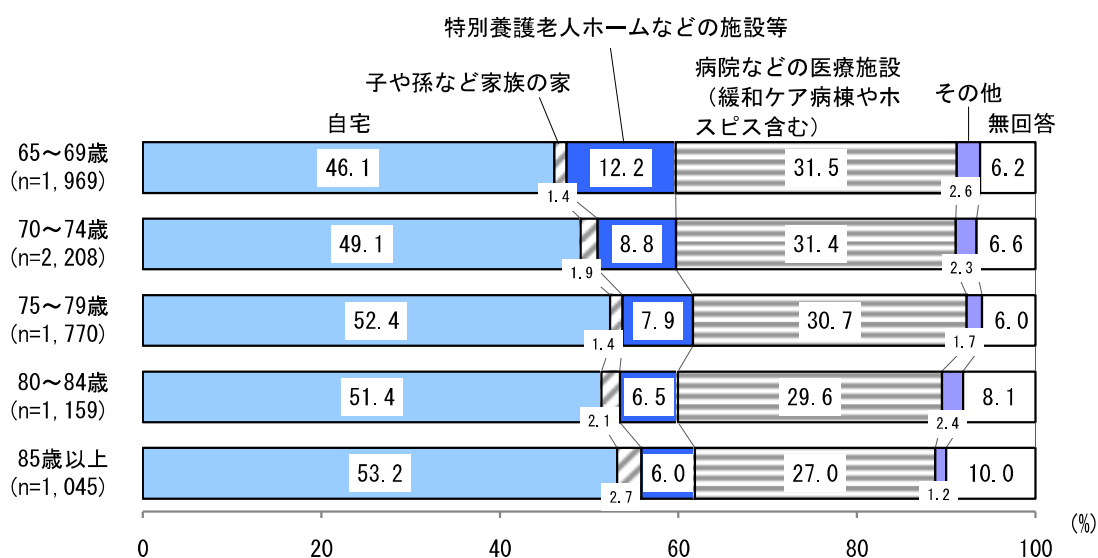


人生の終末を迎えたい場所については、「自宅」が49.9%で最も多く、次いで「病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピス含む)」が30.4%、「特別養護老人ホームなどの施設等」が8.7%、「子や孫など家族の家」が1.8%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」は2.6ポイント、「病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピス含む)」は2.5ポイント高くなっています。(図17-6)

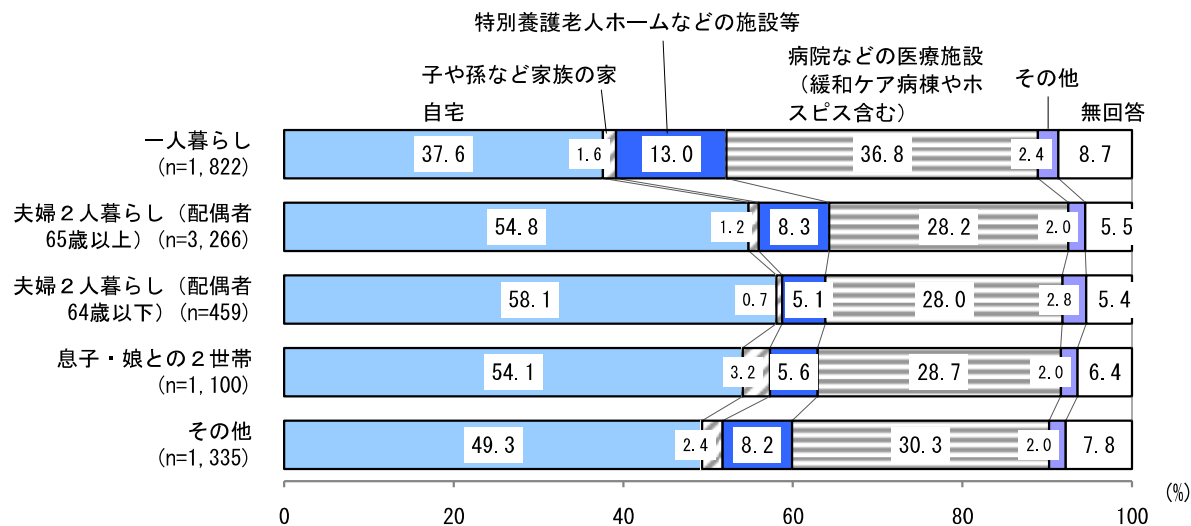
年齢別でみると、いずれの年代も「自宅」が最も多く、85歳以上が53.2%で最も高い割合となっています。一方、「特別養護老人ホームなどの施設等」や「病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピス含む)」は高齢になるほど割合が低くなっています。(図17-6-1)

【図17-6-1 年齢別 人生の終末を迎えたい場所】



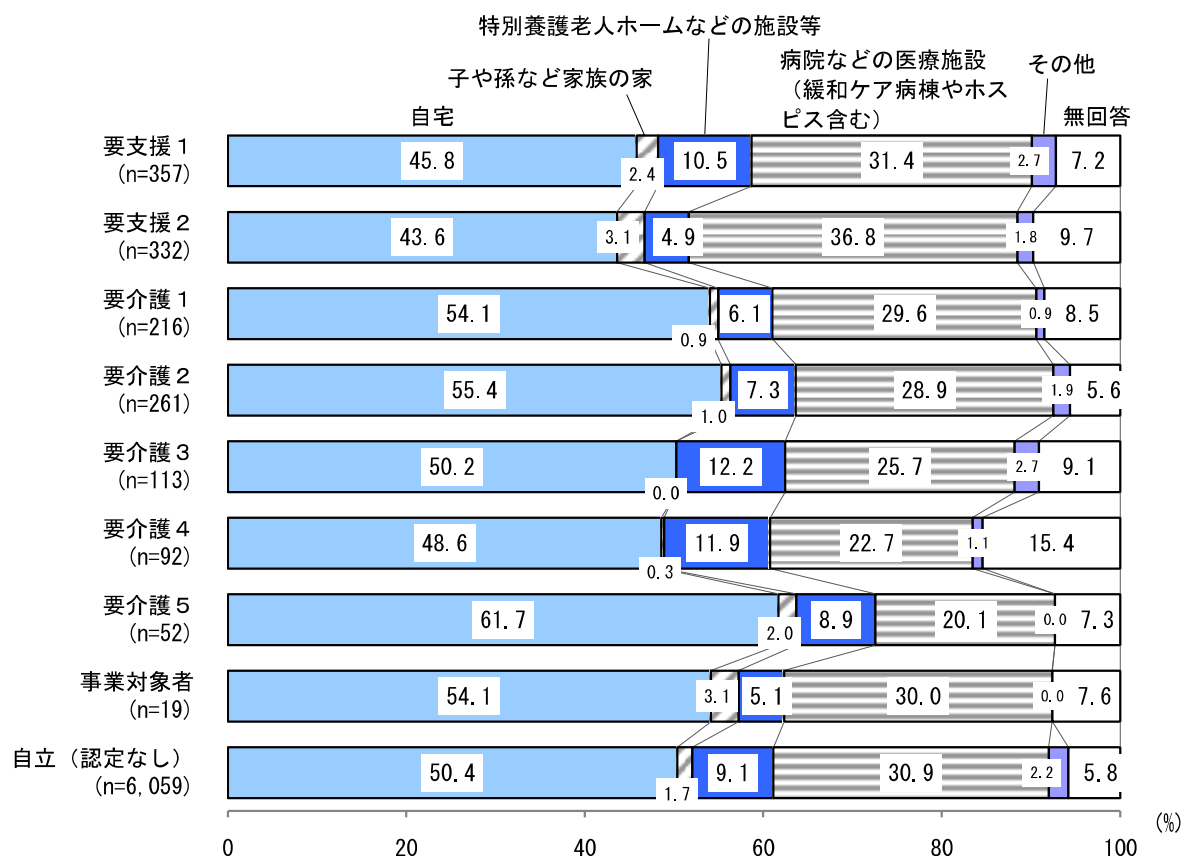
家族構成別でみると、いずれも「自宅」が最も多くなっています。「特別養護老人ホームなどの施設等」と「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」は“一人暮らし”で最も高い割合となっています。（図17-6-2）

【図17-6-2 家族構成別 人生の終末を迎えたい場所】



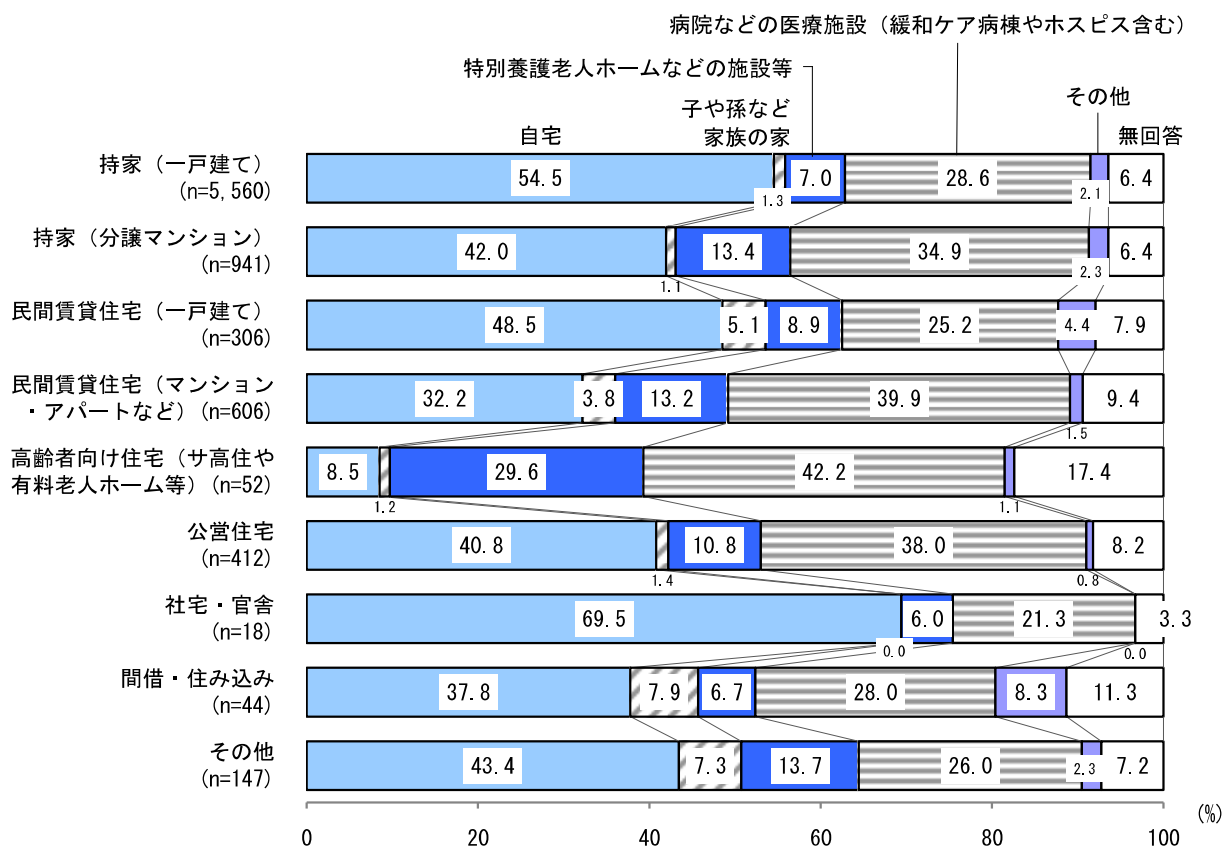
要介護認定区分別でみると、いずれも「自宅」が最も多く、要介護5が61.7%で最も高い割合となっています。（図17-6-3）

【図17-6-3 要介護認定区分別 人生の終末を迎えたい場所】



住居形態別でみると，“高齢者向け住宅（サ高住や有料老人ホーム等）”と“民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）”は「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が最も多く、それ以外の住居形態では「自宅」が最も多くなっています。（図17-6-4）

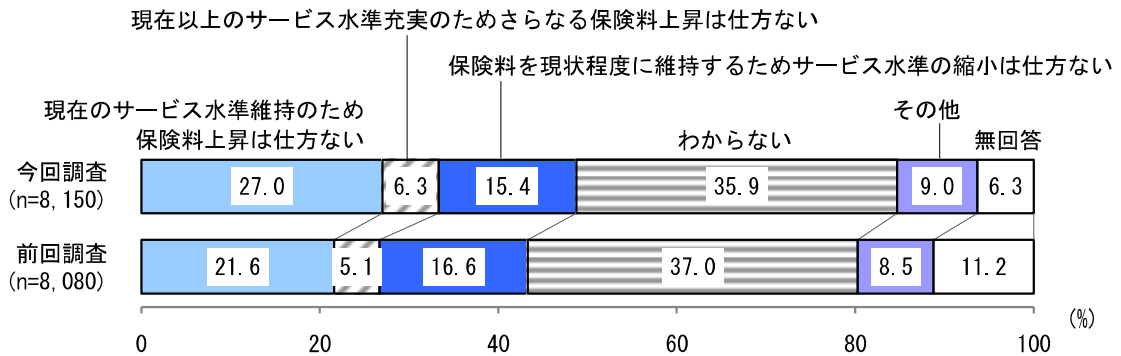
【図17-6-4 住居形態別 人生の終末を迎えたい場所】



(7) 介護保険料と介護サービスのあり方について

問14Q6 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。〈〇は1つ〉

【図17-7 介護保険料と介護サービスのあり方について】

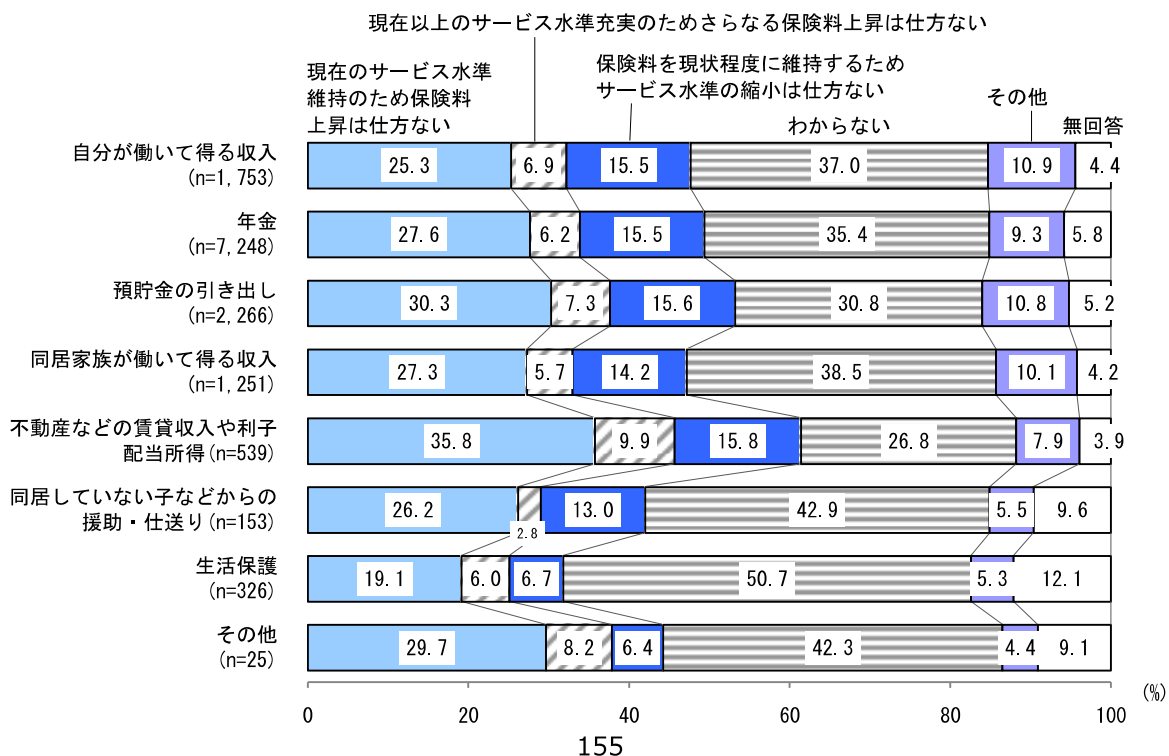


介護保険料と介護サービスのあり方については、「わからない」が35.9%で最も多く、次いで「現在のサービス水準維持のため保険料上昇は仕方ない」が27.0%、「保険料を現状程度に維持するためサービス水準の縮小は仕方ない」が15.4%となっています。

前回調査と比較すると、「現在のサービス水準維持のため保険料上昇は仕方ない」は5.4ポイント高くなっています。(図17-7)

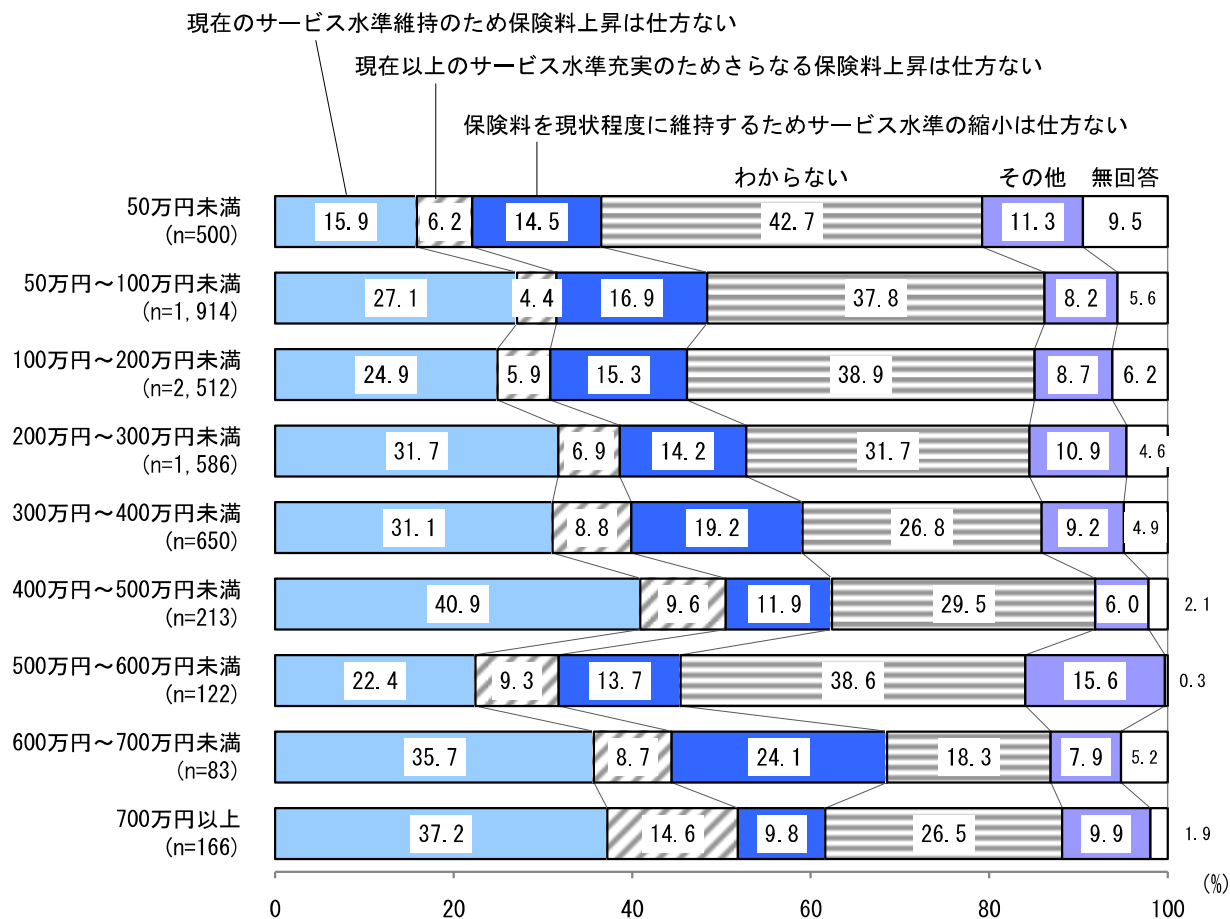
生活費の収入源別でみると、「現在のサービス水準維持のため保険料上昇は仕方ない」は“不動産などの賃貸収入や利子配当所得”が35.8%で最も高く、次いで“預貯金の引き出し”が30.3%となっています。(図17-7-1)

【図17-7-1 生活費の収入源別 介護保険料と介護サービスのあり方について】



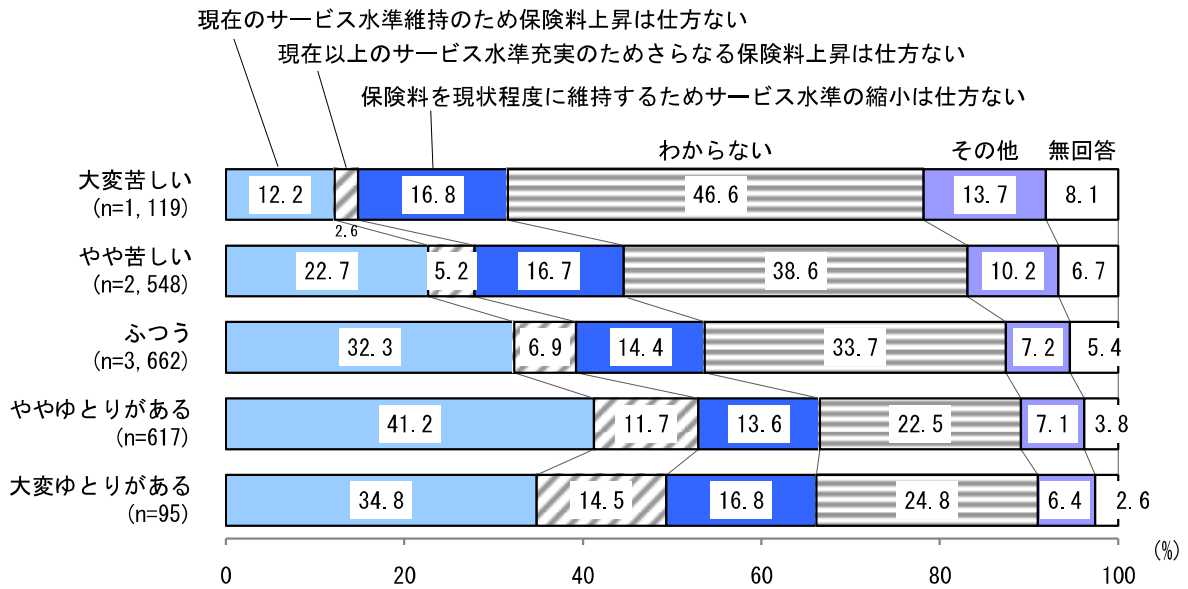
個人の年間総収入別でみると、「現在のサービス水準維持のため保険料上昇は仕方ない」は“400万円～500万円未満”が40.9%で最も高く、次いで“700万円以上”が37.2%となっています。「保険料を現状程度に維持するためサービス水準の縮小は仕方ない」は“600万円～700万円未満”が24.1%で最も高い割合となっています。(図17-7-2)

【図17-7-2 個人の年間総収入別 介護保険料と介護サービスのあり方について】



経済状況別でみると、「現在のサービス水準維持のため保険料上昇は仕方ない」は“ややゆとりがある”が41.2%で最も高く、次いで“大変ゆとりがある”が34.8%となっています。(図17-7-3)

【図17-7-3 経済状況別 介護保険料と介護サービスのあり方について】



介護保険制度への評価別でみると、「現在のサービス水準維持のため保険料上昇は仕方ない」は“大いに評価している”が48.7%で最も高く、次いで“多少は評価している”が37.7%となっています。「保険料を現状程度に維持するためサービス水準の縮小は仕方ない」では“あまり評価していない”が24.7%で最も高く、次いで“全く評価していない”が23.8%となっています。(図17-7-4)

【図17-7-4 介護保険制度への評価別 介護保険料と介護サービスのあり方について】

